

*** 目 次 ***

| | |
|---------------------------|-----------|
| はじめに | 1 |
| ■ 1. 雲南市の概要と放課後子ども教室の活動状況 | 3 |
| ■ 2. 事業計画書 | 9 |
| ■ 3. 事業の実施状況 | 19 |
| ① 教室プログラム | 21 |
| ② プログラム個別の状況 | 33 |
| ○ 学社融合プログラム | 33 |
| ○ 中学高校生が企画するプログラム | 41 |
| ○ 特別に支援を要する子ども達に対するプログラム | 45 |
| ○ 楽しく学ぶ<体験><実験>学習支援プログラム | 49 |
| ○ モニターの意見を反映させたプログラム | 65 |
| ■ 4. 教室周知PRの状況 | 69 |
| ■ 5. 教室参加者数・ボランティアスタッフ数 | 77 |
| ■ 6. 事業の成果・効果の検証 | 81 |
| 6-1 アンケート | 83 |
| ① アンケート内容 | 83 |
| ② アンケート結果 | 89 |
| 6-2 モニター | 94 |
| ① モニターに対するアンケート | 94 |
| 6-3 総合的な放課後子どもプラン推進シンポジウム | 97 |
| ① 開催要項 | 97 |
| ② 案内文書、配布資料 | 99 |
| ③ 講義 | (※巻末CD掲載) |
| ④ 基調講演 | (※巻末CD掲載) |
| ⑤ 事例発表1 | (※巻末CD掲載) |
| ⑥ 事例発表2 | 101 |
| ⑦ パネルディスカッション | (※巻末CD掲載) |

| | |
|-------------------------------|-----------|
| ■ 7. 総括 | 111 |
| 1) 事業テーマの推移について | 113 |
| 2) 重点的に取り組むプログラムについて | 114 |
| (1) 学社融合プログラム | 114 |
| (2) 中学・高校生が企画するプログラムへの取り組み | 115 |
| (3) 特別に支援を要する子どもたちに対するプログラム | 116 |
| (4) 楽しく学ぶ<学習><実験>学習支援プログラム | 116 |
| 3) 課題への取り組み | 119 |
| (1) 昨年度からの課題への取り組み | 119 |
| (2) 子ども教室への次年度以降への課題 | 120 |
| 4) 3年間の調査研究事業を終えて | 120 |
| (1) 子ども達の望ましい将来像の支援体制を築く | 120 |
| (2) 施設を利用した学校外における事業の継続 | 120 |
| ■ 8. 関係者からの提言 | 123 |
| おわりに | 141 |
| ○資料 | 143 |
| ・ 「総合的な放課後対策推進のための調査研究」実施委託要項 | 145 |
| ・ 委託契約書 | 148 |
| ・ 実行委員会設置要項 | 152 |
| ・ 実行委員会名簿 | 153 |
| ・ 運営委員会設置要綱 | (※巻末CD掲載) |
| ・ 運営委員会名簿 | (※巻末CD掲載) |
| ・ 安全管理マニュアル | (※巻末CD掲載) |

はじめに

（総合的な放課後子ども支援対策の背景）

わが国は、過去経験したことのない急速な少子高齢化社会を迎え、そのため子育て支援をはじめとする少子化対策が急務となってきた。新しく政権交代のもとでも早速少子化対策を最重点施策として取上げ、その主な柱として「教育」と「社会福祉」面で新しい取組みが打ちだされ、具体化されつつある。

いつの時代にあっても「子どもは国の宝」であり、「家庭と地域の宝」であることには変わりません。そしてこれからの日本を支え、世界に羽ばたく子どもをどうして育てていくかは政治行政の責務であるといえよう。

さて、教育の「不易と流行」ということばを聞かれたことがあると思う。

いわゆる「変えてはいけないこと」と「変えなければいけないこと」の意味である。

教育上では、「親・家庭には子育てに責任を持ち、学校には子どもの学習を任せる。」という考えで、そこに相互の信頼と尊敬の関係を築かれ、その中で子ども同士や親同士の絆が生まれてくることが理想とされてきた。このことは「学校教育」の基調とされることで、その上で地域が学校を支え合っていく。その間に生じる「社会教育」で地域を育み、愛する心情の結晶として大きな働きを期待されることだといわれている。こういう相互関係は、時代を越えて「不易」として守りつなげねばならないことだといえよう。

一方多くの社会環境の急変する中であって、教育上でも変革が求められ、すでに60年ぶりに教育基本法の改正をはじめ多くの教育改革が断行されている。

すなわち時代の「流行」として変革であり、その一つが2002年（平成14年）から新学習要領が改訂され、総合学習が新しく取り入れられた。教科の枠を超えた授業を通して「自ら学び、自ら解決する」「生きる力」を育むこと。その上に立って「地域教育力再生プラン」が打出され“生きる力”を学校だけに任せず地域社会が関わって、社会全体で子どもを育む環境づくりを築き教育力の再生を図ろうとする行動計画が示された。

（平日型の放課後子ども教室への取組）

その具体策の一つが「子ども居場所づくり」であり、後の「放課後子ども教室」プランとして制度化されてきた。

ここ雲南市では、早速平成17年度から「雲南市子ども居場所づくり」として全市の児童を対象に、全小学校と多くの公民館など社会教育施設を利用して子ども教室が開校され、注目を集めてきた。そして19年度からは、国県の助成を得て制度化された「雲南市放課後子ども教室」として定着し、活発な活動がなされている。いわゆる「平日型放課後子ども教室」が完全実施されて今日に継続されている。

（休日型の文化体育施設利用放課後子ども教室）

一方学校が休日になる土・日曜日や祝祭日そして夏・冬休み中の子どもたちの居場所が安全・安心に確保され、恵まれた子育て環境にあるのか些か気がかりな面があった。幸いに市内には多くの文化体育施設が恵まれ、特にこれらの施設では休日に多くの大会やイベントが集中して開催され、職員もほぼ全員出勤しており、さらには多くの指導的立場の講師やインストラクターなどの出入りが多い。この恵まれた人材の参加を得て、放課後子ども教室のコーディネーターとして指導していただき、地域挙げての教育力アップに活かすことは出来ないかとの発想から「休日型文化体育施設利用放課後子ども教室」構想を打ち出しスタートさせた。

幸いこの「雲南市文化体育施設利用子ども教室」計画は、19年度の文部科学省の「総合的な放課後子ども対策推進のための調査研究事業」にご採択いただき、多角的な研究機会を与えていただく光栄に恵まれた。指定を受けた以上は「放課後子どもプラン」の充実強化のために、必要な調査研究を実践を通して成果を出さなくてはならないと大きなプレッシャーを感じて取組んだ。

19年度のテーマは「感 育・歩 育・健 育・徳 育」を目指す放課後子ども教室でした。

子どもたちによりスポーツに親しむ機会と多様な文化芸術活動の機会を提供し、何よりも子どもたちに遊びを通して魅力のある実体験教室を楽しんでいただき、年間延べ347教室を開き、約1500人のボランティアスタッフが運営にあたり、4400人の子どもたちが参加し予想以上の反響を呼んだ。多くの成果と効果の評価をいただくと同時に看過できない課題も生じてきた。そしてその課題を克服するには、この教室を翌年以降も継続して開設することが大切ではないかとの結論に達した。

20年度のテーマには「学校、家庭、地域、行政の連携・協力による――子どもたちに“夢・自身”をもたせる放課後子ども教室」を目指すこととした。新しく市に設置された教育支援と地域コーディネーターとの連携の下でキャリア教育推進プログラムを取り入れ、地域における総合的な学習機会として次世代を担う子どもたちの一層の心身の健康づくりに力を入れた。このことにより、課題であった子ども教室の周知と普及が図られるとともに教職員の理解と協力体制も得られた。また地元大学生のボランティア活動の協力が生じ、中・高校生の参加も得て学校外活動に対する理解と協力が目に付いてきた。こうして年間424教室と増え、参加者も倍以上の9500人と大きな伸びを示し、すっかり定着化してきた。その成果をまとめた調査研究報告書は、専門誌「社会教育・8月号」に取上げられ広く関係者の注目を呼んだ。そして必然的に次年度以降も継続して開設するよう要請され、検討の結果従来どおりの運営組織を存続して翌年度の継続開設を決定した。

(21年度調査研究の取組)

本年度は、過去2年間の成果を踏まえ“雲南モデル”放課後子ども教室の完成を目指し、テーマに「みんなで探そう自分の未来プログラム――“雲南モデル”放課後子ども教室の実現と発展」を期して全国的なモデルとして参考となるように取り組むこととした。

特に新しく重点的に取り組むプログラムとして（1）学社融合プログラムで学校教育で実施するキャリア教育を推進（2）中学・高校生が企画する教室で低学年生の指導と社会貢献へのボランティア活動（3）特別に支援を要する不登校、障がいのある子どもたちへのアプローチ（4）大学や専門学校との協力・協働や親子の体験プログラムを取り入れ、より魅力のある放課後子ども教室を提供することとした。

こうして1年にわたって取組んだ研究調査の結果を、ここに「報告書」として纏めることができました。

どうかご熟読の上、子育て支援のご参考にしていただければ幸甚に存じます。

願わくば、雲南市で3年間に亘って試みた「社会教育施設利用・休日型放課後子ども教室」（雲南モデル）の全容が全国的に取り入れられ、拡がって定着していくことを切望してやみません。

末筆にあたり、文部科学省の調査研究事業としてご支援をいただき、生涯学習政策局放課後子どもプラン連携推進室の職員各位からは、懇切なご指導、ご助言を賜りましたことに深甚なる敬意と感謝を申し上げます。

雲南市文化体育施設利用放課後子ども教室実行委員会
委員長 多 久 博

■ 1. 雲南市の概要と放課後子ども教室の活動状況

I. 雲南市

○平成16年11月1日合併（大東町、加茂町、木次町、三刀屋町、吉田村、掛合町）により発足

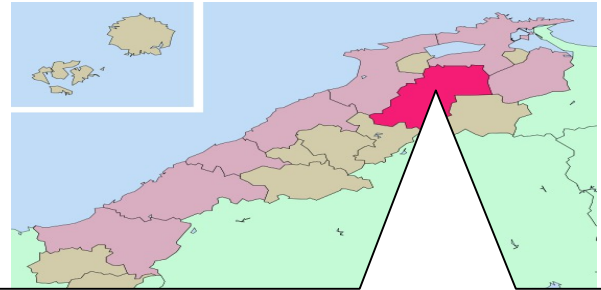
○人口・・・43,711人

○面積・・・553.4km²

○幼稚園・・・16園

○小学校・・・21校（うち分校1校）

○中学校・・・7校



雲南市
 国宝に指定された銅鐸が出土した加茂岩倉遺跡をはじめとする多くの遺跡や古墳、神社がある。地名の由来は、「出雲風土記」にたどることもできる。

※ H.22.2.1 現在

II. 雲南市の放課後子ども教室の活動状況

(1) 背景と目的

○子どもたちの現状

雲南市子どもの生活実態調査の実施結果より（平成17年11月実施）

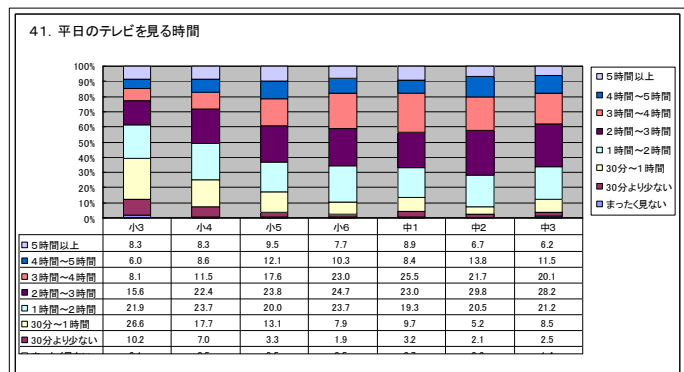
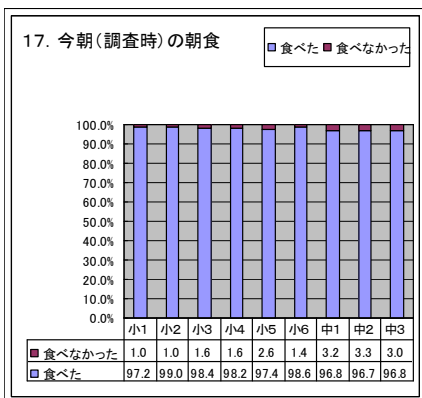
実施状況 小学校は98.4%

中学校は95.4%

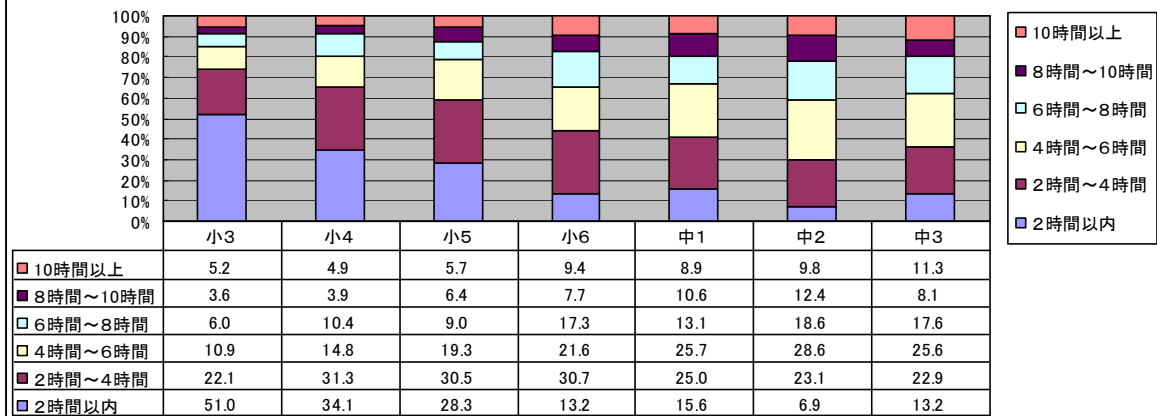
朝食について…どの学年も95%の子どもが朝食を食べている。

平日にテレビを見る時間…5年生以上で3時間を超える子どもが4割を超えている。

休日のメディアに接する時間・・・5年生以上の3割から4割の子どもが6時間以上接している。



47. 休日のテレビ、ゲーム等のメディアに触れる時間



1日にテレビは2時間以内、ゲームは1時間以内と言われている現状から見ると、子どもたちがメディアに接している時間が多い傾向にある。

市全体としては安心できる状況であるが、中学校区ごとにも集計していて、メディアに接する時間が多く、学習面、夕食後のおやつ等、問題となる部分が浮き彫りになっている。

外での遊びや友達と群れて遊ぶことがだんだんと少なくなってきている。

(2) これまでの取組の経緯と概要

○活動実績

平成17年度…36箇所で開催（地域子ども教室推進事業として）

平成18年度…41箇所で開催（地域子ども教室推進事業として）

平成19年度…24箇所で開催（放課後子ども教室推進事業として）

平成20年度…26箇所で開催（放課後子ども教室推進事業として）

平成21年度…25箇所で開催（放課後子ども教室推進事業として）

1 実施場所・時間

小学校の余裕教室・グラウンド・体育館や公民館等を活用し、主に平日の放課後に実施している。地域の実情に応じて、土日、祝日、長期休業中にも開設している教室もある。

2 主な活動内容

昔遊び（おにごっこ・なわとび・カルタ・お手玉・こま回し・紙鉄砲・紙飛行機・あや取り）、手芸（折り紙・押し花・塗り絵・万華鏡づくり・竹とんぼ）、スポーツ（ボール遊び・卓球・バレーボール・サッカー・野球・バドミントン・一輪車乗り）、昔の暮らし体験（しめ縄等わら細工・笹巻きづくり）、文化伝統芸能活動（短歌・茶道・華道・将棋・囲碁・習字・神楽）、炭焼き体験、蕎麦の種まき・収穫・蕎麦うち体験、古代米の栽培体験、ふるさと歴史探訪、郷土料理教室、陶芸、七夕まつり、キャンプ、盆踊り、もちつき、凧あげ、クリスマス会、雪合戦、その他自由遊び

3 危機管理対応について

各教室それぞれで緊急連絡網・安全対策マニュアルを作成。警察署・消防署等と連携し避難訓練や不審者対応にも取り組んでいる。



4 指導者の確保や募集について

- ・チラシ等による募集
- ・ケーブルテレビの文字放送等の活用
- ・保護者等に協力依頼
- ・スタッフによる直接勧誘

上記のような形でさまざまなアプローチをしているが、地域人材の高齢化問題に苦慮している。

5 参加者の募集

- ・募集チラシの配布（学校と協力して配布）

6 関係団体との連携について

- ・雲南市放課後子どもプラン運営委員会の設置

雲南市（政策推進課、地域振興課、子育て支援課）、雲南市教育委員会、島根県雲南警察署、雲南消防本部、雲南市社会福祉協議会、島根県（健康福祉部、教育委員会及び警察本部）及び島根大学が、緊密な連携の下



に子どもたちの健全育成に関する施策の総合的かつ効果的な推進により、子どもたちの社会的な自立を促し、子どもたちが健やかに育つ環境づくりを家庭・学校・地域が一体となって進めるために運営委員会を設置し、活動状況報告や意見交換を行ったり、放課後児童クラブとの連携や課題・問題点の改善にむけて協議し、今後も継続的に運営していくための方策を検討している。

(3) 地域、保護者、子どもの変容

- ・この事業に携わり、子どもたちの元気な姿、学校では見せない姿を見せてくれる。元気をもらっており、楽しくやりがいをもって参加させてもらっている。
- ・スタッフ30人確保できており、1人につき月に1度出てもらえばいいローテーションを組んでいるので、負担感がなく、順調に実施できている。学校や保護者にも喜んでもらっている。
- ・保護者の参加を求めようと、まず一人の保護者に活動に参加してもらった。すると活動が楽しかったとの感想をもってもらえ、それがその保護者の友人に伝わり、次に4人来てもらえることになった。活動の始まりは、「まずは一人から。」という気持ちで小さなところから進めていくとよいと思う。
- ・開設当初は、同学年の子どもとばかり遊ぶ光景が目立ったが、今では異学年同士でも遊ぶようになり居場所事業の成果の一端が見えてくるようになった。
- ・中学生になっても、ふらっと居場所を訪ねてきてくれる子どもが増えた。今、我々の行っている事業を着実に継続していくことが大事だと感じた。子どもたちが「居場所はよかったな、楽しかったな」という思いを抱けば、時間はかかるかもしれないが、自然と居場所とのつながりができるのだと思う。
- ・放課後子ども教室出身の中学生が遊びに来てくれて、子どもがすごく喜んでいて、中学生がボランティアに入ることは大変いいことだと感じた。
- ・あいさつがよくできるようになったと思う。
- ・子どもが時間を惜しんで遊んでいるのを見ると、今後も継続の必要性を感じる。
- ・これまで子どもとの関わりがなかったが、この活動を通じて、新しい関わりが生まれてきている。
- ・現代の社会では親はもちろんのこと、地域住民も子育ての責任があると思う。
- ・子どもは地域のなかの一員という意識が出てきた。子どもが地域にとけ込んで、人とのふれあいをもってきている。

- ・新しい住宅団地、アパートが建設される中、そこに住んでいる人が分からない傾向にある。しかし、この教室を通じて、どこにどんな子が住んでいるか分かるようになった。
- ・教室を通じて、子どもと知り合いになり、会うと挨拶をしてくれる。だが、保護者とは面識がないので、保護者は「? (誰)」という感じ。もっとお互いの顔が分かるようになって深い関わり合いができるようになることを望んでいる。
- ・自分の家の近所には中学生が一人いるだけで子どもの姿を見ることがないが、スタッフとして関わることで、子どもたちの様子が分かったり、顔見知りになっているので、居場所以外の場所でも、子どもから声をかけてくれたりしてとても嬉しく感じている。
- ・子どもとのつながりの大切さを感じて、今後も活動をすすめていきたい。
- ・居場所事業を始めたことで、子どもを見守る目が地域でも広がったと思う。
- ・初めて1泊研修をした時は、大変好評で来年も是非開催したいと思っている。教室に関わって、子どもたちとふれあう事で元気をもらっている。スタッフになってスタッフ同士仲良くなったし、子どもたちと親しくなり嬉しく思っている。
- ・夏休みに入り、良い思い出を作っておきたい！そんな思いから子どもたちを1日預かって遊ぶという事をした。丸小山に登ってボール遊び、カレーライスづくり、会食と本当に楽しかった。また来年も企画したい。
- ・児童が登校の際にあいさつをしなかったが、自分から先に大きな声であいさつをするようにしたら、最近は子どもから先に言うようになった。コミュニケーションがとれるようになり、顔見知りになり良かったと思う。

(平成21年7月13日：雲南市放課後子ども教室実行委員会全体連絡会での意見交換より抜粋)

(4) 成果と課題

平成17年度より雲南市で始まった地域子ども教室推進事業(平成19年度からは放課後子ども教室推進事業)は、実施から5年が経過した。この5年間にさまざまな成果と課題がわかってきた。

この事業にたくさん子どもたちが参加し、たくさんの地域の方に関わっていただいた。この取組により地域の教育力が高まったことが、最も大きな成果であると考え。そして何よりも、平成19年度から放課後児童クラブとの連携を視野に入れ、さらには文化体育施設利用放課後子ども教室がスタートしたことは、“雲南モデル”を確立する上で大きな意義があった。地域住民が自分たちの地域の子どものどう育てたいのかを真剣に考えるきっかけづくりが出来たものと考えている。

この事業を通し、連携の重要性をあらためて認識した。連携にはいろいろな形があると思うが、教育委員会と学校、学校と地域、地域と家庭、家庭と学校等がお互いの思いや「めざす子ども像」について共通理解するための議論の場が必要であると感じる。そのためにも、それぞれの地域(中学校区、あるいは小学校区)で定期的に情報交換の場を設定することが大切である。また、教育責任を共有化し、共通の目標を持つことで始めて事業がうまく進むのではないかと感じる。

今後は、議論を通して、教育責任の共有化を図り、地域、家庭、学校、行政がそれぞれの立場で果たす役割を再認識する必要がある。そして、この放課後子ども教室推進事業が真に地域に根付いた活動にしていくためにも、「地域の子どもの地域で育てる」と言う基本的な理念と、それぞれの地域が子どもをどう育てたいかを「共通の目標」として掲げることが求められる。

■ 2. 事業計画書

(様式1)

平成21年4月15日

「総合的な放課後対策推進のための調査研究」事業計画書

文部科学省生涯学習政策局長 殿

団体等名 雲南市文化体育施設利用
放課後子ども教室実行委員会
所在地 島根県雲南市加茂町宇治303
代表者職氏名 委員長 多久 博

総合的な放課後対策推進のための調査研究の事業計画書を提出します。

1 実施期間 委託を受けた日から平成22年3月20日まで

2 事業の区分 (1~3のいずれかを選択し、該当する区分に○印を付けること。)

| | |
|---|--|
| 1 | 放課後対策に関する調査研究 |
| | 効果的な活動プログラムについて |
| | 効果的な情報提供方策について |
| 2 | 放課後活動支援モデル事業 |
| ○ | 小学校高学年(中学生)を対象とした効果的な取組又は小学校高学年(中高生)が関わる効果的な取組 |
| ○ | 特別に支援の必要な子ども(外国籍等)の活動機会充実のための取組 |
| 3 | 民間団体と連携した放課後対策モデル事業 |
| | |

3 事業のテーマ（調査研究テーマまたはモデル事業名を完結に記載すること。）

みんなで探そう 自分の未来プログラム ～ “雲南モデル” 放課後子ども教室の実現と発展～

4 事業の目的

学校教育外における子どもたちの学習は「生きる力」を育む上で極めて重要であり、その実践として、学校・家庭・地域がその重要性を認識しつつ、三者が一体となって取り組める多様な学習プログラムの提供が必要とされる。

この実現のため**雲南モデル**（別添資料1）の放課後子ども教室の確立と定着をはかる。このために、**雲南市の全ての子どもたちが参加できる**ようなプログラムメニューとして、特に学校教育で実施する**キャリア教育推進プログラム***を補完するプログラム、**中学・高校生が企画するプログラム**、**特別に支援を要する子どもたちに対するプログラム**に重点を置き、より魅力あるプログラム研究を進めながら、学校・家庭・地域・行政が一体となった**社会教育の一層の充実**を目指す。

また、“**雲南モデル**”放課後子ども教室として、全国どこでも実施できるよう、本調査研究の成果を発信し、普及に努める。

*雲南市が進めるキャリア教育は、単に進路学習だけではなく、人権教育やふるさと学習、健康教育などを含めたまさに生きる力を育む教育をさす。

5 事業の背景・必要性

学校外における子どもたちの**「自然体験」**をはじめとする**「社会体験」**、**「ボランティア体験」**など、様々な体験活動は、子どもたちが地域社会の中で、健全に、心豊かに育まれる**「本物体験」**であり、**学校外の貴重な教育活動**である。

このような体験活動を実施するためには**「適切な場」**「指導者」**「多様な活動プログラム」**が整備されなければならない。学校現場の現状を見るに、学校教育関係者だけで整えることは容易ではない。今こそ、**地域社会による「学校支援」**が必要である。

今、求められているプログラムは、子どもたちが**「夢と自信」**、**「好奇心と探求心」**をもち、**「自主性」と「自立性」**を育み、生きる力やエネルギーが蓄積される必要があり、まさに、子どもたちの**「生きる力」**を育むプログラムである。これを実現する一つの有効な取り組みとして、**「文化・体育施設」**など**社会教育施設を利用した放課後子ども教室**が希求される。

そこで、社会教育に関わる多くの団体、関係者が一体となって**「雲南市文化体育施設利用放課後子ども教室実行委員会」**を設置し、雲南市が実施している「学校施設を利用した平日型放課後子ども教室」との連携を図りながら、平成19年度及び20年度にかけ「総合的な放課後対策のための調査研究」のモデル事業指定を受けて実施してきた。

【平成19年度】

《テーマ》 『感育』『歩育』『健育』『徳育』による放課後子ども教室

《成果》

- 既存の「平日型」に対する「休日型」の放課後子ども教室を実施した。
- 1,500人のボランティアスタッフによる運営で4,400人が参加した。
- 専門的指導者によるプログラム体験を推進することができた。
- 学校校区を超えた新しい交流が生まれてきた。

《課題》

- 学校との理解、連携、協力が必要。
- 学校利用の平日型放課後子ども教室との役割分担と連携推進が必要。

【平成20年度】

《テーマ》 『夢・自信』をもたせる放課後子ども教室

《成果》

- 1,730人のボランティアスタッフによる運営で9,465人が参加した。
- 雲南市キャリア教育推進プログラムとプログラムメニューを共有化した**学社融合プログラム**に取り組み、教室への理解と関心が高まった。

《課題》

- 学社融合のさらなる強化に加え、他団体との連携、協力促進が必要。
- 全ての子どもが参加しやすい多様なプログラム提供が必要。
 - ⇒特別に支援を要する子どもたちのニーズに応えるプログラム
 - ⇒小学校高学年、中・高校生が参加したくなるプログラム

これらの成果から見て、休日型放課後子ども教室の存在意義は高まりつつある一方、課題に見られるように、継続性のあるプログラムの展開や、運営上のシステムの系統性を重視しながら、より効果的な子ども教室の要請に応じていく必要性が浮き彫りになってきた。

加えて、休日型子ども教室は、芸術文化やスポーツなどの本物を体験する機会として期待され、都市部との格差はもとより、雲南市内にあってその格差が大きいことも見逃せず、こうした多くの「体験格差の是正」においても、地域が支える学校支援としての存在意義が大きく、格差是正の役割を担うことが期待されている。

6 事業の実施内容・方法

1. 事業概要

平成21年度は**“雲南モデル”**（別添資料1）の放課後子ども教室の確立と定着をめざす。プログラムの企画、実施に当たっては、「**学校支援地域本部事業**」として市内の全ての小中学校（28校）に配置される「**地域コーディネーター（民間人・30人）**」と、市内各中学校に駐在している「**教育支援コーディネーター（教育委員会職員・7人）**」及び「**雲南市文化体育施設の**

職員(専門職員20人)」との連携の下に鋭意進めていく。

具体的な計画の立案にあたっては、これまでの取り組みを検証しつつ、本年度のテーマに沿った**雲南市の全ての子どもたちが参加できる**ようなプログラムメニューとして、

- 学社融合プログラム(キャリア教育推進プログラム)への取り組み
- 中学・高校生が企画するプログラムへの取り組み
- 特別に支援を要する子どもたちに対するプログラムへの取り組み

に重点を置いたプログラムを掲げる。

また、これまでの調査・研究結果をベースとし、学校教育との連携に重点を置いて、子どもたちの「**思考力**」「**判断力**」「**表現力**」を一層深めることができる体験活動の「場」を設定する。このため、「**行政**」との協働、「**学校**」との連携・情報提供、「**地域**」への情報提供・活動支援を積極的に働きかけ、学校・家庭・地域・行政が一体となり、共通の目的、指針で新たな提案、対策に取り組む。

事業計画にあたっては、平成19年度及び20年度に得られた成果と課題に加え、平日型放課後子ども教室の成果と課題を踏まえ、目標の共有化を図る。さらに情報やスタッフの交流を積極的に推進し、「平日型」と「休日型」**双方のメリットを生かした相乗効果のある放課後子ども教室**としての運営を図る。(別添資料2)

2. プログラムの運営体制

幅広い機関の参画と連携協力を得て、組織体制を整え運営にあたる。(別添資料3)機構概念図は(別添資料4)の通りとする。

(1) 実行委員会

実行委員会は、雲南市、雲南市教育委員会や、島根県放課後子ども教育推進委員会、雲南市校長協議会、市内文化団体、市内文化体育施設各代表により組織し、特に下記事項の推進を図る。

- ①各関係機関、関係団体との有機的な連携促進
- ②学校、家庭、地域等の相互の連携協力促進
- ③新しい取り組みへの指針策定

(2) 運営委員会

運営委員会は、実行委員会に参加する各団体の担当者と、島根県の関連部局、島根大学教育支援センター、雲南市PTA、雲南市公民館協議会、平日の放課後子ども教室実行委員会、雲南警察署、雲南消防署等の協力を得て組織する。

- ①“雲南モデル”「放課後子ども教室」の企画、周知、普及
- ②本年度、重点的に取り組むプログラムの実施と検証
- ③学校とのより一体的協力体制づくり
- ④中学生や高校生が企画・運営する環境づくり

3. 事業実施施設

市内の6つの文化施設及び体育施設及びこれ以外の社会教育施設、並びに学校及び

その他多くのフィールドを利用・活用する。

4. 重点的に取り組むプログラム(別添資料5)

(1) 学社融合プログラム

新しく雲南市内の全ての小中学校で取り組むキャリア教育推進プログラム「夢発見プログラム」を補充・深化する、学校教育と一体となったプログラムを展開する。

- ① 中学3年生を対象とする一泊研修(キャリア教育)とリーダー育成プログラム(学校が行う職場体験に連動)
- ② 中学3年生を対象とする文化・体育活動プログラム(部活動終了者への支援)
- ③ 中学生を対象とする学習支援プログラム(学力の向上)

(2) 中学生・高校生が企画・運営するプログラム

中学生や高校生が企画・運営することで、小学校高学年や中学生が参加したくなるプログラムづくりと異学年交流を推進する。

- ① 社会貢献をテーマとするボランティアプログラムの企画
- ② 中学生・高校生が低学年生を指導するプログラム(中1ギャップの緩和的役割にもつながる)

(3) 特別に支援を要する子どもたち(不登校、障害のある)に対するプログラム

- ① 多様な体験を通して自信を持たせるプログラム
- ② 演劇、音楽劇、ジュニアジャズバンドへの参加プログラム
- ③ 学習支援プログラム

(4) 楽しく学ぶ<体験><実験>学習支援プログラム

- ① 島根大学及び松江高等専門学校との協力・協働
- ② 自然や地域資源を活かした体験プログラム[自然塾]
- ③ 親子体験プログラム
- ④ アーティスト、アスリート等本物体験プログラム

5. 地方公共団体との具体的な連携・協力内容

以下のコンセンサスの上で、具体的に「実行委員会委員」や「運営委員会委員」として参画する。

(1) 雲南市教育委員会との連携

学校、家庭、地域、行政等との相互の連携・協力を推進するために、平成20年度から雲南市の全ての中学校区(7校)に設置された**「学校支援地域本部」を核とした推進体制**の構築を図ってきた。本年度はこれを定着化し、一体化した協力体制で事業推進にあたる。

また、平日の「放課後子ども教室」との相乗効果を高めるとともに、プログラムメニューの共有化と情報連携を図る。

(2) 雲南市健康福祉部との連携

児童クラブとの連携プログラム作成及び子どもたちの健康づくりの視点にたつこと。

(3) 雲南市政策企画部との連携

市が企画する事業への参加及び子どもたちの交通手段の確保、公共交通機関活用

の協力。

6. 事業の実施に際し、創意工夫した点や提案する実施方法が効果的である根拠

今回提案する事業は、平成19年度、20年度の成果と課題を明確にし、**学校教育と社会教育の融合を更に推進するプログラム**である。

今、子どもたちに求められている「生きる力」は、学校教育、社会教育の場で育まれるものであり、特に、今回の「放課後子ども教室」で目指すキャリア教育は、**学校教育で行われるキャリア教育を補完、深化させるもの**である。

また、不登校対応や特別支援教育の推進も学校だけでなく、地域の中で、「人、もの、こと」との出会い中でより充実していくと考える。

社会教育で行われる「放課後子ども教室」は、スタッフ、指導者をはじめとする様々な人々との出会いや時間的な余裕の中で行われるものであり、学校教育と目標を共有化していくことが、今後の「放課後子ども教室」を充実発展させるものと信じている。

7 事業の目標とする効果・成果

<成果・効果の検証内容>

1. 実施プログラム内容

- ・ “雲南モデル” 定着に繋がる子ども教室を実施・運営できたか。
- ・ 子どもたちのやる気と意欲を高めるプログラムを提供することができたか。
- ・ 保護者、学校教職員が満足できるプログラムであったか。
- ・ 学校、家庭、地域の社会教育に関する意識の高まりがあったか。

2. 実施体制と連携

- ・ 教育支援コーディネーター、地域コーディネーター、体育・文化施設の専門職員の連携が図られたか。

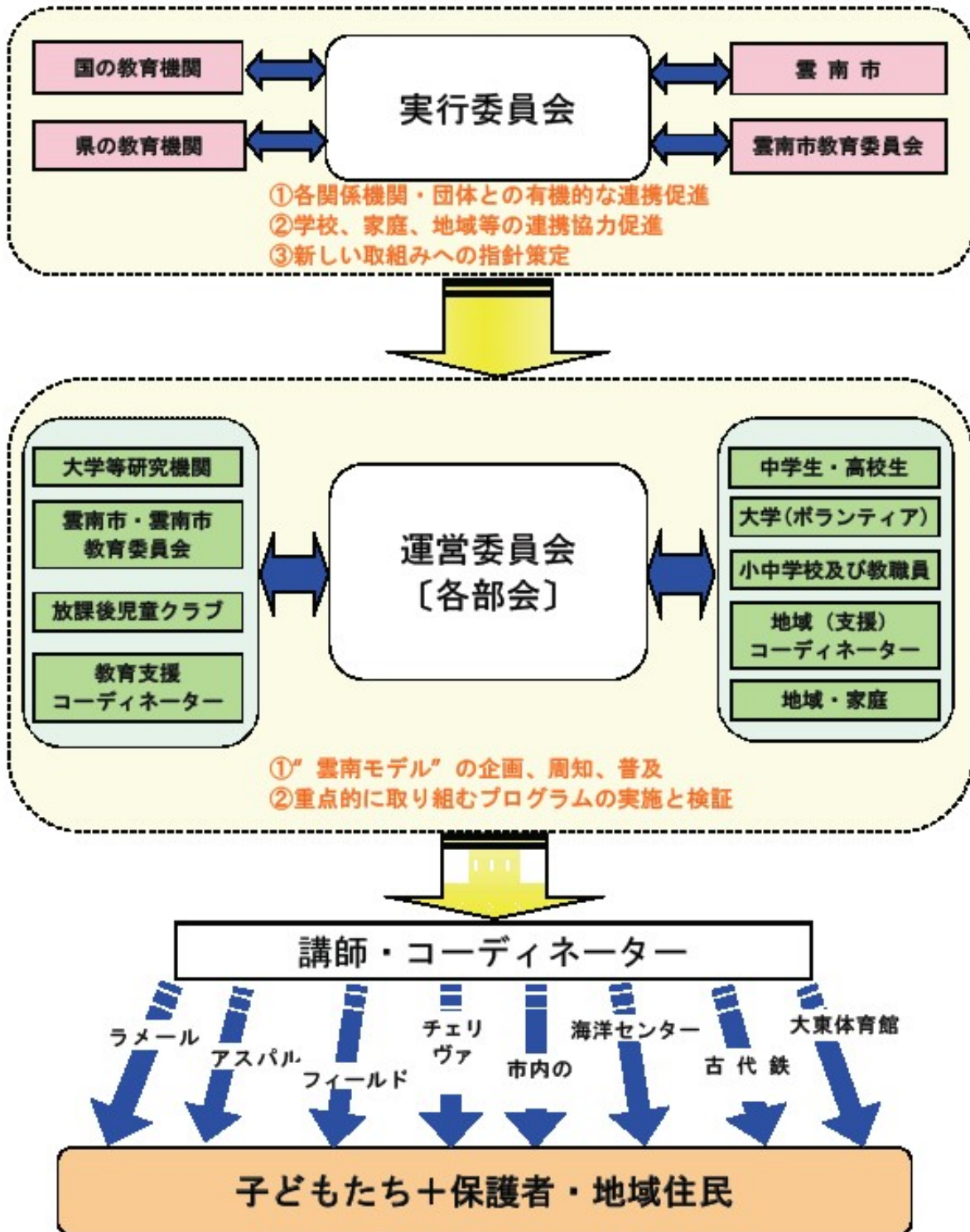
3. 学校、家庭、地域、子どもの変化

- ・ 学校教職員、地域住民、保護者が学校外活動（社会教育）に対する理解と協力が深まったか。
- ・ 子どもたちの学校生活への変化がみられたか。
- ・ 子どもたちの生活リズムの向上が図られたか。

<成果・効果の検証方法>

1. モニター制の導入を含めた第三者による評価の導入（有識者、社会教育専門家）
2. アンケートによる意向調査とその分析

雲南市文化体育施設利用放課後子ども教室実行委員会



■ 3. 事業の実施状況

3-1 教室プログラム

3-2 プログラム個別の状況

- ① 学社融合プログラム
- ② 中学高校生が企画するプログラム
- ③ 特別に支援を要する子ども達に対するプログラム
- ④ 楽しく学ぶ<体験><実験>学習支援プログラム

3-1 教室プログラム

6月号

うんなん元気っ子 わくわく教室

大東体育館 (大東)

卓球教室

20日(土) 15:00~17:00

みんな楽しく卓球しよう！
上履きを持ってきてね。

スポンジテニス教室

20日(土) 27日(土) 10:00~12:00

初心者から上級者まで簡単に打つことが出来る。
上履きを持ってきてね。

からだ遊び教室

13日(土) 27日(土) 13:00~15:00

ストレッチ体操やエアロビクスなど、いろんな運動をしてみよう。
上履きを持ってきてね。

わくわくホテルバスツアー

12日(金) 19:00~21:30 **※要申込**

乗車人数：約10名
参加費：500円(バス代含む)
集合場所：本次駅前、加茂B&G海洋センター、大東駅前
行き先：大東町吉浦地区
催行先：編み物：7日(日)

V行路
18:30頃 本次駅前 集合
18:45頃 加茂B&G海洋センター 集合
19:00頃 大東駅前 集合
~ 19:10~20:50頃までホテル観望 ~

▼行路
21:00頃 大東駅前到着
21:15頃 加茂B&G海洋センター 到着
21:30頃 本次駅前到着

大東町の景川に生息するホテルを見に行こう！
親子参加も可能なので、この機会にぜひご参加ください。

■大東公園市民体育館
TEL:0854-43-6311 (FAX:43-6312)

古代鉄歌謡館 (大東)

みんなで楽しく絵を描こう！

13日(土) 14日(日) 21日(日) 27日(土) 10:00~12:00

クレヨンや絵の具を使っていろんな絵を描いてみよう！

ピーヒャラ ドンドコ かくろうをやろう

13日(土) 14日(日) 20日(土) 28日(日) 10:00~12:00

神楽好きを喜ばせよう！
の囃子(お囃子)から舞臺まで体験しよう！！

■古代鉄歌謡館
TEL-FAX: 0854-43-6568

神楽鑑賞教室

27日(土) 20:00~21:30



■古代鉄歌謡館
TEL-FAX: 0854-43-6568

B&G海洋センター(加茂)

スポンジテニスをしよう

16日(火) 30日(火) 17:00~18:00
19日(金) 13:30~15:00
26日(金) 16:30~18:00

やわらかいスポンジボールでテニスをしよう。
初心者でも簡単に打つことが出来る。上履きを持ってきてね。

3B体操キッズ

21日(日) 13:00~14:00

音楽に合わせて楽しく体操しよう！
親子で参加できる。上履きを持ってきてね。

わくわくバルーンアート

28日(日) 16:30~18:00

参加費：1人100円

みんなで大きくワラワラをしよう！

B&G マット運動をしよう

13日(土) 20日(土) 13:00~14:00

マットを使っての運動をしよう！
大げんかにも挑戦しよう！

音のおもちゃを作ろう

14日(土) 10:00~12:00

☆定員：10名
☆参加費：1人200円

音の飛んでいく「竹トンボ」を作ろう！
「竹」を竹筒で作って音を出してみよう！
「コ」をコリで作って音を出してみよう！

B&G なわとびをしよう

23日(火) 16:30~18:00

「なわとび」や、「もわとび」の色々な遊びを体験しよう。
なわとびの上履きを持ってきてね。

■加茂B&G海洋センター
TEL:0854-49-7100 (FAX:49-8440)

ラメール (加茂)

親子お料理教室

20日(土) 9:45~13:00 **※要申込**

～ なまきき ☆巻寿司づくり ～

☆定員：10組
☆持ちこたえるもの：エプロン、三角巾、はし、スプーン
☆材料費：300円
☆会場：かもちろず(栄町駅前)

せいろも焼き寿司に挑戦！
あちこちで作ってアレンジをしよう。

ラメール鼓笛隊

13日(土) 20日(土) 27日(土) 10:00~12:00

ワグ、トランペット、
トロンボーン、パーカッションを体験しよう！

ペン習字教室

13日(土) 13:00~14:00

きれいな字を書けるようになる！
学校で使っている鉛筆やペンを体験しよう。

■加茂文化ホールラメール
TEL:0854-49-8500 (FAX:49-6200)

「うんなん元気っ子わくわく教室6月」への参加について
本格的な文化・体育施設で、専門的な指導員に教えてもらえるプログラムをそろえています。
ぜひ、ご家族や友達同士でお誘い合わせの上、たくさんの参加をお待ちしております。

☆放課後子ども教室(6月)参加申し込み

事前申込みが必要な教室にご参加される場合は、カレンダーの希望する教室まで申込み、下記項目をご記入の上、
表下の文化・スポーツ施設にご提出いただくか、貴南加茂文化ホールに電話、またはFAX下さい。

参加者名: _____ 学年: _____
保護者名: _____ 緊急連絡先: () - _____
FAX: () - _____

■下線のある教室が「要申込」の教室です。要申込教室の中で参加を希望されるものを○で囲んで下さい。

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|--|------------------|------------------|------------|---------------|--------------------|--------------------------------|
| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 わくわくバスツアー(大) | 13 スポンジテニス(卓) |
| 14 神楽教室(古) 子どもの歌(チ) お囃子(チ) 音のおもちゃ(古) | 15 | 16 スポンジテニス(古) | 17 | 18 | 19 ファミリーウォーク(古) | 20 3B体操キッズ(古) スポンジテニス(古) |
| 21 ファミリーウォーク(古) | 22 | 23 なわとび(古) | 24 | 25 | 26 ファミリーウォーク(古) | 27 ファミリーウォーク(古) |
| 28 ファミリーウォーク(古) | 29 スポンジテニス(古) | 30 スポンジテニス(古) | ア ... アスバル | チ ... チェリアホール | ラ ... ラメール | 古 ... 古代鉄歌謡館 |

加茂文化ホール ラメール TEL: 49-8500 FAX: 49-6200 *d@com *su *soffbank
加茂B&G海洋センター TEL: 49-7100
大東公園市民体育館 TEL: 43-6511
古代鉄歌謡館 TEL: 43-6568
本次屋文化ホール チェリアホール TEL: 42-1195
三刀屋文化体育館 アスバル TEL: 49-9222

貴南加茂文化体育施設利用放課後子ども教室実行委員会 E-mailアドレス boukago_lamer@yahoo.co.jp
事務局：ラメール ホームページアドレス http://user.kkm.ne.jp/bukamo/

6月

うんなん元気っ子 わくわく教室

アスバル (三刀屋)

わくわく☆お花見ウォーク

14日(日) 7:30~8:30

おしんが大好きな、お父さんがお母さんと一緒にウォークをしよう！
桜土手を中心に2km~5kmのコースを歩こう。

わくわく3B体操

20日(土) 13:30~15:00

音楽に合わせて体操をしよう！
ボールやクッションを使って楽しく遊ぼう。

わくわく☆ファミリーウォーク

21日(日) 7:30~

みんながウォークをしよう！
三刀屋川の土手を楽しく歩こう。

レッツプレイ♪キッズ・バスケット

27日(土) 10:00~11:00

ボールを使って楽しく遊ぼう！
かっこよくシュートやパスをしよう！

アスバルキッズ

19日(金) 17:00~18:00
アスバルでスポーツしよう！

26日(金) 17:00~18:00
ニュースポーツに挑戦しよう！

スポーツの楽しさを体験しよう！
アスバルで楽しく遊ぼう！

アスバル・かがくの広場

28日(日) 13:30~15:30

☆参加費：1,000円
※工作部器具
☆締切：11日(木)

「メカ・タービー」を作ってみよう！

スーパーホッケーに挑戦しよう！！

29日(月) 17:00~18:00

アリーナで室内ホッケーをしよう！
ゴールをたくさん決めよう！！

■三刀屋文化体育館アスバル
TEL:0854-49-9222 (FAX:49-6222)

チェリヴァホール(赤次) わくわく子どもマジックショー

ミラクルマジック教室

13日(土) 27日(土) 10:00~12:00 **※要申込**

(定員10名程度)

ドッキリするマジックを覚えて
みんなをびっくりさせよう！

うんなん将棋道場

21日(日) 10:00~12:00

山登り名人による将棋道場！
将棋の楽しさを体験しよう！

■赤次経済文化会館チェリヴァホール
TEL:0854-42-1155 (FAX:42-1251)

「うんなん元気っ子わくわく教室7月」への参加について
本格的な文化・体育施設で、専門的な指導者に教えてもらえるプログラムをそろえております。ぜひ、ご家族や友達同士でお連れ合わせの上、たくさんのお参加をお待ちしております。

☆放課後子ども教室(7月)参加申し込み

事前申込の必要な教室にご参加される場合は、カレンダーの希望する教室を○で囲み、下記項目をご記入の上、表下の文化・スポーツ施設にご提出いただくか、貴南市加茂文化ホールに電話、またはFAX下さい。

参加者名: _____ 学校名: _____ 学年: _____
保護者名: _____ 緊急連絡先: () - _____
FAX: () - _____

■下線のある教室が「要申込」の教室です。要申込教室の中で参加を希望されるものを○で囲んで下さい。

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|---------------|-----------------|----|----|----|----|----|
| ア ... アスバル | B ... B&G海洋センター | | | | | |
| チ ... チェリアホール | 大 ... 大東公園市民体育館 | 1 | 2 | 3 | 4 | |
| ラ ... ラメール | 古 ... 古代鉄器館 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 |
| | | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 |
| | | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 |
| | | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 |
| | | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 |
| | | 30 | 31 | | | |

加茂文化ホール ラメール TEL: 49-8500 FAX: 49-8200 *docomo *au *softbank
加茂B&G海洋センター TEL: 49-7100
大東公園市民体育館 TEL: 43-6511
古代鉄器館 TEL: 43-6568
木次経済文化会館 チェリアホール TEL: 42-1765
三刀屋文化体育館 アスバル TEL: 45-9222
貴南市文化体育施設利用放課後子ども教室実行委員会 E-Mailアドレス boukago_lamer@yahoo.co.jp
事務局: ラメール 4-16-17/A115 http://user.kkm.ne.jp/bkhamo/

雲南市文化体育施設利用放課後子ども教室
7月 うんなん元気っ子 わくわく教室

アスバル (三刀屋)
レツアスライ♪ キックス・バスケット
4日(土) 5日(日) 26日(日)
ボールを弾ませて楽しく遊ぼう!! 10:00~11:00
カマキリシューティング対決をしよう!!

マットで遊ぼう!!
3日(金) 17:00~18:00
マットを使って思い思いに遊ぼう!! 色々な遊び方を教えてもらおう。

室内雪合戦をしよう!
11日(土) 10:00~11:30
スポンジボールを使った室内雪合戦!! 雪がなくても雪合戦が楽しめる!!

アスバル・グラウンドゴルフ教室
29日(水) 9:00~10:30
アスバル特設コースでグラウンドゴルフを体験しよう!!

ヨルゲームをしよう
31日(金) 17:00~18:00
ヨルゲームって何? コルポに似たゲームが、
ボールインゲーム!!

スーパーホッケーに挑戦しよう!!
24日(金) 10:00~11:30
アリーナで室内ホッケーを体験。ゴールをたくさん決めよう!!

SAQトレーニング ※要申込
27日(月) 13:45~16:00
楽しい運動をしよう!
参加費: 100円
参加対象: 3年生以上
服装: 体操服
持ってくる物: 上履き

ラジオ体操&ファミリーウォーク
19日(日) 26日(日)
7:30~
みんなの笑顔でウォーキングをしよう
三刀屋10土手公園まで歩く。

■三刀屋文化体育館アスバル
TEL:0854-45-9222 (FAX:45-9223)

チェリヴァホール(赤次)
ミラクル★マジック教室 ※要申込
11日(土) 25日(土) 10:00~12:00
ドットを動かすマジックを体験しよう!!
マジックの不思議を体験しよう!! (定額10名程度)

うんなん将棋道場
5日(日) 26日(日) 10:00~12:00
山陰名人による将棋道場!!
技を伝授する将棋名人がいます!!

チェリヴァホール
~「フランダースの犬」~
18日(土) ①10:30~②15:00~
※2回上映
子ども 500円
大人 1000円(当日1200円)
キャンセルは見せたら100円引!!

■木次経済文化会館チェリヴァホール
TEL:0854-42-1155 (FAX:42-1251)

7月号 うんなん元気っ子 わくわく教室

B&G海洋センター(加茂)
ちびっ子水泳教室
お申し込み: 3,500円
定員: 50名(先着順)

■計7回開催 18:30~19:30
7月 7日(火)、14日(火)、21日(火)、28日(火)
8月 4日(火)、11日(火)、18日(火)、25日(火)

※教室開始10分前には集合をお願いします
レベルに合わせて楽しく上達していく機会に泳ぎをマスターしよう!!

※要申込 (お申し込み: 6月30日)
※お申し込みは参加費と共に、加茂海洋センターにお申し込み下さい。

海の日イベント ~プール無料開放~
20日(祝・月) 9:30~12:00
13:00~21:30

誰でも無料でプールが使えるよ!!
夏の日はみんながプールで遊ぼう!!
この日は無料でプールが使えるよ!!

※小学3年生以下の子ども、午後5時以降の中学生未満の
お子様のご利用は保護者様の同伴が必要となります。

プールでOPヨット体験 ※要申込
31日(金) 10:00~12:00 (お申し込み: 7月24日)
参加費: 300円 定員: 15名(先着順)

OPヨットと呼ばれる小さなヨットに乗ってみたい!!
当日は船乗れやロープワークの基本を体験。
泳げなくても大丈夫!! 泳げなくても大丈夫!!
OPヨット、この機会に是非体験しよう!! 泳げなくても大丈夫!!

■加茂B&G海洋センター
TEL:0854-49-7100 (FAX:49-8440)

古代鉄器館(大東) みんなで楽しく
絵を描こう!
4日(土) 11日(土)
19日(日) 25日(土)
10:00~12:00

クレヨンや絵の具を使って
いろいろな絵を描いてみよう!!

神楽鑑賞教室
19日(日) 25日(土)
20:00~21:30

音楽の神楽を
体験しよう!!

■古代鉄器館
TEL:FAX: 0854-43-6568

ラメール(加茂)
親子お料理教室 25日(土) 13:30~16:30
「夏スイーツで夏休みを満喫しよう!!」
定員: 10名 20名
お申し込み: 300円
会場: 三刀屋文化体育館

夏休みのママを応援。お料理教室で夏スイーツ!!
今年のお料理教室を体験しよう!!

5日(日) 9:45~13:00
~ ジュースを使って春ごはん ~

定員: 10名 20名
お申し込み: 300円
会場: 三刀屋文化体育館

野菜の栄養と料理の楽しさを体験しよう!!

ラメール鼓笛隊
4日(土) 11日(土) 12日(日)
18日(土) 19日(日) 25日(土)
26日(日) 10:00~12:00

サックス、トランペット、
トロンボーン、ハープシコドを体験しよう!!

ペン習字教室
11日(土) 25日(土) 13:00~14:00

きれいな字を書けるようになる!!
学校で使っている鉛筆やペンを持ってきてね。

■加茂文化ホールラメール
TEL:0854-49-8500 (FAX:49-8200)

大東体育館(大東)
卓球教室
11日(土) 18日(土) 15:00~17:00
みんなが楽しく卓球をしよう!! 上履きを持ってきてね。

からだ遊び教室
11日(土) 25日(土) 9:30~11:00
ストレッチやヨガの体験。いろいろな遊びをしよう!!
上履きを持ってきてね。

わくわくバレーアート
12日(日) 13:30~16:30
バレーアートでクラを作ろう!!

■大東公園市民体育館
TEL:0854-43-5511 (FAX:43-5512)

出前教室
波多自然体験合宿 ※要申込
8月4日(火)~8月6日(木) 2泊3日

会場: 波多自然体験センター(旧波多小学校)
対象: 小学3年生以上
参加費: 1人1500円(食料・保険・体験費用)
定員: 20名
お申し込み: 7月20日(日)
お申し込み: キヨロ、マイクログラスを貸します。

そのほかの自然体験も盛り込んで!!
おもしろい自然体験!! 波多の自然を満喫しよう!!
※詳しくは内書は参加者の皆さまにご連絡します。

■木次経済文化会館チェリヴァホール
TEL:0854-42-1155 (FAX:42-1251)

みんなで紙ひこうきをつくろう!!

日時: 8月1日(日) 9:30~12:00
場所: 松笠公民館(松笠町)
参加費: 300円
定員: 10名

自分だけの飛行機をつくろう!!
完成したら飛ばしてみよう!!

■三刀屋文化体育館アスバル
TEL:0854-45-9222 (FAX:45-9223)

アスバル(三刀屋)

スーパーホッケーに挑戦しよう!
7月24日(金) 8月24日(月)
10:00~11:30
 アップで室内ホッケーを遊ぶよ。
 ゴールをたくさん決めよう!!

ラジオ体操&ファミリーウォーク
7月19日(日) 7:30~

みんなでお揃いでウォーキングしよう!!
 三刀屋川の土手を楽しく歩こう。

室内雪合戦をしよう!!
8月7日(金) 10:00~11:30
 スノボポールを使って室内雪合戦!!
 暑かなくても「雪合戦」が楽しめるよ。

アスバル・グラウンドゴルフ教室

7月29日(水) 9:00~10:30
 アスバル特設コースでグラウンドゴルフを体験しよう。

アスバル・かかしの広場
7月18日(土) 13:30~15:30
 ☆参加費:1000円 ※工作部員代

カブトムシ型ロボットを作ろう!!
8月23日(日) 13:30~16:00 【夏休み中】
 参加費:1000円(部員代)

百ちぢもがら障害物をのけることができる
 カブトムシ型ロボットを作ろう。みんなが競争しよう!!

■三刀屋文化体育館 アスバル
 TEL:0854-45-9222 (FAX:45-9223)
 最寄りのバス停「アスバル前(徒歩1分)」

チェリヴァホール(水次)

うんなん将棋道場
7月26日(日)
8月9日(日)
8月23日(日) } **10:00~12:00**
 山崎先生による将棋道場! 将棋名人と将棋名人に会おう!

ミラクル★マジック教室
わくわくマジックショーinさくら苑
8月8日(土) **10:00~12:00** 【夏休み中】
 場所:さくら苑

おもしろいマジックをみんなで見よう!!
 将棋名人とマジックを体験しよう!!

チェリヴァシアター「アランダースの犬」

7月18日(土) ①10:30 ②15:00~
***2回上映** 【夏休み中】
 子ども 500円
 大人 1000円 (当日1200円)

おもしろいお話をみんなで見よう!!
 アランダースの犬は、犬と少年の物語です。
 涙を流しながら観る感動的なお話です。
 「30年以上前から観られる名作」の機会に観てみましょう。

■水次経済文化会館 チェリヴァホール
 TEL:0854-42-7155 (FAX:42-7251)
 最寄りのバス停「水次駅前(徒歩1分)」

大東体育館(大東)

からだ遊び教室
8月8日(土)
10:00~12:00

みんなと一緒にストレッチや
 エアロビクスをしよう。

運動に苦手な人も楽しく
 できる。気軽に参加してみよう。
 上履も持ってきてね。

卓球教室
8月1日(土) 8月8日(土)
15:00~17:00

大人の方と一緒に楽しく卓球をしよう。
 基本の練習から試合も行なう。
 初心者の方の参加もお待ちしています。
 上履も持ってきてね。

■大東公園市民体育館
 TEL:0854-43-5511 (FAX:43-5512)
 最寄りのバス停「大東駅前(徒歩1分)」

大東公園市民体育館(大東)

スポンジテニス教室
8月22日(土)
10:00~12:00

初心者でも簡単にボールが打てる
 ようになる。子どもから大人まで
 楽しめる。気軽に参加してみよう。
 スポーツシューズ
 上履も持ってきてね。

親子お料理教室
8月1日(土) 9:45~13:00 【夏休み中】

料理の世界を体験しよう!!
 オーストラリアについてみよう!

定員: 10組 20名
 参加費: 300円
 材料費: 300円
 会場: 大東公園市民体育館
 申込: 大東公園市民体育館(電話予約)

古代鉄歌謡館(大東)

ピーヒャラ ドンドコ
かぐらをやろう
7月26日(日) 10:00~12:00
8月9日(日) 10:00~12:00
8月23日(日) 10:00~12:00
 神楽好きも喜ぶよ!!

クレーンや船の音を使って
 いろいろな音で
 遊んでみよう☆

■古代鉄歌謡館
 TEL/FAX:0854-43-6568
 最寄りのバス停「ゆとりりの里駅前(徒歩2分)」

みんなが楽しく絵を描こう!

7月25日(土) 10:00~12:00
8月8日(土) 10:00~12:00
8月22日(土) 10:00~12:00

神楽鑑賞教室
7月25日(土)
20:00~21:30

神楽鑑賞の楽しさをみんなに
 体験してほしいよ!!

■古代鉄歌謡館
 TEL/FAX:0854-43-6568
 最寄りのバス停「ゆとりりの里駅前(徒歩2分)」

B&G海洋センター(加茂)

海のイベント ~プール無料開放~
7月20日(祝・月) 9:30~12:00
13:00~21:30

誰でも無料でプールが使えるよ!!
 この日はみんながプールを自由に使えるよ!!
 この日は特大プールの水も暖かいよ!!

■加茂B&G海洋センター
 TEL:0854-49-7100 (FAX:49-8440)
 最寄りのバス停「加茂駅前(徒歩5分)」

夏祭り2009

8月29日(土) 13:00~21:00

夏祭り開催の思い出に残るよ!!
 親子で楽しむよ!!

■加茂B&G海洋センター
 TEL:0854-49-7100 (FAX:49-8440)
 最寄りのバス停「加茂駅前(徒歩5分)」

ラムール(加茂)

親子お料理教室
8月1日(土) 9:45~13:00 【夏休み中】
 料理の世界を体験しよう!!
 オーストラリアについてみよう!

定員: 10組 20名
 参加費: 300円
 材料費: 300円
 会場: 大東公園市民体育館
 申込: 大東公園市民体育館(電話予約)

■加茂文化ホール ラムール
 TEL:0854-49-8500 (FAX:49-8200)
 最寄りのバス停「加茂駅前(徒歩5分)」

ペン習字教室

7月25日(土)
8月22日(土) 8月29日(土)
13:00~14:00

きれいな字を書けるようになるよ!!
 学校で役立つよ!!

■加茂文化ホール ラムール
 TEL:0854-49-8500 (FAX:49-8200)
 最寄りのバス停「加茂駅前(徒歩5分)」

雲南市文化体育施設利用放課後子ども教室

うんなん元気っ子 わくわく教室

夏休み特別号
2009 7/19~8/31

みんなが楽しく遊べるよ!!

雲南市文化体育施設利用放課後子ども教室実行委員会
 事務局: ラムール

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|------|-----------------|-------------------|--------------------|---------------------|--------------------|---------------|
| 7/19 | 家庭の日 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 |
| 7/19 | 家庭の日 | 海の日のイベント(日) | 水泳教室(日) | 稲刈り体験(8:30~) | 23 | 24 |
| 7/19 | 家庭の日 | 水泳教室(日) | 稲刈り体験(8:30~) | 23 | 24 | 25 |
| 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 |
| 26 | 得原道場(チェ) | SACHUレーニア(18:45~) | 水泳教室(日) | クラブゴルフ教室(日) | 30 | 31 |
| 26 | 得原道場(チェ) | SACHUレーニア(18:45~) | 水泳教室(日) | クラブゴルフ教室(日) | 30 | 31 |
| 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 |
| 2 | 赤川水辺の教室(10:00~) | 稲刈り体験(8:30~) | 夏自然体験合宿(9:00~) | LOVE & PEACE(9:00~) | バスケットを教わろう(10:00~) | 室内雪合戦(10:00~) |
| 2 | 赤川水辺の教室(10:00~) | 稲刈り体験(8:30~) | 夏自然体験合宿(9:00~) | LOVE & PEACE(9:00~) | バスケットを教わろう(10:00~) | 室内雪合戦(10:00~) |
| 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 |
| 9 | 神楽教室(古) | たたら歴史(9:30~) | 夏の夜空鑑賞(20:00~) | 13 | 14 | 15 |
| 9 | 神楽教室(古) | たたら歴史(9:30~) | 夏の夜空鑑賞(20:00~) | 13 | 14 | 15 |
| 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 |
| 16 | 家庭の日 | 家庭の日 | 雷鳴を覚える心ツアー(10:10~) | 20 | 21 | 22 |
| 16 | 家庭の日 | 家庭の日 | 雷鳴を覚える心ツアー(10:10~) | 20 | 21 | 22 |
| 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 |
| 23 | ロボットを作ろう(ア) | スーパーホッケー(ア) | お菓子で楽しくアート(18:00~) | 26 | 27 | 28 |
| 23 | ロボットを作ろう(ア) | スーパーホッケー(ア) | お菓子で楽しくアート(18:00~) | 26 | 27 | 28 |
| 30 | 31 | ア... | ... | ... | ... | ... |
| 30 | 31 | ア... | ... | ... | ... | ... |

夏休みスペシャル教室 [Summer vacation special]

※夏休みスペシャル教室の申込受付開始は7月19日から!



赤川水辺の教室

8月2日(日) 10:00~12:00
 集合場所: 加茂文化ホールラメール
 参加費: 200円
 定員: 30名
 申込: 7月26日
 問合せ先 → B & G 海洋センター

夏祭り2009

8月29日(土) 13:00~21:00
 [会場] B & G 海洋センター アリーナ
 参加費: 100円
 定員: 100名~200名
 問合せ先 → B & G 海洋センター

科学のひろば

かかぐの不思議! 73つの実験にチャレンジしよう!
8月9日(日) 9:00~12:00 問合せ先 → アスバル
 集合場所: アスバル
 参加費: 500円 (個別参加)
 定員: 15名
 申込: 8月2日(日)まで

レッツプレイ♪ キッズバスケット

中学生のお兄さんたちにバスケットを教わろう!
8月6日(木) 10:00~12:00
 集合場所: アスバル アリーナ 問合せ先 → アスバル
 参加費: 500円 (個別参加)
 定員: 15名
 申込: 8月2日(日)まで

「LOVE & PEACE

~永井隆博士の平和のメッセージを学ぼう!~
8月5日(水) 9:00~12:00
 集合時間: 8:45
 集合場所: 永井隆記念館 問合せ先 → アスバル
 参加費: 100円 (入館料)
 定員: 15名
 申込: 8月2日(日)まで

SAQトレーニングで楽しい運動をしよう!!

7月27日(月) 13:45~16:00
 問合せ先 → アスバル
 参加費: 100円
 参加対象: 3年以上上級
 持ちこぶ物: 上履き
 申込: 7月26日

夏の夜空を鑑賞しよう!

夏の星座と木星観察
8月12日(水) 20:00~
8月24日(月) 20:00~
 場所: 大東地域交流センター 屋上星空観察スペース
 参加費: 500円
 定員: 15名
 申込: 8月2日(日)まで

お寺で宿舎! おしょうさんに学べ!

8月7日~8日 一泊二日 問合せ先 → ラメール
8月7日 9:00現地集合 ●8日 16:00解散(予定)
 参加費: 500円
 定員: 15名
 申込: 8月2日(日)まで

桜染を体験しよう!

7月22日(水)、8月3日(月)
8:30~12:00
 集合場所: 市役所職員駐車場 問合せ先 → チャリッパホール
 参加費: 500円 (個別)
 定員: 10名
 申込: 8月2日(日)まで

押し花でキラキラストラップと ポストカードを作ろう♡

8月22日(土) 10:00~12:00
 集合場所: チャリッパホール
 参加費: 1500円 (親子参加大歓迎!)
 定員: 15名
 申込: 8月2日(日)まで

お料理ユニットタバタさんと お菓子で楽しくアートしよう!

8月25日(火) 13:00~15:00
 会場: ラメール 第1会議室 問合せ先 → ラメール
 参加費: 300円
 定員: 20名
 申込: 8月26日

◯キョロパスで行ってみよう!

ゆったり久野川上流満喫ツアー
8月6日(木) 10:30~17:30 問合せ先 → 大東体育館
 集合場所: 大東公園市民体育館
 参加費: 1000円
 定員: 10名
 申込: 8月2日(日)まで

◯キョロパスで集合!

たたら歴史に触れよう!
8月11日(火) 集合場所: 19:10 三刀屋バスセンター
 解散場所: 29:35 持合集合センター
 参加費: 1000円
 定員: 10名
 申込: 8月2日(日)まで

「雲南を愛する心」を感じるツアー

8月18日(火) 集合場所: 八反井 吉田町 10:10
 解散場所: 八反井 吉田町 16:00
 参加費: 1000円
 定員: 10名
 申込: 8月2日(日)まで

深流釣りツアー! ~芦谷峠やまめの里~

8月20日(木) 問合せ先 → チャリッパホール
 集合場所: 1: 大東水郷 9:30 2: 八反井 吉田町 10:10
 解散場所: 1: 八反井 吉田町 16:00 2: 大東水郷 16:40
 参加費: 1500円
 定員: 20名
 申込: 8月2日(日)まで

暑い夏が今年もやってきました!
 外出時には帽子を忘れずに!
 涼しい格好で水筒、タオルを持って熱中症には気ををつけよう!
 ※詳しい内容は各問合せ先にご連絡下さい。

※「波多自然体験合宿」は7月号に詳しく載っています!
 7月号もご覧下さい!!

「うんなん元気っ子わくわく教室9月」への参加について
 本格的な文化・体育施設で、専門的な指導者に教えてもらえるプログラムをそろえております。
 ぜひ、ご家族や友達同士でお楽しみ合わせの上、たくさんのお申し込みをお願いします。

☆放課後子ども教室(9月)参加申し込み
 事前申込みの必要な教室にご参加される場合は、カレンダーの赤塗りの教室を○で囲み、下記項目をご記入の上、表下の文化・体育施設にご提出いただくか、雲南市加茂文化ホールに電話、またはFAX下さい。

参加者名: _____ 学年: _____
 保護者名: _____ 緊急連絡先: () - _____
 FAX: () - _____

■下線のある教室が「要申込」の教室です。要申込教室の中で参加を希望されるものを○で囲んで下さい。

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|----|----|----|----|----|----|
| | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 |
| 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 |
| 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 |
| 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | | |

担当: _____ FAX済み: ※事務局記入欄

加茂文化ホール TEL: 49-8500 FAX: 49-8200
 加茂町の海洋センター TEL: 49-1100
 大東公園市民体育館 TEL: 49-5811
 古代鉄歌謡館 TEL: 49-6968
 木次経美文化会館 チェリアホール TEL: 42-1955
 三刀屋文化体育館 アスバル TEL: 45-9222

雲南市文化体育施設利用放課後子ども教室実行委員会
 事務局: ラメール

E-mailアドレス honkago_lamer@yahoo.co.jp
 ホームページアドレス http://user.kkm.ne.jp/bkago/

雲南市文化体育施設利用放課後子ども教室
9月 うんなん元気っ子 わくわく教室

アスバル(三刀屋)
 室内雪合戦をしよう!
 12日(土) 10:00~11:00
 スポンジボールを除く室内雪合戦!!
 雪がなくても雪合戦が楽しめる。

スーパーホッケーに挑戦しよう!!
 26日(土) 10:00~11:00
 アスバルで室内ホッケーをしよう。ユールをたくさん決めよう!!

リーク・キッズプログラム ※要申込
 20日(日) 9:45~12:00
 リーク・キッズプログラムとは...
 リーク・キッズプログラムとは、身体能力を高めるための運動やスポーツの楽しさを体験し、毎日の生活の中で活かせるような運動やスポーツの楽しさを身につけるためのプログラムです。

ラジオ体操&ファミリーウォーク
 20日(日) 7:30~
 みんなで体操してウォーキングをしよう!!
 三刀屋の土手沿いに歩く。

レッツプレイ! キッズ・バスケット
 23日(水) 10:00~11:00
 ボールを使って楽しむゲーム!!
 カラフルなボールバスケットをしよう!!

かがくの広場 ※要申込
 「7ヶ型ロボットを作ってみよう」
 27日(日) 13:30~16:00
 参加料: 1000円
 型紙を配布し、型紙に沿って紙を切って、型紙の通りに組み立てる。完成後、小型ロボットの動きを観察する。

■三刀屋文化体育館アスバル
 TEL:0854-45-9222 (FAX:45-9223)

チェリヴァホール(木次)
 映画「産の上のポニョ」※2回上映
 26日(土) ①10:30~②15:00
 子ども 500円 (当日600円) ※要申込
 大人 1000円 (当日1200円)
 ポニョ、ポニョ、ポニョ。セリフもありません。大人気の「産の上のポニョ」がチェリヴァホールで上映されます!!

ミラクル★マジック教室 ※要申込
 12日(土) 10:00~12:00 (定員10名程度)
 トロピカルなマジックを覚えてみんなをびっくりさせよう!!

うんなん特撰道場
 27日(日) 10:00~12:00
 山崎名人による稽古指導!!
 稽古場にて稽古名人に参ります!!

かわいらしい押し花づくり ※要申込
 19日(土) 10:00~12:00
 持ちこる物: ハリミ、ティッシュペーパー、段ボール、華花(花でも大丈夫です!)
 スポンジを使ってみんなで作るかわいらしい押し花を完成させよう!!

■木次経美文化会館チェリヴァホール
 TEL:0854-42-1155 (FAX:42-1251)

おはなしたまごのお話の会
 5日(土) ①10:30~②11:20 (木次会場: チェリヴァホール)
 ③13:30~④14:20 (三刀屋会場: アスバル)
 耳で聞くお話(ストーリーテリング)の会。
 (しるし)お話の時間と一緒に絵本も読んでみましょう!!
 (電灯消滅で、午後も午後のお話があります。プログラムは同じです)

9月 うんなん元気っ子 わくわく教室

B&G海洋センター(加茂)
スポンジテニスをしよう
 15日(火)、29日(火)
 17:00~18:00
 やわらかいスポンジボールでテニスができる。初心者でも簡単に打つことができます。上履きを持ってきてね。

マツ運動をしよう
 5日(土)
 13:00~14:00
 マツを使って打つて楽しむ。上履きを持ってきてね。

■加茂市B&G海洋センター
 TEL:0854-49-7100 (FAX:49-8440)

大東体育館(大東)
卓球教室
 19日(土) 15:00~17:00
 カッコよくスマッシュを打てよう!!
 基本から試合まで行います。初心者の方も大丈夫です。上履きを持ってきてね。

大東ものづくり教室
 6日(日) 11:00~12:00
 参加料: 100円/人
 持ちこる物: 折り紙、広告紙、電線
 自分でおもちゃを作ろう!!
 記念品つき!! 1回目は「紙ひこう機」を作ります。

からだ遊び教室
 5日(土) 9:00~11:00
 みんなでリズム遊びやダンスをしよう!!
 運動が苦手な方も楽しく体を動かすことができます。気軽に参加してください。上履きを持ってきてね。

■大東公園市民体育館
 TEL:0854-43-6511 (FAX:43-6512)

ラメール(加茂)
ペン習字教室
 12日(土)
 13:00~14:00
 きれいな字を書けるようになります!!
 学校で役立つ習字や漢字も習っていただきます。

親子お料理教室 ※要申込
 12日(土) 9:30~12:30
 秋の野菜で元気回復!!
 ☆定員: 10組 20名
 ☆持ちこる物: エプロン、三角巾、お箸
 ☆材料費: 300円
 ☆会場: 大東町 桂荘(農村環境改善センター)
 地元野菜を食べて元気に2学期スタートしよう!!

古代鉄歌謡館(大東)
みんなで楽しく絵を描こう!
 12日(土) 26日(土) 10:00~12:00
 クレヨンや絵の具を使っていろいろな絵を描いてみよう!!

ピーヒャラ ドンドコ かぐらをやろう
 13日(日) 27日(日) 10:00~12:00
 神楽好きも喜ぶ!! お菓子(持ち物)がもらえる!!

神楽鑑賞教室
 26日(土) 20:00~21:30
 雲南出陣神楽の鑑賞

■古代鉄歌謡館
 TEL-FAX: 0854-43-6568

ラメール鼓笛隊
 12日(土) 19日(土) 26日(土)
 10:00~12:00
 サックス、トランペット、トロンボーン、パーカッションを体験できます!!

「2009 出雲路センチュリーライド」がラメールからやって来る! ※要申込
 ~黒米団子汁を作って選手にふるまおう!~
 22日(火) 8:30~12:30
 集合場所: ラメール北広場
 参加条件: 小・中学生(保護者参加OK)
 持ちこる物: エプロン、三角巾 (※9月14日)
 全道が誇る黒米団子汁の魅力を体験しよう!!
 約160kmを自転車で走りぬぎます。
 今年から黒米団子汁をふるまうコースになり、ラメールの前で参加者の皆さんに黒米団子汁をふるまうことになりました。
 だんご汁と一緒に、参加者の皆さんにご提供させていただきます。
 終了後は黒米スタフとだんご汁をいただきます。

■加茂文化ホールラメール
 TEL:0854-49-8500 (FAX:49-6200)

特別鑑賞教室
外園祥一郎 特別コンサート from フラスヘキサゴン
 5日(土)
 14:00~15:00 入場無料! (会場: ラメール ぶれあひホール)
 有名作曲家の音楽、外園祥一郎のコンサート! 感動の音楽を堪能しよう!!
 楽譜も持ち帰ります!! 一緒に演奏もできます!! 二重奏も演奏も体験できます!!

おとぎの国のお城 ☆ ラメール探検&コンサート鑑賞ツアー! ※要申込
 13日(日) 13:00~16:00
 探検立入禁止のラメール屋上へ、この日だけ特別開放します!!
 ①おとぎの国探検、②コンサート鑑賞、③おとぎの国ツアーです。このツアーには、おとぎの国探検とコンサート鑑賞の両方があります!!
 ③おとぎの国探検は、おとぎの国探検ツアーです!!
 ①3:00~ ②4:00~16:00
 定員: 20名 (※9/8(火))
 参加料: 500円 (※9/8(火))
 (保護者の方は、おとぎの国探検の参加料がかかります。)
 ③3:00~ ④4:00~16:00
 ラメールの屋上探検(特別開放)コンサート鑑賞(DYNAMIC観客の酒)
 会場: 総合庁舎ラメール館(観客席) ※特別開放は、(定員200円)のため、ラメール13:20着となります。途中参加となります。
 ※本館に事前の申し込みが必要です!!

■雲南市加茂文化ホールラメール
 TEL:0854-49-8500 (FAX:49-6200)

「うんなん元気っ子わくわく教室10月」への参加について
 本格的な文化・体育施設で、専門的な指導者に教えてもらえるプログラムをそろえております。
 ぜひ、ご家族や友達同士でお誘い合わせの上、たくさんの参加をお待ちしております。

☆前課後子ども教室(10月)参加申し込み
 事前申込の必要な教室にご参加される場合は、カレンダーの希望する教室を○で印し、下記項目をご記入の上、表下の文化・スポーツ施設にご提出いただくか、加茂文化ホールラメールに電話、またはFAX下さい。

参加者名： _____ 学年： _____
 保護者名： _____ 緊急連絡先： () - _____
 FAX： () - _____

■下線のある教室が「要申込」の教室です。要申込教室の中で参加を希望されるものを○で囲んで下さい。

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|---|--|----|-----------------|-----------------|---|--|
| ア…アスバル チ…チェリアホール ラ…ラメール 出…出前教室 | 8…B&G海洋センター 大…大東公園市民体育館 古…古代鉄歌謡館 特…特別鑑賞教室 | | 1 スナックゴルフ(B) | 2 マフリンゴルフ(A) | 3 室内雪合戦(A) ラメール館(ラ) からだ遊び教室(大) | 4 マフリンゴルフ(A) スナックゴルフ(B) 特別鑑賞教室(特) |
| 11 化石発掘教室(特) | 12 車椅子バスケット(B) | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 |

担当： _____ FAX済み 事務局記入欄

雲南市文化体育施設利用放課後子ども教室実行委員会
 事務局： 柳キキ子(ラメール) TEL: 49-8500 FAX: 49-6200
 E-mailアドレス: hokkago_lamer@yahoo.co.jp
 ホームページアドレス: http://user.kkm.ne.jp/hokkago/

雲南市文化体育施設利用放課後子ども教室
10月 うんなん元気っ子 わくわく教室
 2009.10

アスバル(三刀屋)
 室内雪合戦をしよう!
 3日(土) 10:00~11:00

ラジオ体操&ファミリーウォーク
 18日(日) 7:30~
 雲南市スポーツ少年団連絡協議会

わくわく三瓶へGO!!
 ~三瓶で一泊二日の交流会をしよう!!~
 17日(土)、18日(日) 集合時間 8:30

楽しくバドミントンしよう
 14日(水) 16:30~18:00

科学のひろば
 10日(土) 13:30~16:00
 ~マンモス型ロボットを作ろう!!~

化石発掘教室
 11日(日) 集合時間 8:15
 17日(土)、18日(日) 集合時間 8:30

チェリヴァホール(赤次)
 ミラクル★マジック教室
 10日(土) 10:00~12:00

うんなん将棋道場
 25日(日) 10:00~12:00

かわい押し花づくり
 17日(土) 10:00~12:00

大東体育館(大東)
 卓球教室
 10日(土) 15:00~17:00

大東ものづくり教室
 25日(日) 10:00~11:00

からだ遊び教室
 3日(土) 10:00~12:00

スポンジテニス教室
 31日(土) 10:00~12:00

古代鉄歌謡館(大東)
 みんなで楽しく絵を描こう!
 10日(土) 31日(土) 10:00~12:00

神楽鑑賞教室
 24日(土) 20:00~21:30

ビュッパ ドンドコ かぐらをやろう
 18日(日) 10:00~12:00

神楽好きも喜ばれ!お囃子(おや)から聴きとれよう!

出前教室
 「うんなんスイーツの社」プロジェクト☆第1弾!
 ~夢のとろけるプリンを作っちゃおう(きょう)~
 31日(土) 集合時間 8:45 9:00~12:00

特別鑑賞教室
 落語鑑賞教室
 11日(日)

10月号 うんなん元気っ子 わくわく教室

B&G海洋センター(加茂)
スナックゴルフをしよう
 6日(火)、20日(火) 17:00~18:00
 安全に楽しく屋外でも屋内でもコースプレイや練習ができる新しいゴルフ、スナックゴルフを遊んでみよう!!
 上履を脱いでください。

3B体操キッズ
 10日(土) 13:00~14:00
 音楽に合わせて楽しく体操をしよう!親子で参加できます。上履を脱いでください。

車椅子バスケットに挑戦!
 12日(祝・月) 13:30~15:30
 合同費：20名(先着順)
 合同費：200円
 (含み切)：9日

マット運動をしよう
 31日(土) 13:00~14:00
 マットを使っていろいろな動きをしよう!大げんか運動会もできる!

キッズバイクチャレンジ
 24日(土) 9:30~11:00 (お月)：17日
 保険料：500円
 集合場所：本次町 (S4) 総合体育館(新館南側)
 持ちこるもの：自転車、ヘルメット、手袋
 履服：長袖、長ズボン
 乗り用の自転車(7歳以上)か自転車(7歳以下)は、自転車を持ってきてね。

TEL:0854-49-7100 (FAX:49-8440)

ラメール(加茂)
ラメール鼓笛隊
 3日(土) 17日(土) 10:00~12:00
 ワンツ、トランペット、トロンボーン、パーカッションを体験しよう!

親子お料理教室
 17日(土) 9:45~13:00
 「秋の味覚でおやつごはん!!」
 合同費：10組 20名
 持ちこるもの：エプロン、三角巾、お盆、スプーン
 合同費：300円
 合同費：10名(先着順) (楽譜提供)

ペン習字教室
 17日(土) 13:00~14:00
 きれいな字を書けるようになる!学校で使っている鉛筆やペンを持ってきてね。

ハーフ教室
 18日(日) 10:00~12:00
 「ステキな香りリースをつくろう!」
 合同費：5組
 合同費：300円
 合同費：ラメール 第2合議室
 私たちのオリジナルリースで今年のクリスマスはステキに飾ってあげよう!

TEL:0854-49-8500 (FAX:49-6200)

古代鉄歌謡館(大東)
みんな楽しく絵を描こう!
 10日(土) 31日(土) 10:00~12:00
 クレヨンや絵の具を使っている絵を描いてみよう!

ヒーパ! ドンドコ かぐらをやろう
 18日(日) 10:00~12:00
 神楽好きも喜ばれ!お囃子(おや)から聴きとれよう!

出前教室
 「うんなんスイーツの社」プロジェクト☆第1弾!
 ~夢のとろけるプリンを作っちゃおう(きょう)~
 31日(土) 集合時間 8:45 9:00~12:00
 参加費：500円
 定員：親子10組
 場所：雲井公民館(本次町里方619-1)
 持ちこるもの：エプロン、三角巾、タオル

特別鑑賞教室
 落語鑑賞教室
 11日(日)
 集合時間：13:00
 場所：古代鉄歌謡館

問合せ先
 加茂文化ホールラメール
 TEL:0854-49-8500 (FAX:49-6200)

特別鑑賞教室
 落語鑑賞教室
 11日(日)
 集合時間：13:00
 場所：古代鉄歌謡館

問合せ先
 加茂文化ホールラメール
 TEL:0854-49-8500 (FAX:49-6200)

日本語の楽しさを勉強できる!
 上巻話(お母さん)を聞いて、
 日本語で気持ちを伝える方法をわかるかも!

「うんなん元気っ子わくわく教室11月」への参加について
本格的な文化・体育施設で、専門的な指導者に教えてもらえるプログラムをそろえております。
ぜひ、ご家族や友達同士でお問い合わせの上、たくさんの参加をお待ちしております。

☆放課後子ども教室(11月)参加申し込み
参加申し込みの必要書類をご提出される場合は、カレンダーの希望する授業を○で囲み、下記項目をご記入の上、以下の文化・スポーツ施設にご提出いただくか、加茂文化ホール・ラメールに電話、またはFAX下さい。

参加者名: _____ 学名: _____ 学年: _____
保護者名: _____ 緊急連絡先: () - _____
FAX: () - _____

■下線のある教室が「要申込」の教室です。要申込教室の中で参加を希望されるものを○で囲んで下さい。

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----|----|----|----|----|----|----|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 |
| 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 |
| 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 |
| 29 | 30 | | | | | |

担当: _____ FAX済み FAX済み 事務局記入欄

雲南市文化体育施設利用放課後子ども教室実行委員会
事務局: 勢キキラ南南 (ラメール) 加茂文化ホール ラメール TEL: 49-8500 FAX: 49-6200
加茂B&G海洋センター TEL: 49-7100
大東公園市民体育館 TEL: 49-5511
古代鉄歌謡館 TEL: 43-6568
木次経済文化会館 チェリヴァホール TEL: 42-1155
三刀屋文化体育館 アスバル TEL: 45-9222

雲南市文化体育施設利用放課後子ども教室
11月 うんなん元気っ子 わくわく教室
2009.11

B&G海洋センター(加茂)
B&G スナックゴルフをしよう
13日(金) 17:00~18:00
安全に楽しく屋外でもコースプレイや練習ができる新しいゴルフ、スナックゴルフを遊んでみよう!!
上履きを持ってきてね。

3B体操キッズ
28日(土) 13:00~14:00
音楽に合わせて楽しく体を動かそう!!
12月以降は11月の23日(土)3Bアスナル・ゴルフに代わって開催します。
親子で参加できます。上履きを持ってきてね。

B&G ドッジボールをしよう
27日(金) 17:00~18:00
ドッジボールの練習場所! ボールの投げ方や捕り方の練習をしよう!!
上履きを持ってきてね。

中学3年生によるサッカー教室
7日(土) 10:00~12:00 **要申込**
保険料: 1000円
場所: 加茂中央公園みれいの丘
参加費: 選手コート入場券
募集人数: 30名
イ初: 11/5
中学生の成長が感じられるサッカーの楽しさを教えてくれる。
当日は動きやすい格好をきてね。
雨天の場合は上履きを持ってきてね。

ラメール(加茂)
親子料理教室
14日(土) 9:45~13:00
「お弁当の日」はこれぞ決まり!!
☆定員: 10組 20名
☆持ちこてるもの: エプロン、三角巾、お箸、スプーン
☆材料費: 300円
☆会場: 乃こら亭(茶室兼講堂)
準備中でお困りの方はお弁当の日メニューを御紹介いたします。
当日持ちこてる弁当! 当日の弁当の日メニューもあそびます。

ラメール鼓笛隊
7日(土) 14日(土) 28日(土) #
#11月 10:00~12:00
ワックス、トランペット、トロンボーン、パーカッションを体験できます。
ペン習字教室 7日(土) 13:00~14:00
きれいな字を書くようになります!!
学校の授業に役立ちます。ぜひ参加してください。

特別鑑賞教室
DYNAMIC 賢者の音Vol.4
出演: 瀧根和紀(フルート)、大森康司(ギター)
29日(日) 13:30開場 14:00開演(16:00観演予定)
~世界のフルート奏者とギタリストの夢の共演!!~
世界を飛び回るアーティストによるコンサートを堪能しよう!!
演奏のほかにトークの2時間!! 親子参加歓迎!!

11月号
うんなん元気っ子 わくわく教室

アスバル(三刀屋)
スーパーホッケーをしよう!!
7日(土) 10:00~11:00
アリーナで室内ホッケーをしよう。ゴールはたくさん決めよう!!

ラジオ体操&ファミリーワーク
15日(日) 7:30~
みんなで体操してウォーミングアップをしよう!!
三刀屋の上手な指導員がサポート。

中学生のお兄さんにお話を教わろう!
14日(土) 10:00~11:30
三刀屋中学校教諭の先生から話をお聞きしよう!!

「ひなたぼっこ」のおはなし会
21日(土) 10:00~11:00
会場: 三刀屋イベントホール(専用ホール)

楽しくバドミントンしよう!! (^_^)
25日(水) 16:30~18:00
アリーナで思いっきりバドミントンしよう!!
上履きを持ってきてね。

科学のひろば
28日(土) 13:30~16:30
~トランプロボットを作ってみよう!!~
★材料費: 1000円
★参加人数: 15組
★小学校3年生以下は保護者同伴
前後の足踏打ちして遊ぶトランプロボットをつくって完成したらみんなで遊ぼう!!

チェリヴァホール(木次)
ミラクル★マジック教室
15日(日) 10:00~12:00 (定員: 10名程度)
ドンドンするマジックを覚えておもしろいマジックをしよう!!

お知らせ
★冬休みは12月中旬以降に開催します。

草染めを体験しよう!
12月5日(土)
材料費: 500円
定員: 10名(小学校3年生未満は保護者同伴)

かわい〜ゆ〜花づくり
15日(日) 14:00~16:00
~クリスマスツリーをつくらう~
持ちこてるもの: ハロミ、ティッシュペーパー
お花といっしょにクリスマスツリーを飾ろう!!
うんなん待機道場
28日(土) 10:00~12:00
山崎名人による待機道場! 待機名人と対戦しよう!!

出前教室
「うんなんスイーツの仕」プロジェクト第2弾
~いんご&くわいぐら〜
7日(土) 9:15集合 9:30~12:30
イ初: 11/7(日)13:00開演!!
定員: 親子10組
材料費: 1500円
参加費: 1700円(中学生は別途)
会場: 乃こら亭(茶室兼講堂)

木次経済文化会館チェリヴァホール
TEL: 0854-42-1155 (FAX: 42-1251)

大東体育館(大東)
卓球教室 7日(土) 15:00~17:00
卓球の楽しさを体験しよう!!
初心者から上級者まで、初心者の方も参加してみよう!!
上履きを持ってきてね。

スポンジテニス教室
14日(土) 10:00~12:00
初心者の方でも簡単にボールを打つことができます。子どもから大人まで楽しめるスポーツです。親子参加も可能です。参加してみよう!!
上履きを持ってきてね。

Jr. サッカーチャレンジ
15日(日) 9:30~11:30 **要申込**
イ初: 11/8
場所: 大東公園市民体育館の広場
対象: 初級~小学3年生
参加費: 1人100円(保険料含む)
定員: 40名(親子20組)
初級から小学3年生まで、主にサッカー未経験者の親子で参加を促します。
親子一緒に体験ボールゲームやトレーニングなども行います。ぜひ参加してください。

雲南市中学生カローリング大会
14日(土) 14:00~17:00 **要申込**
イ初: 11/7
参加費: 1000円
定員: 約50名(8チーム)
中学生3年生を対象にしたカローリング大会を行います。
1チーム6人で行います。中学生や友達と一緒に、楽しみながらカローリングを体験してみよう!!
参加する方は上履きを持ってきてね。

からだ遊び教室
21日(土) 9:00~11:00
運動不足解消や体力づくり、少子化対策やアスナル、関係者など
親子で楽しむことができます。ぜひ参加してください。

古代鉄歌謡館(大東)
みんなで楽しく絵を描こう!
14日(土) 21日(土) 10:00~12:00
クレヨンや絵の具を使っていろいろな絵を描いてみよう!!

ビービヤ ドンコ神楽をやろう
15日(日) 10:00~12:00
神楽好きも喜ぶ! お菓子(おやひ)がたまりません!!
TEL: FAX: 0854-43-6568

特別教室
入間伝説の巨人現る! 14日(土) 15日(日) ※1泊2日
~ミヤザケンケンさんと巨人を作ろう~
「入間」に巨人が現れたい! 入間市に、三刀屋に、おもしろい「入間」に現れたい! 入間市に、おもしろい「入間」に現れたい! 入間市に、おもしろい「入間」に現れたい!
入間市に、おもしろい「入間」に現れたい! 入間市に、おもしろい「入間」に現れたい! 入間市に、おもしろい「入間」に現れたい!

古代鉄歌謡館
TEL: FAX: 0854-43-6568

フランスワールドカップ日本代表
小村徳男氏によるサッカー教室
29日(日) 9:30~12:00 **要申込**
フランスワールドカップ日本代表小村徳男氏にサッカーを教わってください!!
サッカーの基本やサッカー大会、ミニゲームをします!!
当日は動きやすい格好をきてね。
雨天の場合は上履きを持ってきてね。

加茂文化ホールラメール
TEL: 0854-49-8500 (FAX: 49-6200)

「うんなん元気っ子わくわく教室(12月)」への参加について
本格的な文化・体育施設で、専門的な指導者に教えてもらえるプログラムをそろえております。ぜひ、ご家族や友達同士でお願い合わせの上、たくさんのお参加をお待ちしております。

★放課後子ども教室(12月)参加申し込み
事前申込みが必要な教室にご参加される場合は、カレンダーの希望する教室を○で囲み、下記項目をご記入の上、以下の文化・スポーツ施設にご提出いただくか、加茂文化ホールラメールに電話、またはFAX下さい。
参加者名： _____ 学校名： _____ 学年： _____
保護者名： _____ 緊急連絡先： () - _____
FAX： () - _____

■下線のある教室が「要申込」の教室です。要申込教室の中で参加を希望されるものを○で囲んで下さい。

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|----------|--------------|----|----|----|----|----|
| ア - アスバル | 8 - 8Aの朝センター | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| フェ - フェア | フェア | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 |
| ラ - ラメール | ラメール | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 |
| 出 - 出雲 | 出雲 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 |
| 27 | 28 | 29 | 30 | 1 | 2 | 3 |
| 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 |

担当： _____ FAX済み

雲南市文化体育施設利用放課後子ども教室実行委員会
事務局： 朝キキラキ雲南(ラメール) TEL: 49-8500 FAX: 49-6200
加茂文化ホール ラメール TEL: 49-7100
大東公園市民体育館 TEL: 49-5511
古代鉄歌謡館 TEL: 49-6568
木次楽園文化会館 フェア TEL: 42-1155
三刀屋文化体育館 アスバル TEL: 45-9222



B&G海洋センター(加茂) 3B体操キッズ
5日(土) 13:00~14:00
西原に合わせた楽しく体操活動です！
12月にあそびたい！というB&Gのテーマに合わせて練習します。上履きを持ってきてね。

8日 スナッグゴルフをしよう
4日(金) 17:00~18:00
安全に楽しく遊べる室内でもコースプレイが楽しめる！
上履きを持ってきてね。スナッグゴルフをしよう！

8日 ドッジボールをしよう
11日(金) 17:00~18:00
ドッジボール花開期！ボールの投げ方や守りの練習をしよう！
上履きを持ってきてね。

■加茂B&G海洋センター
TEL:0854-49-7100 (FAX:49-8440)

ラメール(加茂) ペン習字教室
12日(土) 13:00~14:00
習字を習得し書かせる練習をしよう！

ラメール芸術祭
12日(土) 19日(土) 26日(土) 10:00~12:00
いろいろな作品を出展します。

親子お料理教室
19日(土) 9:30~13:00
ハートで楽しめよう！

クリスマス・スペシャル木工教室
12日(金) 9:30~12:30
クリスマス・キャンドル、水の皿やフォークづくりに挑戦！

雲南あにめ塾
20日(日) 13:30~16:30
アニメの魅力を学ぼう！

■加茂文化ホールラメール
TEL:0854-49-8500 (FAX:49-6200)

12月号 うんなん元気っ子 わくわく教室

チェリヴァホール(赤次) ミラクルマジック教室
12日(土) 10:00~12:00 (定員10名/期)
トランプを使ったマジックの体験です。

チェリヴァホール 「ぞりぞり」アンパンマン 絵本読み聞かせの会(72分)
19日(土) 11:30~ 11:55
絵本「ぞりぞり」の読み聞かせです。

草木染めを体験しよう!
9日(土) 8:45 水次総合センター前集合
9:00~12:00
自然の恵みを使った染め体験です。

お料理ユニットおたばさんと お菓子で楽しくアートしよう! Part2 「おたばのわくわくクリスマス」
13日(日) 9:00~10:00
クリスマスケーキ作り体験です。

うんなん特選劇場
27日(日) 10:00~12:00
人気の児童劇を上演します。

古代鉄歌謡館(大東) みんなで楽しく絵を描こう!
12日(土) 19日(土) 10:00~12:00
クリスマス絵画の体験です。

神楽鑑賞教室
26日(土) 19:00~21:30
神楽の魅力を学びます。

古代鉄歌謡館(大東) ピーチャラ ドンコ音楽をようろう
20日(日) 27日(日) 10:00~12:00
ドンコ音楽の体験です。

絵画教室作品展
20日(日) 10:00~12:00
絵画教室の作品展です。

特別教室 永田睦子さんのミニバスケットボール教室
12日(土) 9:30~12:00 (受付9:00~)

大東体育館(大東) スポジテニス教室
5日(土) 10:00~12:00
テニスの体験です。

新春たこづくし教室
1月6日(水) 10:00~12:00
たこづくし作り体験です。

からだ遊び教室
5日(土) 9:00~11:00
からだ遊びの体験です。

アスバル(三刀屋) 楽しくバドミントンしよう! (^^)
21日(日) 16:00~17:30
バドミントンの体験です。

室内雪合戦をしよう!
9日(水) 16:30~17:30
室内雪合戦の体験です。

「ひなたぼっこ」のおはなしばい
19日(土) 10:00~11:00
おはなしばいの体験です。

ラジオ体操&ファミリーワーク
20日(日) 7:30~9:00
ラジオ体操とファミリーワークの体験です。

三刀屋高校卓球部 「お兄さんとお姉さんに卓球を教わろう!!」
1月6日(水) 10:00~11:30
卓球の体験です。

「カラでナイアグラの滝を作ろう!」
1月7日(木) 9:30~12:00
ナイアグラの滝作り体験です。

「うんなん元気っ子わくわく教室冬休み1月号」への参加について
 本格的な文化・体育施設で、専門的な指導員に教えてもらえるプログラムをそろえております。
 ぜひ、ご家族や友達同士でお楽しみ合わせの上、たくさんのお参加をお待ちしております。

☆放課後子ども教室(冬休み&1月号)参加申し込み

参加申し込みの必要書類をご提出される場合は、カレンダーの希望する教室を○で囲み、下記項目をご記入の上、表下の文化・スポーツ施設にご提出いただくか、加茂文化ホールラメールに電話、またはFAX下さい。

参加者名： _____ 学年： _____
 保護者名： _____ 緊急連絡先： () - _____
 FAX： () - _____

■下線のある教室が「更申込」の教室です。更申込教室の中で参加を希望されるものを○で囲んで下さい。

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|--------------------------|---|------------------------------|------------------------------|------------------------------|------------------------------|-------------------------------|
| 12/27 特別道場(テニ) | 28 | 29 | 30 | 31 | 1/1 朝日の出ランニング(テ) | 2 |
| 3 | 4 12/27(日)行徳区民によるサッカー教室 | 5 6 お母さんとお子さんによるサッカー教室 | 6 7 お母さんとお子さんによるサッカー教室 | 7 8 お母さんとお子さんによるサッカー教室 | 8 9 お母さんとお子さんによるサッカー教室 | 9 10 お母さんとお子さんによるサッカー教室 |
| 10 | 11 お母さんとお子さんによるサッカー教室 | 12 お母さんとお子さんによるサッカー教室 | 13 お母さんとお子さんによるサッカー教室 | 14 お母さんとお子さんによるサッカー教室 | 15 お母さんとお子さんによるサッカー教室 | 16 お母さんとお子さんによるサッカー教室 |
| 17 お母さんとお子さんによるサッカー教室 | 18 お母さんとお子さんによるサッカー教室 | 19 お母さんとお子さんによるサッカー教室 | 20 お母さんとお子さんによるサッカー教室 | 21 お母さんとお子さんによるサッカー教室 | 22 お母さんとお子さんによるサッカー教室 | 23 お母さんとお子さんによるサッカー教室 |
| 24 お母さんとお子さんによるサッカー教室 | 25 お母さんとお子さんによるサッカー教室 | 26 お母さんとお子さんによるサッカー教室 | 27 お母さんとお子さんによるサッカー教室 | 28 お母さんとお子さんによるサッカー教室 | 29 お母さんとお子さんによるサッカー教室 | 30 お母さんとお子さんによるサッカー教室 |
| 31 お母さんとお子さんによるサッカー教室 | ア…アスナル B…B&G海洋センター チュ…チェリヴァホール 大…大東公園市民体育館 ラ…ラメール 古…古代鉄歌謡館 出…出張教室 特…特別企画教室 | | | | | |

担当： _____ FAX済み FAX済み
 西南市文化体育施設利用放課後子ども教室実行委員会
 〒645-8600 加茂市キライラ(ラメール) TEL: 49-8600 FAX: 49-6200
 E-mailアドレス: houkago_lamer@yahoo.co.jp
 ホームページアドレス: http://user.kkm.ne.jp/hokkamo/wakuwaku/

雲南市文化体育施設利用放課後子ども教室
うんなん元気っ子 わくわく教室
 2010.1

B&G海洋センター(加茂)
2010年元旦恒例の出ランニング
 1月1日(金) 6:30~8:30
 参加費：中学生～一般 100円(保険料含む)
 参加費：100円(保険料含む)
 参加費：100円(保険料含む)
 参加費：100円(保険料含む)

ドッジボールをしよう
 1月22日(金) 17:00~18:00
 ドッジボール秘密対決! ボールの投げ方や飛び方の練習をしよう! 上履きを持ってきてね。

スキースクール
 1月30日(土)~31日(日)
 初心者も経験者もレベルに合わせて楽しく上履き!!
 親子で参加できます。
 海洋センターの専用バス(送迎)が用意されています。
 詳しい事は海洋センターまでお問合せ下さい。

マツト運動会をしよう
 1月9日(土) 13:00~14:00
 駅前での上りの練習をしよう、マツト運動会をしよう。

スタックゴルフをしよう
 1月15日(金) 17:00~18:00
 空気に楽しく遊べる室内でコースプレイや練習ができる。
 楽しいコース、スタックゴルフを体験しよう!!
 上履きを持ってきてね。

大東体育館(大東)
新春たこづくし教室
 1月6日(水) 10:00~12:00
 参加費：1人100円
 持ちこるもの：レジ袋、箸、色ペン、ハサミ
 今年で3回目となる教室では、正月飾りの定番「たこづくし」を作ります。
 オリジナルのたこづくしを作って、空気に飛ばしてみよう!

スポーツジネニス教室
 1月30日(土) 10:00~12:00
 初心者でも簡単にボールを打つことができよう。また、子どもから大人まで楽しめるスポーツです。
 カッコよくスマッシュを飛ばそう!!
 基本から教えるので、初心者の方も安心して参加してください。
 上履きを持ってきてね。

からだ運び教室
 1月23日(土) 9:00~11:00
 誰でもできるストレッチやエクササイズが楽しくできる。
 親子参加も可。上履きを持ってきてね。

乗馬教室
 1月23日(土) 15:00~17:00
 カッコよくスマッシュを飛ばそう!!
 基本から教えるので、初心者の方も安心して参加してください。
 上履きを持ってきてね。

1月号 うんなん元気っ子 わくわく教室

チェリヴァホール(赤次)
かわいらしい花づくり
 ~2010年カレンダーを作ろう~
 12月26日(土) 10:00~12:00
 参加費：100円
 持ちこるもの：ハサミ、チャップリンパー
 花を飾ってカレンダーを作ろう! 自分だけのカレンダーで新年を迎えよう!
 ~ワケカミソリを作ろう~
 1月16日(土) 10:00~12:00
 参加費：100円
 持ちこるもの：ハサミ、チャップリンパー
 材料費：100円
 自分だけのオリジナルワケカミソリを作ろう!

うんなん相撲道場
 12月27日(日) 10:00~12:00
 1月17日(日)
 山形名人による指導! 技を習って相撲名人になろう!

ミラクル★マジック教室
 1月30日(土) 9:45 チェリヴァホール集合
 10:00~12:00
 参加費：100円
 持ちこるもの：マジックの道具
 ドキドキするマジックを習ってみんなをビックリさせよう!

お知らせ
 ※申し込みは2月1日からになります。
「うんなんスイーツの社」プロジェクト★第3弾
 2月7日(日) 13:00~16:00
 参加費：1組500円
 定員：親子10組
 会場：三刀屋文化体育館改修メインセンター
 会場：三刀屋文化体育館改修メインセンター
 会場：三刀屋文化体育館改修メインセンター

古代鉄歌謡館(大東)
みんなで楽しく絵を描こう!
 1月17日(日) 30日(土) 10:00~12:00
 クラウドの絵を描いてみんなで楽しむ会
特別企画教室
 1月23日(土) 19:00~21:30
 本物の神楽を見てみよう!

ヒーヒー ドンク作業をしよう
 1月16日(土) 31日(日) 10:00~12:00
 神楽好きの子供達! 絵や工作から楽しむ会
絵はちどちどち! みんなで楽しく描こう!
 1月24日(日) 10:00~12:00
 みんなで楽しく描こう! 子どもも大人も一緒に楽しむ会
古代鉄歌謡館
 TEL: FAX: 0854-43-6668

ラメール(加茂)
親子料理教室
 1月16日(土) 13:30~16:00
 ☆お母さま手作りスイーツ! ☆
 参加費：10組 20名
 持ちこるもの：マスク、エプロン、三角巾、スプーン、フォーク
 材料費：300円
 会場：ラメール(加茂)
 持ちこるもの：カッターナイフ、ハサミ、絵皿、のびしろ

ペン習字教室
 1月23日(土) 13:00~14:00
 冬の季節をテーマに「雪のふり」を習いよう!
 スケッチで楽しむ会
加茂文化ホールラメール
 TEL: 0854-49-8600 (FAX: 49-6200)

アスナル(三刀屋)
「ひなたぼっこ」のお話の会
 1月16日(土) 10:00~11:00
 会場：三刀屋文化体育館改修メインセンター
 ひなたぼっこのお話を読んでみましょう! 楽しいお話が聞けます。
 絵や工作で、国語の学習も楽しみましょう!
ラジオ体操&ファミリーワーク
 1月17日(日) 7:30~9:00
 みんなで体操をしよう! 三刀屋の上手な指導員が、ラジオ体操の指導をします。
お正月は親子でたこづくしをしよう!!
「道江博士のたこづくし教室」
 1月23日(土) 13:30~16:00
 材料費：100円
 定員：親子15組
 持ちこるもの：カッターナイフ、ハサミ、絵皿、のびしろ
 たこづくしを習いよう!!
 親子でたこづくしを作ろう!!
 今年で3回目となる教室では、たこづくしを習いよう!!
 親子でたこづくしを作ろう!!
親子のひろば〜ももづくり〜
 松江城の模型を作ろう!
 1月31日(日) 13:30~16:00
 材料費：500円
 定員：15組
 松江城の模型を作ろう!!
 親子でたこづくしを作ろう!!
 今年で3回目となる教室では、たこづくしを習いよう!!
 親子でたこづくしを作ろう!!
楽しくボクシングをしよう!!
 1月18日(日) 25日(月) 16:00~17:30
 松江城の模型を作ろう!!
 親子でたこづくしを作ろう!!
 今年で3回目となる教室では、たこづくしを習いよう!!
 親子でたこづくしを作ろう!!
アスナル(三刀屋)
 TEL: 0854-45-9222 (FAX: 45-9223)

「うんなん元気っ子わくわく教室2月号」への参加について
本格的な文化・体育施設で、専門的な指導者に教えてもらえるプログラムをそろえております。ぜひ、ご家族や友達同士でお願い合わせの上、たくさんの参加をお待ちしております。

☆放課後子ども教室(2月号)参加申し込み

事前申込みの必要な教室に参加される場合は、カレンダーの希望する教室を○で囲み、下記項目をご記入の上、表下の文化・スポーツ施設等に提出いただくか、加茂文化ホールラメールに電話、またはFAX下さい。

参加者名: _____ 学年: _____
 保護者名: _____ 緊急連絡先: () - _____
 FAX: () - _____

■下線のある教室が「要申込」の教室です。要申込教室の中で参加を希望されるものを○で囲んで下さい。

| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|---|----|----|----|----|----|----|
| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 |
| | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 |
| | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 |
| | 31 | | | | | |

担当: _____ FAX済み

貴南市文化体育施設利用放課後子ども教室実行委員会
 事務局: 特キキララ雲南 (ラメール) TEL: 49-8500 FAX: 49-6200
 E-mailアドレス: koukago_lamer@yahoo.co.jp
 ホームページアドレス: http://user.kkm.ne.jp/bokamo/

雲南市文化体育施設利用放課後子ども教室
2月 うんなん元気っ子 わくわく教室
 2010.2

アスバル (三刀屋)
子ども新待接教室
 6日(土) 10:30~12:00
 参加費: 100円(保険料)
 対象: 小学生女子
 定員: 20名

ボールリボンを使って楽しく遊ぼう！
 体のつくりや発達を運動が苦手な子どもも大丈夫！
 みんなで楽しく体操しよう！
 運動の出来る程度。上履きを持ってきてね。

スーパーホッケーをしよう！
 10日(水) 17日(水) 16:30~17:30
 アリフアで室内ホッケーをしよう。コルビとくみん決まらさー！！

科学のひろば
 電子ピアノをつくろう
 13日(土) 9:00~12:00
 参加費: 1000円(材料費、保険料)
 定員: 15名

みんなで学ぶ楽しい園藝入門教室
 20日(土) 27日(土) 14:00~17:00
 21日(日) 28日(日) 9:00~12:00
 フコの園芸がわりややくと園芸の楽しさを教えてくれます。
 ルールがわからなくても大丈夫！楽しい園藝入門教室です。

室内管楽器をしよう！
 3日(水) 24日(水) 16:30~17:30
 7日(日) 10:00~11:30
 ストーンホールを借りて室内管楽器！
 豊かなくていい楽器が用意されています。

「ひなたぼっこ」のおはなし会
 20日(土) 10:00~11:00
 会場: 三刀屋インテック(雲南駅前南側)
 みんごの話し合いや読み聞かせなど、子どもが楽しめるおはなし会です。
 予約は電話か郵送でお申し込みください。

ラジオ体操&ファミリーウォーク
 21日(日) 7:30~9:00
 みんなで体操してウォークしよう！三刀屋の土手まで楽しく歩こう。

楽しくバドミントンしよう！(〇〇)
 22日(月) 16:00~17:30
 アリフアで楽しくバドミントンしよう！上履きを持ってきてね。

古代鉄歌謡館(大東)
歌はともだち！みんなで楽しく歌おうよ！
 28日(日) 10:00~12:00
 みんなで歌おう！
 子どもも大人も一緒に歌おうよ！

みんなで楽しく絵を描こう！
 13日(土) 20日(土) 10:00~12:00
 クレヨンや絵の具を使っていろいろな絵を描いてみようよ

ピーチャ ドントコ団楽をやろう
 14日(日) 21日(日) 10:00~12:00
 神楽好きな子どもさん！お菓子(100円)がらみで遊ぼう！

2月号 うんなん元気っ子 わくわく教室

チェリヴァホール(水次)
ミラクル★マジック教室
 20日(土) 10:00~12:00
 トナリキキるふうまマジックを覚えてみんなをびっくりさせてみよう！

＊かわらぬ押し花づくり＊
 ～お花を使えばひなまつり～
 27日(土) 10:00~12:00
 押さえてお花の形を紙にうつそう！

ひな祭り
 28日(日) 10:00~12:00
 山崎名人によるお雛様！お雛様を飾る名人もいます！

うんなん持棋道場
 28日(日) 10:00~12:00
 山崎名人による棋道場！お雛様を飾る名人もいます！

B&G海洋センター(加茂)
キックベースをしよう
 26日(金) 17:00~18:00
 みんなでキックベースをしよう！上履きを持ってきてね。

車椅子バスケットボール！
 28日(日) 13:30~15:00
 参加費: 200円(保険料)
 定員: 20名

ドッジボールをしよう
 12日(金) 17:00~18:00
 ドッジボールは元気！ボールの投げ方やボールの動きをしよう！
 上履きを持ってきてね。

ラメール(加茂)
ラメール吹奏隊
 6日(土) 10:00~12:00
 (いろいろな楽器が用意されています)

ペン習字教室
 13日(土) 13:00~14:00
 気持ちよく筆を動かして字をきれいに書こう！

親子お料理教室
 ～料理で世界めぐり！韓国へ行ってみよう！～
 20日(土) 9:45~13:00
 参加費: 1000円 20名
 持ってくるもの: マスク、エプロン、三つ折り、はし、スプーン
 材料費: 300円
 会場: 7Fのホール(吹奏楽練習室)

大東体育館(大東)
ゆひ遊びをやってみよう！
 11日(木) 10:00~12:00
 持ってくるもの: 好きな色の毛玉(2個～)
 参加費: 無料！

からだ遊び教室
 6日(土) 9:30~11:00
 誰でもできるストレッチやヨガ、運動が苦手な子どもも参加可能。上履きを持ってきてね。

緑球教室
 20日(土) 15:00~17:00
 カッコよくマッシュボールをしよう！
 基本から教えてあげ、初級者の方も参加していただき、上履きを持ってきてね。

ピリオネア大学
 子どもから大人まで楽しく参加できる市民歌劇団「ピリオネア大学」に参加しませんか？
 まずは、2月21日(日)の公演(雲南市内小学生は無料ご招待券を申請)をご賞状で、「参加してみたい」と思われたら迷わず参加入学！
 皆さんのご参加をお待ちしております。

そのピリオネア大学では、平成22年度の公演は白鳥起のしおり原稿を募集しています。
 皆様からの応募をお待ちしております！！

詳しくはラメールホームページをご覧ください！！

大東文化ホール(大東)
スポンジテニス教室
 20日(土) 10:00~12:00
 初心者も楽しめるボールを打つことのできる教室です。子どもから大人まで楽しめるスポーツです。上履きを持ってきてね。

大東公園市民体育館
 TEL:0854-43-5511 (FAX:43-5512)

加茂文化ホール(加茂)
 TEL:0854-49-8500 (FAX:49-6200)

「うんなん元気っ子わくわく教室3月号」への参加について
本格的な文化・体育施設で、専門的な指導員に教えてもらえるプログラムをそろえています。ぜひ、ご家族や友達同士でお誘い合わせの上、たくさんのお参加をお待ちしております。

☆後援後子ども教室(3月号)参加申し込み
事前申込の必要な教室にご参加される場合は、カレンダーの希望する教室名をご記入の上、下記項目をご記入の上、表下の文化スポーツ施設に提出いただくか、加茂文化ホールへお申し込みください。
参加者名: 学年名: 学年:
保護者名: 緊急連絡先: () -
FAX: () -

■下線のある教室が「要申込」の教室です。要申込教室の中で参加を希望されるものを〇で囲んで下さい。

Calendar table with columns for days of the week (日, 月, 火, 水, 木, 金, 土) and rows for dates (1-31). It lists various activities and their locations, with some dates circled to indicate required advance booking.

担当: FAX済み
貴南市文化体育施設利用放課後子ども教室実行委員会
事務局：特キキララ室(ラメール)
E-Mailアドレス: boukago_lamer@yahoo.co.jp
http://user.khm.ne.jp/bkgkamo/

3月 うんなん元気っ子 わくわく教室
2010.3

Grid of activity cards including: アスバル(三刀屋) 科学のひろば, 古代鉄歌謡館(大東), B&G海洋センター(加茂), ラメール(加茂), and 特別鑑賞教室. Each card lists dates, times, and details for the specific activity.

3月号 うんなん元気っ子 わくわく教室

Grid of activity cards for the March issue, including: チェリヴァホール(赤次), 大東体育館(大東), スポンジテニス教室, 特別鑑賞教室, and others. Each card features a photo, title, and key information.

Grid of activity cards for the March issue, including: キックベースをしよう, ドッジボールをしよう, マット運動をしよう, 春休みSP, ラメール(加茂), and others. Each card features a photo, title, and key information.

3-2 プログラム個別の状況

①学社融合プログラム

- キャリア教育推進プログラム
- 中学生を対象とする様々なプログラム
- スポ少、部活動との協調によるプログラム

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">・ LOVE & P I E C E ～永井隆博士の平和のメッセージを学ぼう！～ (P. 34)・ 中学3年生によるサッカー教室 (P. 35)・ 夏休みスペシャル教室「たたら歴史に触れよう！」 (P. 36)・ 「うんなんスイーツの杜」プロジェクト☆第1弾 (P. 37)・ 中学生のお兄さんにバスケットを教わろう！！ (P. 38)・ 入間伝説「巨人」現る ミヤザキケンスケ ワークショップ (P. 39)・ 雲南あにめ塾 (P. 40) |
|---|

活 動 記 録 一 日 誌

〔実施日〕平成 21 年 8 月 5 日 (水) 9 時 00 分 から
12 時 00 分 まで

| | | | |
|--------------------------------------|---|---|-----------------------|
| プログラム名 | LOVE&PIECE～永井隆博士の平和のメッセージを学ぼう！～ | | |
| 会場 | 永井記念館 | | |
| 内容 | 9:00～博士の記録(DVD)。顕影室・如己堂の見学 10:00～読み聞かせ会 11:00～振り返り 12:00～解散 | | |
| (使用した教材) | 色えんぴつ | | |
| 参加者数 | 子どものみ | 8 | 名 |
| | その他(保護者など) | 3 | 名 |
| | | | 内訳 |
| | | | 小学校1～3年生 5 名 |
| | | | 同 4～6年生 3 名 |
| | | | 未就学児 名 |
| | | | 中学生 名 |
| 参加者・保護者の感想 | 博士の他人を敬う気持ちに感動した。戦争について考える良い一日となった。雲南市では平和賞が毎年開催されるが、雲南市民として博士の功績に誇りを持って生きていきたい。学校の友達に博士の素晴らしさを伝えたい。また永井記念館で学習したいと思った。 | | |
| 特記事項 (講師の感想・意見・要望。 事故・怪我は必ず記入) | 雲南市内の小学1年生から6年生までの10名が博士の生い立ちや懸命に救護活動を行った映像を鑑賞、そして博士を認んで建てられた「如己堂」を見学し戦争の歴史について学んだ。また、読み聞かせ会では「うちの本箱」のみなさんに博士の伝記や戦争についてお話しいただき、参加者は真剣に耳を傾け、平和の大切さを強く感じた。参加者からは「戦争は起きてほしくない。自分のことより人のことを考える博士はすごい」と感想があった。長崎と広島原爆爆を前に、命の尊さを学んだ一日となる。 | | |

<活動写真>



写真①:



写真②:

活 動 記 録 一 日 誌

〔実施日〕平成 21 年 11 月 7 日 (土) 10 時 00 分 から
12 時 00 分 まで

| | | | | |
|---|---|----|-------------|---|
| プログラム名 | 中学3年生によるサッカー教室 | | | |
| 会場 | 雲南市加茂中央公園ふれあいの丘多目的広場 | | | |
| 内容 | 中学3年生を対象とするリーダー育成プログラム 中学3年生が主体(先生)となって小学生を対象にサッカーを教える 《当日メニュー》※指導する中学生が考案 自己紹介、ウォーミングアップ(しっぽとり)、パス練習、シュート練習、ミニゲーム | | | |
| (使用した教材) | サッカーボール コーン ピブス | | | |
| 参加者数 | 子どものみ | 22 | 名 内 訳 | 小学校1～3年生 13 名 同 4～6年生 0 名 未就学児 0 名 中学校生 9 名 |
| | その他(保護者など) | 8 | | 名 |
| 参加者・保護者の感想 | しっぽとりが楽しかった。中学生のお兄さんのシュートのスピードが速くてびっくりした。中学生のお兄さんみたいに上手にドリブルができるようにがんばりたい。中学生のお兄さんとパス練習をしたことがすごく楽しかった。サッカーを続けてやってみたいと思った。ミニゲームのとき中学生のお兄さんのパスをもらってシュートが決まったのですごくうれしかった。(参加者) | | | |
| 特記事項 (講師の感想・意見・要望。 事故・怪我は必ず記入) | 人に何か教えるということはずごく難しかった。最初は子ども達がなかなか言うことを聞いてくれなくて大変だったけど、徐々に慣れてきて少しずつ言うことを聞いてくれたのでうれしかった。教えるときは口で説明するだけではなく、実際に見本をみせることできちんと伝わると言うことが分かった。(中学生) | | | |

<活動写真>



写真①:逃げろー



写真②:パスカットー

活 動 記 録 一 日 誌

〔実施日〕平成 21 年 8 月 11 日 (火) 8 時 45 分 から
17 時 00 分 まで

| | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------------------------------------|--|----|--|----------|---|---|---------|---|---|------|--|---|-----|--|---|
| プログラム名 | 夏休みスペシャル教室「たたら歴史に触れよう！」 | | | | | | | | | | | | | | |
| 会場 | 吉田町 オープンエアミュージアム 鍛冶工房 | | | | | | | | | | | | | | |
| 内容 | 二班に分かれて、鍛冶工房でペーパーナイフ作成体験と鉄の歴史博物館、菅谷たたら山内を見学した。 | | | | | | | | | | | | | | |
| (使用した教材) | 釘(体験時、鍛冶工房用意) | | | | | | | | | | | | | | |
| 参加者数 | 子どものみ | 11 | <table border="1" style="font-size: small; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>小学校1～3年生</td> <td>3</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>同 4～6年生</td> <td>8</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>未就学児</td> <td></td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>中学生</td> <td></td> <td>名</td> </tr> </table> | 小学校1～3年生 | 3 | 名 | 同 4～6年生 | 8 | 名 | 未就学児 | | 名 | 中学生 | | 名 |
| | 小学校1～3年生 | 3 | | 名 | | | | | | | | | | | |
| 同 4～6年生 | 8 | 名 | | | | | | | | | | | | | |
| 未就学児 | | 名 | | | | | | | | | | | | | |
| 中学生 | | 名 | | | | | | | | | | | | | |
| | その他(保護者など) | 1 | 名 | | | | | | | | | | | | |
| 参加者・保護者の感想 | ペーパーナイフが作れてよかった。鉄のことについて分かった事。(参加者) | | | | | | | | | | | | | | |
| 特記事項 (講師の感想・意見・要望。 事故・怪我は必ず記入) | 作業内容、時間配分などを検討して反省材料にしたい。(鍛冶工房) 鉄骨からペーパーナイフを作成する予定だったが、急きょ、釘に変更したため、体験作業が予想外に早く終わってしまい、結果的に時間をもてあます事になってしまった。 | | | | | | | | | | | | | | |

<活動写真>



写真①:ペーパーナイフの作り方を教えてもらいました。



写真②:昔の鉄の作り方を説明してもらいました。

活 動 記 録 一 日 誌

〔実施日〕平成 21 年 10 月 31 日 (土) 8 時 45 分 から
12 時 30 分 まで

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|----|---|--|----------|---|---|----|---------|---|---|------|---|---|--|------|--|---|
| プログラム名 | 「うなんスイーツの社」プロジェクト☆第1弾 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 会場 | 斐伊公民館 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 内容 | ～夢のとろけるプリンを作っちゃおう～ ・プロジェクト、プリン材料の説明 ・親子でバケツプリン・プリンクレープ作りの体験、試食 ・バケツプリンの新商品名考案 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (使用した教材) | プリン材料、アンケート用紙、筆記用具など | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 参加者数 | 子どものみ | 12 | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;"></td> <td style="width: 10%;">小学校1～3年生</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">6</td> <td style="width: 5%;">名</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">内訳</td> <td>同 4～6年生</td> <td style="text-align: center;">4</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>未就学児</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td></td> <td>中学校生</td> <td></td> <td>名</td> </tr> </table> | | 小学校1～3年生 | 6 | 名 | 内訳 | 同 4～6年生 | 4 | 名 | 未就学児 | 2 | 名 | | 中学校生 | | 名 |
| | 小学校1～3年生 | 6 | 名 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 内訳 | 同 4～6年生 | 4 | 名 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 未就学児 | 2 | 名 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 中学校生 | | 名 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | その他(保護者など) | 8 | 名 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 参加者・保護者の感想 | 材料をかき混ぜるところや、卵を黄身と白身に分けるのが難しかった。作るのは大変だったけど、食べるのが楽しみです。クレープもおいしくできたので、家でも作ってみたい。(参加者) やはり本格的なプロの味は違うなと思った。難しかったですが、親子で楽しく作れました。バケツプリンは今夜のおじいさんのお誕生日会のメインにします。(保護者) | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 特記事項 (講師の感想・意見・要望。事故・怪我は必ず記入) | 雲南市産業振興センター「うなんスイーツの社」プロジェクトと連携プログラム。地元の職人を講師に、地元の食材を使ったプリン作りに挑戦。講師の指導を受けながら、親子でバケツプリンとプリンクレープを作った。食材についても説明をうけ、雲南市の素晴らしさを認識することができた。多くの参加者から第2弾の教室を楽しみにしていると言っていた。 | | | | | | | | | | | | | | | | | |

<活動写真>



写真①: 材料を混ぜします



写真②: どんな大きさのプリンになるのかな～

活 動 記 録 一 日 誌

〔実施日〕平成 21 年 8 月 6 日 (木) 9 時 00 分 から
13 時 00 分 まで

| | | | | |
|---|---|----|-------------|---|
| プログラム名 | 中学生のお兄さんにバスケットを教わろう！！ | | | |
| 会場 | アリーナ | | | |
| 内容 | 参加者を3つの班に編成し、基礎的な練習や実際にゲームをして交流を図った。 ①ハンドリング ②パス・ドリブル練習 ③全員でゲーム | | | |
| (使用した教材) | バスケットボール バスケットゴール | | | |
| 参加者数 | 子どものみ | 32 | 名 内 訳 | 小学校1～3年生 25 名 同 4～6年生 7 名 未就学児 名 中学校生 名 |
| | その他(保護者など) | 7 | | 名 |
| 参加者・保護者の感想 | 中学生に教えてもらって大変良い勉強になった。中学に行っても続けてバスケットをしたい。中学生のお兄さんはとても上手だと思った。カッコよかったです。 異世代交流の場として、有意義なプログラムだった。このような企画が色々あると、小学生と中学生の交流が更に進むと思います。 | | | |
| 特記事項 (講師の感想・意見・要望。 事故・怪我は必ず記入) | 三刀屋中学校バスケット部3年生が指導者となって子どもたちにバスケットボールを指導。当日は32名の小学生が参加し、3つのチームに分かれハンドリングやドリブル、パスなどの基礎練習をし、最後は全員でゲームをして盛り上がった。小学生と中学生がバスケットボールで交流を図り、とても賑やかな楽しい教室となった。 | | | |

<活動写真>



写真①:



写真②:

活 動 記 録 ― 日 誌 ―

〔実施日〕 平成 21 年 12 月 20 日 (日) 15 時 30 分 まで

| | | | |
|---|---|----|---|
| プログラム名 | 入間伝説「巨人」現る ミヤザキケンスケ ワークショップ | | |
| 会場 | 旧入間小学校 | | |
| 内容 | 4組の班に分かれて、高校生、大学生が指導しながら子ども達に巨人を作成させる。 A4の紙に各班、人間の巨人、八重山の魔人、阿用の一つ目鬼、ヤマタのオロチにちなんだデザインを描き、それを元に、4mの巨人を作成する。 作成した巨人は春に国道沿いやアスバル、旧入間小学校に展示予定。 | | |
| (使用した教材) | | | |
| 参加者数 | 子どものみ | 15 | 名 |
| | その他(保護者など) | 16 | 名 |
| 参加者・保護者の感想 | 小学校1～3年生 8名 | | |
| | 同 4～6年生 7名 | | |
| 特記事項 (講師の感想・意見・要望。 事故・怪我は必ず記入) | 未就学児 名 | | |
| | 中学校生 名 | | |
| <p>大きな布に巨人を描くのは大変だったけど、とても楽しかったです。</p> <p>初めてワークショップをして、すごく絵はおもしろいと思いました。学校でも頑張っている絵を描きたかった。</p> <p>小学生との共同作業は普段できないことだし、ワークショップならではの楽しさを満喫できた。</p> <p>(高校生) 多くの人たちと一つのものをつくることで、自分にはなかった発想がでて、とても勉強になった。</p> <p>(大学生) 当初、宿泊予定ではない参加者の宿泊希望があった。</p> <p>参加者(その他)は三刀屋高校美術部12名、三刀屋高校教諭2名、島大生2名</p> | | | |

<活動写真>



写真①:デザイン会議中



写真②:完成間近

活 動 記 録 ― 日 誌 ―

〔実施日〕 平成 22 年 3 月 6 日 (土) 13 時 30 分 から
16 時 30 分 まで

| | | | | | | |
|--------------------------------------|--|---|---|----------|---|---|
| プログラム名 | 雲南あにめ塾 | | | | | |
| 会場 | 木次中学校OA室 | | | | | |
| 内容 | パソコン、デジカメを使用した電子紙芝居の作成(さくら祭のCMを作ろう！) | | | | | |
| (使用した教材) | デジタルカメラ、紙、文房具、パソコン | | | | | |
| 参加者数 | 子どものみ | 5 | 名 | 小学校1～3年生 | 名 | |
| | | | | 同 4～6年生 | 1 | 名 |
| | | | | 未就学児 | 名 | |
| | | | | 中学校生 | 4 | 名 |
| | その他(保護者など) | | 名 | | | |
| 参加者・保護者の感想 | ・初めてパソコン上でアニメーションを作ったけど、思ったより簡単だった。 (これまでは、デジカメで撮影した写真を連続させるやり方をしていた) ・アテレコ作業が思ったよりも難しかった。 | | | | | |
| 特記事項 (講師の感想・意見・要望。 事故・怪我は必ず記入) | | | | | | |

<活動写真>



写真①:



写真②:

② 中学高校生が企画するプログラム

- 中高生が低学年を指導するプログラム
- 社会貢献をテーマとするプログラム

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">・ Jr. サッカーチャレンジ (P. 42)・ 「雲南を愛する心」を感じるツアー (P. 43) |
|--|

活 動 記 録 一 日 誌

〔実施日〕平成 21 年 11 月 15 日 (日) 9 時 30 分 から
11 時 30 分 まで

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------------------------------------|---|----|--|---|----------|---|---|---|---------|---|---|---|------|---|---|--|-----|---|---|
| プログラム名 | Jr.サッカーチャレンジ | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 会場 | 大東公園市民体育館 サッカー場 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 内容 | ○ストレッチ体操 ○親子でボール遊び・・・ボールを高く投げて何回手を叩けるか。子供がドリブルをしながら親の後ろについていく。コースから出ないようにドリブルする、など。 ○中学生・保護者対子どもチームのミニゲーム | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (使用した教材) | サッカーボール | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 参加者数 | 子どものみ | 13 | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">名</td> <td style="width: 15%;">小学校1～3年生</td> <td style="width: 15%; text-align: center;">5</td> <td style="width: 5%;">名</td> </tr> <tr> <td>内</td> <td>同 4～6年生</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>訳</td> <td>未就学児</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td></td> <td>中学生</td> <td style="text-align: center;">6</td> <td>名</td> </tr> </table> | 名 | 小学校1～3年生 | 5 | 名 | 内 | 同 4～6年生 | 1 | 名 | 訳 | 未就学児 | 1 | 名 | | 中学生 | 6 | 名 |
| 名 | 小学校1～3年生 | 5 | 名 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 内 | 同 4～6年生 | 1 | 名 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 訳 | 未就学児 | 1 | 名 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 中学生 | 6 | 名 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 参加者・保護者の感想 | その他(保護者など) | 6 | 名 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 特記事項 (講師の感想・意見・要望。 事故・怪我は必ず記入) | ボール遊びで、お父さんの後ろについてドリブルをするのが面白かった。中学生のお兄さんたちと試合ができて楽しかった。(参加者) 子どもとはほとんど家の中しか運動をしなかったので、外で元気に走り回っている姿を見て、参加して良かったと思う。(保護者) | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 今回幼児から小学3年生までの子どもたちを対象に教室を行ったが、みんな元気にお父さんやお母さんとバスしたりボールを追い回している姿を見て、サッカーに対して興味を持っている子どもたちがいることを改めて感じた。やはり幼児期からサッカーに親みを持ち、遊びをとおして上達していってこれればと思う。(講師) | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

<活動写真>



写真①:親子で楽しくボール遊びをやったよ



写真②:親対子どもの白熱した試合をしました！

活 動 記 録 一 日 誌

〔実施日〕 平成 21 年 8 月 18 日 (火) 10 時 00 分 から
16 時 00 分 まで

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------------------------------------|--|----------|--|---|----------|---|---|----|---------|---|---|--|------|--|---|--|-----|--|---|
| プログラム名 | 「雲南を愛する心」を感じるツアー | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 会場 | 吉田町山内伝承館付近 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 内容 | 映画「うん、何？」に出てくるロケ地を清掃し、その後映画を鑑賞する。 また、映画で出てきた雲南の名産物「たまごかけごはん」を食べることで、改めて雲南の良さを認識するツアー。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (使用した教材) | 米、たまご、醤油、映画「うん、何？」ミニシアター | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 参加者数 | 子どものみ | 8 | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">名</td> <td style="width: 15%;">小学校1～3年生</td> <td style="width: 15%; text-align: center;">3</td> <td style="width: 5%;">名</td> </tr> <tr> <td>内訳</td> <td>同 4～6年生</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td></td> <td>未就学児</td> <td></td> <td>名</td> </tr> <tr> <td></td> <td>中学生</td> <td></td> <td>名</td> </tr> </table> | 名 | 小学校1～3年生 | 3 | 名 | 内訳 | 同 4～6年生 | 5 | 名 | | 未就学児 | | 名 | | 中学生 | | 名 |
| | 名 | 小学校1～3年生 | | 3 | 名 | | | | | | | | | | | | | | |
| 内訳 | 同 4～6年生 | 5 | 名 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 未就学児 | | 名 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 中学生 | | 名 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | その他(保護者など) | 1 | 名 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 参加者・保護者の感想 | たまごかけごはんがおいしかった。 この映画、何回も見た。 清掃作業してから映画を見るとやはり印象に残る。 差し入れのきゅうりがおいしかった。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 特記事項 (講師の感想・意見・要望。 事故・怪我は必ず記入) | 清掃作業をしてもらって助かった。 また是非いらっしゃってください。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

<活動写真>



写真①:



写真②:

③特別に支援を要する子ども達に対するプログラム

- 多様な体験を通して自信を持たせるプログラム
- 音楽劇、ジャズバンドへの参加プログラム

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">・スナッグゴルフ教室 (P. 46)・わくわくジャズ体験会 (P. 47)・ビリオネア音楽劇 交響詩「古代」 (P. 48) |
|--|

活 動 記 録 一 日 誌

〔実施日〕平成 21 年 10 月 30 日 (金) 10 時 00 分 から
12 時 00 分 まで

| | | | | | | |
|--------------------------------------|--|----|---|----------|---------|---|
| プログラム名 | スナッグゴルフ教室 | | | | | |
| 会場 | 雲南市加茂B&G海洋センター アリーナ | | | | | |
| 内容 | ※特別に支援を要する子どもたちに対するプログラム(なかよし教室と協力) スナッグゴルフ(安全に楽しく屋外でも屋内でもコースプレイや練習ができる新しいゴルフ) | | | | | |
| (使用した教材) | スナッグゴルフ一式 | | | | | |
| 参加者数 | 子どものみ | 11 | 名 | 小学校1～3年生 | 0 | 名 |
| | | | | | 同 4～6年生 | 0 |
| | | | | 未就学児 | 0 | 名 |
| | | | | 中学生 | 11 | 名 |
| | その他(保護者など) | 0 | 名 | | | |
| 参加者・保護者の感想 | いろいろなホールがあつて楽しかった。ドラゴン大会がすごくおもしろかった。ドライバーで打つのは難しかった。的にボールが当たったときすごく気持ちよかった。また参加してみたい。(参加者) | | | | | |
| 特記事項 (講師の感想・意見・要望。 事故・怪我は必ず記入) | 普段できないスポーツを子ども達に体験させることができたので今後も定期的に開催してほしい。(なかよし教室先生) | | | | | |

<活動写真>



写真①:がんばって～



写真②:ドラゴン大会だー

活 動 記 録 一 日 誌

〔実施日〕平成 21 年 12 月 13 日 (日) 14 時 00 分 から
16 時 30 分 まで

| | | | | | |
|--------------------------------------|--|----|-------------|----------|-----|
| プログラム名 | わくわくジャズ体験教室 | | | | |
| 会場 | 木次経済文化会館 大ホール | | | | |
| 内容 | 中学生～高校生までが参加するジャズバンドの定期演奏会。 学校に通えない子どもたちもたくさん参加し、計12曲を演奏した。 | | | | |
| (使用した教材) | | | | | |
| 参加者数 | 子どものみ | 5 | 名 内 訳 | 小学校1～3年生 | 名 |
| | | | | 同 4～6年生 | 名 |
| | | | | 未就学児 | 名 |
| | | | | 中学校生 | 5 名 |
| | その他(保護者など) | 35 | 名 | | |
| 参加者・保護者の感想 | ジャズは本当に楽しい。学校ではもう楽器を貸してもらえないので、楽器が欲しい。 | | | | |
| 特記事項 (講師の感想・意見・要望。 事故・怪我は必ず記入) | 高校生にも学校に通えない子が数人いるなど、この活動はそのような不登校の居場所として成果を挙げている。 | | | | |

<活動写真>



写真①:



写真②:

活 動 記 録 一 日 誌

〔実施日〕 平成 22 年 2 月 21 日 (日) 14 時 00 分 から
16 時 00 分 まで

| | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|--------------|------------------------------|----------|---|---|---------|----|---|------|---|---|-----|---|---|
| プログラム名 | ビリオネア大学の音楽劇「交響詩“古代”」 | | | | | | | | | | | | | | |
| 会場 | 雲南市加茂文化ホール 大ホール | | | | | | | | | | | | | | |
| 内容 | 1年かけて作り上げた「交響詩“古代”」の公演。 小さな子どもたちから一般の大人までが参加する中、学校に通えない子どもたちも一緒に て、お芝居や歌を公演した。 | | | | | | | | | | | | | | |
| (使用した教材) | | | | | | | | | | | | | | | |
| 参加者数 | 子どものみ その他(保護者など) | 27 82 | 名 名 名 名 | | | | | | | | | | | | |
| 参加者・保護者の感想 | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%; text-align: center;">小学校1～3年生</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">7</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">名</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">同 4～6年生</td> <td style="text-align: center;">13</td> <td style="text-align: center;">名</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">未就学児</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td style="text-align: center;">名</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">中学生</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">名</td> </tr> </table> <p>台詞を覚えるのが難しく、途中忘れてしまったけど、何とか最後までできて良かった。 子どもが生き生きしてくれていて、本当に参加させて良かった(保護者)</p> | | | 小学校1～3年生 | 7 | 名 | 同 4～6年生 | 13 | 名 | 未就学児 | 5 | 名 | 中学生 | 2 | 名 |
| 小学校1～3年生 | 7 | 名 | | | | | | | | | | | | | |
| 同 4～6年生 | 13 | 名 | | | | | | | | | | | | | |
| 未就学児 | 5 | 名 | | | | | | | | | | | | | |
| 中学生 | 2 | 名 | | | | | | | | | | | | | |
| 特記事項 (講師の感想・意見・要望。 事故・怪我は必ず記入) | 大ホール約550席が満席。オーケストラの生演奏をバックに、また舞台スタッフもたくさん参加する公演。 | | | | | | | | | | | | | | |

<活動写真>



写真①:



写真②:

④楽しく学ぶ<体験><実験>学習支援プログラム

- 松江高専との協カプログラム
- 自然や地域資源を活かした体験プログラム
- 親子体験プログラム
- 本物体験プログラム

- ・ みんなで学ぶ楽しい囲碁入門教室 (P. 50)
- ・ 車椅子バスケットに挑戦 (P. 51)
- ・ SAQ トレーニングで楽しい運動をしよう！ (P. 52)
- ・ 昔のおもちゃを作ろう (P. 53)
- ・ 赤川水辺の教室 (P. 54)
- ・ ゆったり久野川上流満喫ツアー (P. 55)
- ・ ピーヒャラドンドコかぐらをやろう (P. 56)
- ・ カブトムシ型ロボットを作ろう！！ (P. 57)
- ・ 波多自然体験合宿 (P. 58)
- ・ 桜染め体験をしよう！ (P. 59)
- ・ 外園祥一郎特別コンサート From ブラスヘキサゴン (P. 60)
- ・ かがくの広場～化石発掘ツアー (P. 61)
- ・ 親子お料理教室 (P. 62)
- ・ フランスワールドカップ日本代表 小村徳男氏によるサッカー教室 (P. 63)
- ・ クリスマス・スペシャル木工教室 (P. 64)

活 動 記 録 一 日 誌

〔実施日〕 平成 22 年 2 月 28 日 (日) 9 時 00 分 から
12 時 00 分 まで

| | | | |
|--------------------------------------|---|----|------------------------|
| プログラム名 | みんなで学ぶ楽しい囲碁入門教室 | | |
| 会場 | 雲南市三刀屋文化体育館アスパル | | |
| 内容 | 開校式 クラス別(経験者、初心者)に教室 | | |
| (使用した教材) | | | |
| 参加者数 | 子どものみ | 33 | 名 |
| | その他(保護者など) | 30 | 名 |
| | | | 内訳 |
| | | | 小学校1～3年生 12 名 |
| | | | 同 4～6年生 17 名 |
| | | | 未就学児 4 名 |
| | | | 中学生 0 名 |
| 参加者・保護者の感想 | 今日はお父さんと一緒に参加した。学校の囲碁クラブに入って活動をしているが、プロの棋士に教えてもらう機会はないのでとても勉強になった。 | | |
| 特記事項 (講師の感想・意見・要望。 事故・怪我は必ず記入) | 今回の教室で囲碁に対して関心を持ってくれる人が少しでも増えたらうれしい。囲碁は、年齢や性別など関係なく誰でも簡単にできるので、もっと多くの方に囲碁を知ってもらいたい。 | | |

<活動写真>



写真①:



写真②:

活 動 記 録 一 日 誌

〔実施日〕 平成 22 年 2 月 28 日 (日) 13 時 30 分 から
15 時 00 分 まで

| | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------------------------------------|--|---|---|---|----------|---|---|---------|---|---|------|---|---|-----|---|---|
| プログラム名 | 車椅子バスケットに挑戦 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 会場 | 雲南市加茂B&G海洋センター アリーナ | | | | | | | | | | | | | | | |
| 内容 | 車椅子リレー 車椅子鬼ごっこ 車椅子バスケットボール用の車椅子に乗ってバスケットボールに挑戦 | | | | | | | | | | | | | | | |
| (使用した教材) | 競技用車いす | | | | | | | | | | | | | | | |
| 参加者数 | 子どものみ | 7 | 名 | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>小学校1～3年生</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>同 4～6年生</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>未就学児</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>中学生</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td>名</td> </tr> </table> | 小学校1～3年生 | 5 | 名 | 同 4～6年生 | 2 | 名 | 未就学児 | 0 | 名 | 中学生 | 0 | 名 |
| | 小学校1～3年生 | 5 | | 名 | | | | | | | | | | | | |
| 同 4～6年生 | 2 | 名 | | | | | | | | | | | | | | |
| 未就学児 | 0 | 名 | | | | | | | | | | | | | | |
| 中学生 | 0 | 名 | | | | | | | | | | | | | | |
| | その他(保護者など) | 0 | 名 | | | | | | | | | | | | | |
| 参加者・保護者の感想 | 先生達の試合をみたと、とてもかっこよかった。試合のときの車椅子同士がぶつかり合う音はすごく迫力があった。鬼ごっこで先生をつかまえることができうれしかった。車椅子に乗ってシュート入れるのはすごく難しかったけど、先生達は軽々シュートを入れていたのですごいと思った。またやってみたい。(参加者) | | | | | | | | | | | | | | | |
| 特記事項 (講師の感想・意見・要望。 事故・怪我は必ず記入) | 2回目となる今回の車椅子バスケットボール教室には、岡山県で活動されている車椅子バスケットボールのチームを講師に迎えて行なった。迫力ある試合を生で観ることができ、子ども達にはとても良い経験になったと思う。今後も定期的に続けて行なっていきたい。(職員) | | | | | | | | | | | | | | | |

<活動写真>



写真①:先生に負けないぞ～



写真②:シュート入れ～

活 動 記 録 一 日 誌

〔実施日〕 平成 21 年 7 月 27 日 (月) 13 時 45 分 から
16 時 00 分 まで

| | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------------------------------------|--|----|----------|---|----------|----|---|---------|----|---|------|--|---|-----|--|---|
| プログラム名 | SAQトレーニングで楽しい運動をしよう！ | | | | | | | | | | | | | | | |
| 会場 | アスパルアリーナ | | | | | | | | | | | | | | | |
| 内容 | ウォーミングアップ・ラダートレーニング・マイクロハードル・ミラードリル・サイドステップ・クレイジーボール クールダウン | | | | | | | | | | | | | | | |
| (使用した教材) | テニスボール・ラダー・クレイジーボール | | | | | | | | | | | | | | | |
| 参加者数 | 子どものみ | 42 | 名 内 訳 | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">小学校1～3年生</td> <td style="text-align: right;">20</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>同 4～6年生</td> <td style="text-align: right;">22</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>未就学児</td> <td></td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>中学生</td> <td></td> <td>名</td> </tr> </table> | 小学校1～3年生 | 20 | 名 | 同 4～6年生 | 22 | 名 | 未就学児 | | 名 | 中学生 | | 名 |
| 小学校1～3年生 | 20 | 名 | | | | | | | | | | | | | | |
| 同 4～6年生 | 22 | 名 | | | | | | | | | | | | | | |
| 未就学児 | | 名 | | | | | | | | | | | | | | |
| 中学生 | | 名 | | | | | | | | | | | | | | |
| | その他(保護者など) | 6 | 名 | | | | | | | | | | | | | |
| 参加者・保護者の感想 | 最初はSAQの意味が分からなかったけど、やり方を教えてもらってテレビで見たことのある運動だった。陸上選手やスポーツ選手がやっていると聞いて感激した。特にボールを使ったトレーニングは、ボールの変化に合わせて動くので、難しいけど反射神経が良くなるような気がした。 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 特記事項 (講師の感想・意見・要望。 事故・怪我は必ず記入) | 参加した子ども達は、2時間にわたり体を動かすトレーニングを夢中になって楽しんだ。トレーニングは楽しいと感じる教室となった。 補助員として子どもと一緒に参加したが、子ども達は初めての運動(SAQ)に積極的に参加し楽しく体を動かして充実感を持って帰った様子でした。スポ少やクラブ活動などで応用できる競技なので、有効的に取り入れて欲しいと思う。 | | | | | | | | | | | | | | | |

<活動写真>



写真①:



写真②:

活 動 記 録 一 日 誌

〔実施日〕平成 21 年 6 月 14 日 (日) 10 時 00 分 から
12 時 00 分 まで

| | | | |
|---|---|------------|------------------------------|
| プログラム名 | 昔のおもちゃを作ろう | | |
| 会場 | 雲南市加茂B&G海洋センター ミーティングルーム | | |
| 内容 | 竹を使って竹馬と竹とんぼを作る 竹馬はあらかじめ竹を丁度良い長さに切って留める箇所穴をあけたものを使用し、参加者は竹と木で作った足を乗せる部分を針金で留める作業を行った 竹とんぼはあらかじめ竹を丁度良い長さに切って中心に穴をあけたものを使用し、参加者は竹を小刀で削る作業を行った | | |
| (使用した教材) | 竹、針金、板 | | |
| 参加者数 | 子どものみ その他(保護者など) | 6 1 | 名 名 名 名 |
| 参加者・保護者の感想 | 竹馬も竹とんぼも作るのは大変だったけど、とても楽しかった。竹とんぼを作るとき、竹が固くて削るのが大変だったけど、完成したときはとてもうれしかった。本物の竹で作った竹馬は少し乗りにくいけど、これから上手に乗れるように練習したい。これからは竹馬と竹とんぼで遊びたい。(参加者) | | |
| 特記事項 (講師の感想・意見・要望。 事故・怪我は必ず記入) | 竹とんぼ作りは、竹が固く、小刀で削ることは低学年の子どもには難しいので次回からは小学4年生以上からにした方がよいと感じた。(職員) | | |

<活動写真>



写真①:先生と一緒に作ったよ



写真②:自分で作った竹馬で遊んだよ

活 動 記 録 一 日 誌

〔実施日〕 平成 21 年 8 月 2 日 (日) 10 時 00 分 から
12 時 00 分 まで

| | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------------------------------------|---|----|---|----------|---|---|---------|---|---|------|---|---|------|--|---|
| プログラム名 | 赤川水辺の教室 | | | | | | | | | | | | | | |
| 会場 | 加茂町赤川 | | | | | | | | | | | | | | |
| 内容 | <p>○赤川の水辺に棲息する生き物を観察 宍道湖自然観ゴビウスの方を講師にお招きし、赤川に棲む魚や植物などを子どもたちが捕まえ、生き物の事について詳しく説明していただいた。また、講師の藤原氏には捕まえて来られた「カメ」や「ナマズ」などを手に取り、子どもたちに川遊びの楽しさ、また生き物の素晴らしさなどを教えていただいた。</p> | | | | | | | | | | | | | | |
| (使用した教材) | アミ、オケ、水桶など | | | | | | | | | | | | | | |
| 参加者数 | 子どものみ | 11 | <table border="1" style="font-size: small; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>小学校1～3年生</td> <td style="text-align: right;">7</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>同 4～6年生</td> <td style="text-align: right;">3</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>未就学児</td> <td style="text-align: right;">1</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>中学校生</td> <td></td> <td>名</td> </tr> </table> | 小学校1～3年生 | 7 | 名 | 同 4～6年生 | 3 | 名 | 未就学児 | 1 | 名 | 中学校生 | | 名 |
| 小学校1～3年生 | 7 | 名 | | | | | | | | | | | | | |
| 同 4～6年生 | 3 | 名 | | | | | | | | | | | | | |
| 未就学児 | 1 | 名 | | | | | | | | | | | | | |
| 中学校生 | | 名 | | | | | | | | | | | | | |
| | その他(保護者など) | 2 | 名 | | | | | | | | | | | | |
| 参加者・保護者の感想 | <p>赤川には色々な生き物がいて、見たこともない生き物もいたので驚いた。エビがたくさん取ることができておもしろかった。ナマズが気持ち悪かったけど、先生に教えてもらってつかむことができた。(参加者) 最近の子どもたちは川に入って生き物に触れることがないので、こういった野外体験活動に積極的に参加させていきたいと思います。(保護者)</p> | | | | | | | | | | | | | | |
| 特記事項 (講師の感想・意見・要望。 事故・怪我は必ず記入) | <p>やはり雲南市という地域は、自然がたくさん残っており生き物が豊富に生息しているので、野外体験を行う場所としては最高の場所であり、また子どもたちにとってこういった環境の中で生活できるということは、大きな財産になると感じています。今後も生き物に対して知識を深めて、自然の素晴らしさなどを考えてほしいと思っています。(講師)</p> | | | | | | | | | | | | | | |

<活動写真>



写真①: 何が採れたかな？



写真②: 講師の方の説明を真剣に聞く子どもたち

活 動 記 録 ― 日 誌 ―

〔実施日〕 平成 21 年 8 月 6 日 (木) 11 時 30 分 から
17 時 30 分 まで

| | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------------------------------------|---|----|--|----------|---|---|---------|---|---|------|---|---|-----|---|---|
| プログラム名 | ゆったり久野川上流満喫ツアー | | | | | | | | | | | | | | |
| 会場 | 雲南市大東町久野地区 上久野桃源郷 | | | | | | | | | | | | | | |
| 内容 | 11:30 大東公園市民体育館／開校式 12:05 市民バスにて久野地区へ移動 13:00 上久野桃源郷到着～昼食～講師紹介など 14:00 上久野桃源郷の施設見学、自然観察、郷土資料館で学習など 16:30 市民バスにて大東公園市民体育館へ向けて出発 17:30 到着～閉校式～解散 | | | | | | | | | | | | | | |
| (使用した教材) | | | | | | | | | | | | | | | |
| 参加者数 | 子どものみ | 10 | <table border="1" style="font-size: small; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>小学校1～3年生</td> <td style="text-align: right;">8</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>同 4～6年生</td> <td style="text-align: right;">1</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>未就学児</td> <td style="text-align: right;">0</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>中学生</td> <td style="text-align: right;">1</td> <td>名</td> </tr> </table> | 小学校1～3年生 | 8 | 名 | 同 4～6年生 | 1 | 名 | 未就学児 | 0 | 名 | 中学生 | 1 | 名 |
| 小学校1～3年生 | 8 | 名 | | | | | | | | | | | | | |
| 同 4～6年生 | 1 | 名 | | | | | | | | | | | | | |
| 未就学児 | 0 | 名 | | | | | | | | | | | | | |
| 中学生 | 1 | 名 | | | | | | | | | | | | | |
| | その他(保護者など) | 3 | 名 | | | | | | | | | | | | |
| 参加者・保護者の感想 | 上久野桃源郷には家族とキャンプで来たことはあるけど、生き物観察や川遊びはしたことがなかったの、とても面白かった。郷土資料館には昔の家具や着物などがあって、またそれは今でも使われているものがあると知って驚いた。(参加者) とても貴重な体験をさせてもらった。今後もこういった野外教室を開いてほしい。(保護者) | | | | | | | | | | | | | | |
| 特記事項 (講師の感想・意見・要望。 事故・怪我は必ず記入) | 心配していた天気も良くなり、川でも遊ぶことができたので、子どもたちはとても楽しそうに遊んでいた。。また、最近の子どもたちは、普段遊んでいる川や森の中にいる生き物や植物をじっくり観察する機会はあまりないと思うので、今後も色んな事に興味を持ってほしいと思う。(職員) | | | | | | | | | | | | | | |

< 活動写真 >



写真①: 川に棲む生き物を探しています



写真②: 笹の葉でおいしい水を飲んだよ

活 動 記 録 一 日 誌

〔実施日〕 平成 22 年 2 月 21 日 (日) 9 時 00 分 から
13 時 00 分 まで

| | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------------------------------------|----------------------------|----------|---|----|----------|---|---|---------|---|---|------|--|---|-----|--|---|
| プログラム名 | ピーヒャラドンドコかぐらをやろう | | | | | | | | | | | | | | | |
| 会場 | 古代鉄歌謡館 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 内容 | 奏楽(笛、太鼓、締太鼓、銅拍子)の総合練習。舞も含む | | | | | | | | | | | | | | | |
| (使用した教材) | 太鼓、締太鼓、銅拍子、笛、櫛、衣装 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 参加者数 | 子どものみ | 8 | <table border="1" style="font-size: small; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl;">内訳</td> <td>小学校1～3年生</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>同 4～6年生</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>未就学児</td> <td></td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>中学生</td> <td></td> <td>名</td> </tr> </table> | 内訳 | 小学校1～3年生 | 5 | 名 | 同 4～6年生 | 3 | 名 | 未就学児 | | 名 | 中学生 | | 名 |
| | 内訳 | 小学校1～3年生 | | | 5 | 名 | | | | | | | | | | |
| 同 4～6年生 | | 3 | 名 | | | | | | | | | | | | | |
| 未就学児 | | | 名 | | | | | | | | | | | | | |
| 中学生 | | | 名 | | | | | | | | | | | | | |
| その他(保護者など) | | | 名 | | | | | | | | | | | | | |
| 参加者・保護者の感想 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 特記事項 (講師の感想・意見・要望。 事故・怪我は必ず記入) | | | | | | | | | | | | | | | | |

<活動写真>



写真①:

写真②:

活 動 記 録 一 日 誌

〔実施日〕平成 21 年 8 月 23 日 (日) 13 時 30 分 から
16 時 00 分 まで

| | | | | |
|--------------------------------------|--|----|-------------|--------------------------------|
| プログラム名 | カブトムシ型ロボットを作ろう！！ | | | |
| 会場 | 娯楽音楽室 | | | |
| 内容 | カブトムシ型ロボットのキットを教材とした工作教室。完成したロボットを使って試走した。 | | | |
| (使用した教材) | メカビートル | | | |
| 参加者数 | 子どものみ | 15 | 名 内 訳 | 小学校1～3年生 8 名 |
| | その他(保護者など) | 10 | | 同 4～6年生 7 名 未就学児 名 中学生 名 |
| 参加者・保護者の感想 | 毎回参加しているが、今回は障害物を避けて進むカブトムシロボットを作った。難しかったけど、先生に丁寧に教えてもらって良いロボットが完成した。次回も参加したい。 | | | |
| 特記事項 (講師の感想・意見・要望。 事故・怪我は必ず記入) | 参加者全員が最後まで工作物を完成させたので大変喜んでいる。今後のこのような工作教室を実施して頂きたい。 | | | |

<活動写真>



写真①:



写真②:

活 動 記 録 一 日 誌

〔実施日〕 平成 21 年 8 月 4 日 (火) 11 時 00 分 から
平成 21 年 8 月 6 日 (木) 14 時 00 分 まで

| | | | | |
|---|---|----|-------------|--|
| プログラム名 | 波多自然体験合宿 | | | |
| 会場 | 波多公民館・三瓶自然館サヒメル・ふれあいの里奥出雲公園 | | | |
| 内容 | 波多公民館との連携プログラム。様々な体験を通して、波多の自然に触れる2泊3日の合宿。掃除、洗濯、食事など全てのことを子ども達が行う。 1日目…始まりの会、そうめん流し、炭火でカレー作り、プラネタリウム観察 2日目…ラジオ体操、自然体験(竹の伐採、ヤマメの塩焼き作り、竹筒ご飯づくり)、お好み焼き作り 3日目…ラジオ体操、環境活動(環境についてのお話、EM菌だんご作り)、終わりの会 | | | |
| (使用した教材) | | | | |
| 参加者数 | 子どものみ | 41 | 名 内 訳 | 小学校1～3年生 18 名 同 4～6年生 23 名 未就学児 名 中学生 名 |
| | その他(保護者など) | 2 | | 名 |
| 参加者・保護者の感想 | 初めは緊張して大丈夫かなと思ったが、とても楽しくでき、友達もたくさんできて楽しい3日間だった。自分の事を全部自分ですするという経験はしたことがなかったので、料理などで失敗してしまっただが、廻りの友達が助けてくれて嬉しかった。竹を切ったり、生のやまめに触ったりと普段できない経験がたくさんできたので、またこういう機会があったら参加したい。(参加者) | | | |
| 特記事項 (講師の感想・意見・要望。 事故・怪我は必ず記入) | 初めは緊張していた様子だったが、協力する作業をしていくうちに皆が仲良くなり、元気に3日間を終えることができた。地域の自然を生かした体験プログラムとして、竹の伐採から竹筒ごはん作りまで、意欲的に取り組むことができ、また近年話題になっているエコ活動も取り上げ、子ども達は楽しみながら知識を得ることができた。波多の皆様には地域が一体となってご協力いただき、楽しくかつ安全に合宿をすることができた。 | | | |

<活動写真>



写真①:山から竹を切ってきたよ!



写真②:EM菌の入った泥だんごづくり

活 動 記 録 一 日 誌

〔実施日〕平成 21 年 8 月 3 日 (月) 8 時 30 分 から
12 時 00 分 まで

| | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|---|--|----------|---|---|---------|---|---|------|---|---|-----|--|---|
| プログラム名 | 桜染め体験をしよう！ | | | | | | | | | | | | | | |
| 会場 | 古花工房(木次町) | | | | | | | | | | | | | | |
| 内容 | 土手の桜の葉を取ってから工房に行き、刻んだ葉を煮込む。 煮込む間に桜守さんから桜の木についての説明を受ける。 その後、自分の染めるハンカチの模様を決め、割り箸や石や輪ゴムを使い形を作る。 3種類の液(4日煮込んだもの、2日煮込んだもの、20分煮込んだもの)から選び染色をする。 | | | | | | | | | | | | | | |
| (使用した教材) | 葉ばし、はさみ、割り箸、輪ゴム、石など | | | | | | | | | | | | | | |
| 参加者数 | 子どものみ | 9 | <table border="1" style="font-size: small; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>小学校1～3年生</td> <td style="text-align: right;">6</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>同 4～6年生</td> <td style="text-align: right;">2</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>未就学児</td> <td style="text-align: right;">1</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>中学生</td> <td></td> <td>名</td> </tr> </table> | 小学校1～3年生 | 6 | 名 | 同 4～6年生 | 2 | 名 | 未就学児 | 1 | 名 | 中学生 | | 名 |
| 小学校1～3年生 | 6 | 名 | | | | | | | | | | | | | |
| 同 4～6年生 | 2 | 名 | | | | | | | | | | | | | |
| 未就学児 | 1 | 名 | | | | | | | | | | | | | |
| 中学生 | | 名 | | | | | | | | | | | | | |
| | その他(保護者など) | 3 | 名 | | | | | | | | | | | | |
| 参加者・保護者の感想 | 葉っぱから出た色が日によって変わっていくことにびっくりした。桜の木と他の木との違いが分かるようになった。作る前はどんな柄ができるのか不安だったけど、成功して嬉しかった。作りた い柄があったけど難しく断念したので、またチャレンジしてみたい。(参加者) | | | | | | | | | | | | | | |
| 特記事項 (講師の感想・意見・要望。 事故・怪我は必ず記入) | 多くの親子の参加があって嬉しかった。普段身近な桜とこういう風に向き合うことはないと思う ので、子どもたちに良い経験になったと思う。1人1人が全く違う柄で素敵なハンカチができて良 かった。これからの学校生活などで大変なことなどがあると思うが、桜の木に負けないように頑 張ってほしい。桜の木に限らず、秋のススキなどの植物でも染物ができるので、また子ども達と やる機会があったらいいと思う。(講師) | | | | | | | | | | | | | | |

<活動写真>



写真①:葉っぱを小さく刻むよ



写真②:すてきなハンカチの完成！

活 動 記 録 一 日 誌

〔実施日〕平成 21 年 9 月 5 日 (土) 14 時 00 分 から
時 分 まで

| | | | | | | |
|---|--|-----|---|----------|----|---|
| プログラム名 | 外園祥一郎特別コンサートFromプラスヘキサゴン | | | | | |
| 会場 | ラメール ふれあいホール | | | | | |
| 内容 | 世界的なユーフォニアム(管楽器)奏者である外園祥一郎氏によるファミリーコンサート。通常行なわれる外園氏のリサイタルでは未就学児の入場はできな。しかし、今回は外園氏に特別に許可をいただき、全国で例のない外園氏によるファミリーコンサートの開催が実現。世界的なソリストによる雲南元氣っ子わくわく教室特別鑑賞教室を開催した。地元中学生とのコラボレーションを行い、雲南市内の子どもたちとの交流を加えた鑑賞教室を実施。曲目 1. コンサートギャロップ 2. 二つの夢 3. 三日月の歌 4. ソロデコンクール5. オペラ座の怪人 6. 夏の名残のばら 7. ハーレキん 8. 浜辺の歌 | | | | | |
| (使用した教材) | | | | | | |
| 参加者数 | 子どものみ | 120 | 名 | 小学校1～3年生 | 4 | 名 |
| | | | | 同 4～6年生 | 28 | 名 |
| | | | | 未就学児 | 32 | 名 |
| | | | | 中学校生 | 56 | 名 |
| | その他(保護者など) | 8 | 名 | | | |
| 参加者・保護者の感想 | プロの演奏が間近で聴けて感動した。思い出に残る鑑賞会でよかった。今日の鑑賞会で学んだことをこれからの部活動のに活かしていきたい。演奏もトークも面白くて時間を忘れる鑑賞会でした。(保護者) | | | | | |
| 特記事項 (講師の感想・意見・要望。 事故・怪我は必ず記入) | | | | | | |

<活動写真>



写真①:



写真②:

活 動 記 録 一 日 誌

〔実施日〕平成 21 年 10 月 11 日 (日) 8 時 15 分 から
17 時 00 分 まで

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------------------------------------|--|----|--|---|----------|---|---|---|---------|---|---|---|------|--|---|--|-----|--|---|
| プログラム名 | かがくの広場～化石発掘ツアー | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 会場 | 娯楽音楽室 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 内容 | ①奥出雲多根自然博物館の見学 ②帝釈峽鍾乳洞の見学 ③化石発掘体験 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (使用した教材) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 参加者数 | 子どものみ | 13 | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">名</td> <td style="width: 15%;">小学校1～3年生</td> <td style="width: 15%; text-align: center;">9</td> <td style="width: 5%;">名</td> </tr> <tr> <td>内</td> <td>同 4～6年生</td> <td style="text-align: center;">4</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>訳</td> <td>未就学児</td> <td></td> <td>名</td> </tr> <tr> <td></td> <td>中学生</td> <td></td> <td>名</td> </tr> </table> | 名 | 小学校1～3年生 | 9 | 名 | 内 | 同 4～6年生 | 4 | 名 | 訳 | 未就学児 | | 名 | | 中学生 | | 名 |
| 名 | 小学校1～3年生 | 9 | 名 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 内 | 同 4～6年生 | 4 | 名 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 訳 | 未就学児 | | 名 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 中学生 | | 名 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | その他(保護者など) | 5 | 名 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 参加者・保護者の感想 | 教科書で勉強したが、本物の化石を初めて見る事ができた。数億年前の化石を発掘できることに驚いた。 親子で自然体験を満喫することができた。このような教室がたくさん増えれば良いと思う。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 特記事項 (講師の感想・意見・要望。 事故・怪我は必ず記入) | 親子で自然の偉大さを学んでいただけ良かった。これからの学習に生かして、科学の楽しさを学んで欲しい。次回は雲南市内の古墳や史跡について、教室を開催できたらと思う。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

<活動写真>



写真①:



写真②:

活 動 記 録 一 日 誌

〔実施日〕平成 21 年 12 月 27 日 (日) 9 時 00 分 から
13 時 00 分 まで

| | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------------------------------------|---|----|--|----------|---|---|---------|---|---|------|---|---|-----|--|---|
| プログラム名 | 親子お料理教室 | | | | | | | | | | | | | | |
| 会場 | かもてらす(栄養指導室・研修室) | | | | | | | | | | | | | | |
| 内容 | 野菜ソムリエ、ジュニア食育マイスターの資格をお持ちの先生に来ていただきデコカップケーキと本物のカップケーキ、押し麦の野菜スープを教えてください。また、子どもたちにわかり易いようにカードを使ってゲームをしながらそれぞれの野菜の栄養や旬を教えてください。 | | | | | | | | | | | | | | |
| (使用した教材) | かもてらすの調理器具及び食器。先生が用意された食材、材料。 | | | | | | | | | | | | | | |
| 参加者数 | 子どものみ | 12 | <table border="1" style="font-size: small; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>小学校1～3年生</td> <td style="text-align: right;">4</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>同 4～6年生</td> <td style="text-align: right;">6</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>未就学児</td> <td style="text-align: right;">2</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>中学生</td> <td></td> <td>名</td> </tr> </table> | 小学校1～3年生 | 4 | 名 | 同 4～6年生 | 6 | 名 | 未就学児 | 2 | 名 | 中学生 | | 名 |
| 小学校1～3年生 | 4 | 名 | | | | | | | | | | | | | |
| 同 4～6年生 | 6 | 名 | | | | | | | | | | | | | |
| 未就学児 | 2 | 名 | | | | | | | | | | | | | |
| 中学生 | | 名 | | | | | | | | | | | | | |
| | その他(保護者など) | 9 | 名 | | | | | | | | | | | | |
| 参加者・保護者の感想 | かわいいデコカップケーキが出来てうれしい。(子ども)野菜ほどの部分を食べているのか(葉、茎、根)の質問で以外な野菜があっぴびっくりでした。(保護者) | | | | | | | | | | | | | | |
| 特記事項 (講師の感想・意見・要望。 事故・怪我は必ず記入) | 皆さん手馴れておられてスムーズに進んで助かりました。子ども達の包丁さばきにおどろきました。(講師)今回はいつもの料理教室と違いゲームなどがありテーマは野菜でも子ども達は楽しく学ぶ事が出来たようです。 | | | | | | | | | | | | | | |

<活動写真>



①かわいいデコカップケーキが出来るよー♪



②どの野菜が旬かなあ～

活 動 記 録 一 日 誌

〔実施日〕平成 21 年 11 月 29 日 (日) 9 時 30 分 から
12 時 00 分 まで

| | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------------------------------------|---|----|---|---|----------|----|---|---------|----|---|------|---|---|------|----|---|
| プログラム名 | フランスワールドカップ日本代表 小村徳男氏によるサッカー教室 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 会場 | 雲南市加茂中央公園ふれあいの丘多目的広場 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 内容 | フランスワールドカップ日本代表の小村徳男氏による・アスリート本物体験プログラムキッズクラス(小学1年生～小学3年生)とジュニアクラス(小学4年生～中学3年生)に分けて行った 小村氏によるシュートのデモンストレーション、ドリブルでだるまさんが転んだ、ミニゲームなど 教室終了後、加茂スポ少サッカー部の保護者による豚汁 | | | | | | | | | | | | | | | |
| (使用した教材) | サッカーボール、コーン | | | | | | | | | | | | | | | |
| 参加者数 | 子どものみ | 96 | 名 | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>小学校1～3年生</td> <td style="text-align: right;">36</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>同 4～6年生</td> <td style="text-align: right;">47</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>未就学児</td> <td style="text-align: right;">0</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>中学校生</td> <td style="text-align: right;">13</td> <td>名</td> </tr> </table> | 小学校1～3年生 | 36 | 名 | 同 4～6年生 | 47 | 名 | 未就学児 | 0 | 名 | 中学校生 | 13 | 名 |
| 小学校1～3年生 | 36 | 名 | | | | | | | | | | | | | | |
| 同 4～6年生 | 47 | 名 | | | | | | | | | | | | | | |
| 未就学児 | 0 | 名 | | | | | | | | | | | | | | |
| 中学校生 | 13 | 名 | | | | | | | | | | | | | | |
| | その他(保護者など) | 50 | 名 | | | | | | | | | | | | | |
| 参加者・保護者の感想 | 小村先生のシュートはすごく早くてびっくりした。小村先生みたいにドリブルできるように練習したい。小村先生が優しく教えてくれてうれしかった。小村先生がサッカーは基本が大切だと教えてくれたのでこれからは基本を大切に練習したい。小村先生のように日本代表になってワールドカップに出場できる選手になりたい。(参加者) | | | | | | | | | | | | | | | |
| 特記事項 (講師の感想・意見・要望。 事故・怪我は必ず記入) | 島根からでも日本、世界に通用するサッカー選手になれるチャンスがあるということに参加した子どもたちに伝えられたと思う。参加した子どもたちがこれからもサッカーを続けていってほしいと思う。今後もサッカー教室を開催していきたい。(講師) | | | | | | | | | | | | | | | |

<活動写真>



写真①:ドリブルだー



写真②:小村先生からの直接指導です

活 動 記 録 一 日 誌

〔実施日〕平成 21 年 12 月 12 日 (土) 9 時 30 分 から
12 時 30 分 まで

| | | | | |
|--------------------------------------|---|---|-------------|-----------------------|
| プログラム名 | クリスマス・スペシャル木工教室 | | | |
| 会場 | 和室 | | | |
| 内容 | クリスマスが近いので、竹を使ったランプシェードを作りました。 親子で協力しながら、竹をのこぎりで切り、ガスバーナーであぶって磨き、ホットボンドで木の実やビー玉などを飾り付けるという作業でした。 | | | |
| (使用した教材) | 竹、ガスコンロ、ホットボンド、のこぎり、木の実など | | | |
| 参加者数 | 子どものみ | 8 | 名 内 訳 | 小学校1～3年生 2 名 |
| | | | | 同 4～6年生 4 名 |
| | | | | 未就学児 2 名 |
| | その他(保護者など) | 3 | 名 | 中学生 名 |
| 参加者・保護者の感想 | のこぎりは難しかったけど、飾りつけをするのが楽しかった。(参加者) 3つも作ったよ！大事に家に飾ります(参加者) 大人が夢中になってしまいました。親子でよい時間が過ごせました(保護者) | | | |
| 特記事項 (講師の感想・意見・要望。 事故・怪我は必ず記入) | | | | |

<活動写真>



写真①:親子で協力！竹を切るのは難しいな。



写真②:火であぶって磨くときれいになるよ。

⑤モニターの見解を反映させたプログラム

- ・わくわく三瓶へGO！ (P. 66)
- ・名人によるそば打ち体験をしよう！ (P. 67)

活 動 記 録 一 日 誌

〔実施日〕平成 21 年 10 月 17 日 (土) 8 時 30 分 から
17 時 00 分 まで

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------------------------------------|--|----|---|---|----------|----|---|---|---------|----|---|---|------|--|---|--|-----|---|---|
| プログラム名 | わくわく三瓶へGO！ | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 会場 | 三瓶青少年交流の家 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 内容 | ①レクリエーション ②パウムクーヘン作り ③ファイヤーストーム ④オリエンテーリング | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (使用した教材) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 参加者数 | 子どものみ | 55 | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">名</td> <td style="width: 15%;">小学校1～3年生</td> <td style="width: 15%; text-align: center;">24</td> <td style="width: 5%;">名</td> </tr> <tr> <td>内</td> <td>同 4～6年生</td> <td style="text-align: center;">29</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>訳</td> <td>未就学児</td> <td></td> <td>名</td> </tr> <tr> <td></td> <td>中学生</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td>名</td> </tr> </table> | 名 | 小学校1～3年生 | 24 | 名 | 内 | 同 4～6年生 | 29 | 名 | 訳 | 未就学児 | | 名 | | 中学生 | 2 | 名 |
| 名 | 小学校1～3年生 | 24 | 名 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 内 | 同 4～6年生 | 29 | 名 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 訳 | 未就学児 | | 名 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 中学生 | 2 | 名 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | その他(保護者など) | 27 | 名 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 参加者・保護者の感想 | さまざまなプログラムを体験し、色々な学校のみんなど友達になる事ができた。中学校で一緒に なるので友達が出来て良かった。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 特記事項 (講師の感想・意見・要望。 事故・怪我は必ず記入) | スポーツ少年団との連携事業として実施した。三瓶交流の家の豊富なプログラムを活用し、交流を図るこ とができた。今後もスポーツ少年団と連携・協力のもと交流を進めたい。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

<活動写真>



写真①:



写真②:

活 動 記 録 一 日 誌

〔実施日〕平成 21 年 12 月 26 日 (土) 14 時 00 分 から
16 時 30 分 まで

| | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|-------------|---|----------|---|---|---------|---|---|------|--|---|-----|--|---|
| プログラム名 | 名人によるそば打ち体験しよう！ | | | | | | | | | | | | | | | |
| 会場 | チェリヴァホール(大会議室)、アルカス | | | | | | | | | | | | | | | |
| 内容 | アルカスより講師を招き、指導のもと親子でそば打ちを体験。 自分たちで打ったそばを試食し、作る大変さから食べる喜びを感じるプログラム。 | | | | | | | | | | | | | | | |
| (使用した教材) | そば粉、打ち粉、そば打ち道具一式 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 参加者数 | 子どものみ | 7 | 名 内 訳 | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">小学校1～3年生</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">1</td> <td style="width: 10%;">名</td> </tr> <tr> <td>同 4～6年生</td> <td style="text-align: center;">6</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>未就学児</td> <td></td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>中学生</td> <td></td> <td>名</td> </tr> </table> | 小学校1～3年生 | 1 | 名 | 同 4～6年生 | 6 | 名 | 未就学児 | | 名 | 中学生 | | 名 |
| 小学校1～3年生 | 1 | 名 | | | | | | | | | | | | | | |
| 同 4～6年生 | 6 | 名 | | | | | | | | | | | | | | |
| 未就学児 | | 名 | | | | | | | | | | | | | | |
| 中学生 | | 名 | | | | | | | | | | | | | | |
| | その他(保護者など) | 5 | 名 | | | | | | | | | | | | | |
| 参加者・保護者の感想 | 初めてそば打ちに挑戦して、名人の腕の違いに驚いた。包丁で切ったり、丸く伸ばすところなど、初めてではなかなか真似できなかった。すごく大変な作業で苦労したけど、自分たちで作ったそばはとても美味しかった。また来年もやりたい。 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 特記事項 (講師の感想・意見・要望。 事故・怪我は必ず記入) | 多くの親子での参加があり、初めての子ども達もとても上手にやっていた。なかなか初めてでは上手くはできなく、切る作業では様々な太さの麺ができていたが、やはり自分で作るということで、いつものそばより何倍も美味しく味わってもらえたと思う。 | | | | | | | | | | | | | | | |

<活動写真>



写真①:



写真②:

■ 4. 教室周知PRの状況

4-1 学校長、教職員宛通知文書

4-2 児童、保護者宛通知文書

4-3 ホームページ、QRコード通知、モバイルホームページ

4-4 ケーブルテレビ画像

4-1 学校長、教職員宛通知文書

平成21年9月25日

学 校 長 様

雲南市文化体育施設利用
放課後子ども教室実行委員会
委 員 長 多 久 博

雲南市文化体育施設利用放課後子ども教室

「うんなん元気っ子わくわく教室」10月号の配布について（ご依頼）

時下 ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は株式会社キラキラ雲南が運営する文化体育事業に、格別のご理解とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、市内の文化・体育施設を開放、利用して実施しています**放課後子ども教室「うんなん元気っ子わくわく教室」**は、ますます多くの子どもたちにご参加いただき、定着しています。子どもたちが「楽しく・面白く」「安心・安全に」「いつでも・どこでも」参加できる魅力ある子ども教室として、また常に参加者の声をもとに改良・改善を心がけながら、今後もより一層充実した内容で提供していきます。

早速ですが、「うんなん元気っ子わくわく教室10月号」を別紙のとおり実施いたしますので、児童、保護者、及び教職員の皆様に配布いただきますようご依頼申し上げます。

是非ともこのプログラムを通して、たくさん子どもたちが体験から多くを学び、新たな出会いや発見を得る場となることを願っています。

つきましては、大変お手数をおかけしますが、プログラムの配布について、**9月28日**に配布をして頂きますよう、よろしく願い申し上げます。

| | | |
|--------------|------------------|-------------|
| お問合せ：加茂文化ホール | TEL:0854-49-8500 | FAX:49-6200 |
| 木次経済文化会館 | TEL:0854-42-1155 | FAX:42-1251 |
| 古代鉄歌謡館 | TEL:0854-43-6568 | FAX:43-6568 |
| 三刀屋文化体育館 | TEL:0854-45-9222 | FAX:45-9223 |
| 加茂B&G海洋センター | TEL:0854-49-7100 | FAX:49-8440 |
| 大東公園市民体育館 | TEL:0854-43-5511 | FAX:43-5512 |

4-2 児童クラブ宛通知文書

平成21年9月末日

ご担当者様

雲南市文化体育施設利用
放課後子ども教室実行委員会
委員長 多久 博
((株)キラキラ雲南 代表取締役)

雲南市文化体育施設利用放課後子ども教室 「うんなん元気っ子わくわく教室」10月号の配布について (ご依頼)

時下 ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は株式会社キラキラ雲南が運営する文化体育事業に、格別のご理解とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、市内の文化・体育施設を開放、利用して実施しています**放課後子ども教室「うんなん元気っ子わくわく教室」**は、ますます多くの子どもたちにご参加いただきながら、定着しつつあります。子どもたちが「楽しく・面白く」「安心・安全に」「いつでも・どこでも」参加できる魅力ある子ども教室として、また常に参加者の声をもとに改良・改善を心がけながら、より一層充実した内容で提供していきます。

早速ですが、「**うんなん元気っ子わくわく教室10月プログラム**」を別紙のとおり実施いたしますので、児童、生徒の皆様への配布・周知にご協力いただきますようお願い申し上げます。引続き、土日を利用しての魅力的なプログラムを取り揃え、「親子参加型」、「学習型」プログラムなど、多様な視点から企画し、充実したプログラム内容となっています。

是非ともこのプログラムを通して、たくさん子どもたちが体験から多くを学び、新たな出会いや発見を得る場となることを願っています。

つきましては、大変お手数をおかけしますが、プログラムの配布について、よろしくお願い申し上げます。

| | | |
|----------------|------------------|-------------|
| お問合せ：加茂文化ホール | TEL:0854-49-8500 | FAX:49-6200 |
| 木次経済文化会館 | TEL:0854-42-1155 | FAX:42-1251 |
| 古代鉄歌謡館 | TEL:0854-43-6568 | FAX:43-6568 |
| 三刀屋文化体育館 | TEL:0854-45-9222 | FAX:45-9223 |
| 加茂B & G 海洋センター | TEL:0854-49-7100 | FAX:49-8440 |
| 大東公園市民体育館 | TEL:0854-43-5511 | FAX:43-5512 |

4-3 ホームページ、QRコード通知、モバイルホームページ

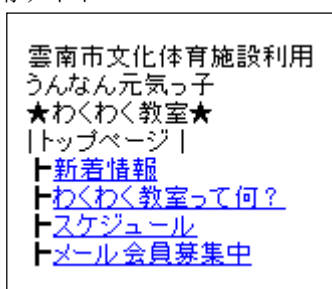
※ホームページ画面



※QRコードの掲載



※携帯端末用サイト



うんなん元気っ子

12月 **わくわく教室**

12月**26**(土) 10時~12時

レッツ♪プレイ・バスケットボール

会場:アスパル 申込不要!!参加無料!!

三刀屋中バスケ部の「**スーパーハンドリングショー**」

~問い合わせ~

三刀屋文化体育館アスパル
TEL (0854)45-9222



うんなん元気っ子

1月 **わくわく教室**

1月**31**(日) 10時~12時

神楽をやろう

会場:古代鉄歌謡館(大東) 申込不要!!参加無料!!

~問い合わせ~

古代鉄歌謡館
TEL (0854)43-6568



2月

うんなん元気っ子

わくわく教室

2月28(日) 13時30分~15時

車椅子バスケットに挑戦!

会場: B&G海洋センター 申込: **要申込** (締切23日)

参加費: 300円(保険料として) 定員: 20名

~問い合わせ~



雲南市加茂B&G海洋センター

TEL (0854)49-7100



3月

うんなん元気っ子

わくわく教室

3月27(土) 10:00~12:00

スポンジテニス教室

会場: 大東体育館 ※申込不要

初めてでも大丈夫!!上履きを持ってきてね。

~問い合わせ~



大東公園市民体育館

TEL (0854)43-5511



5 . 教室参加者数・ボランティアスタッフ数

教室参加者数・ボランティアスタッフ数

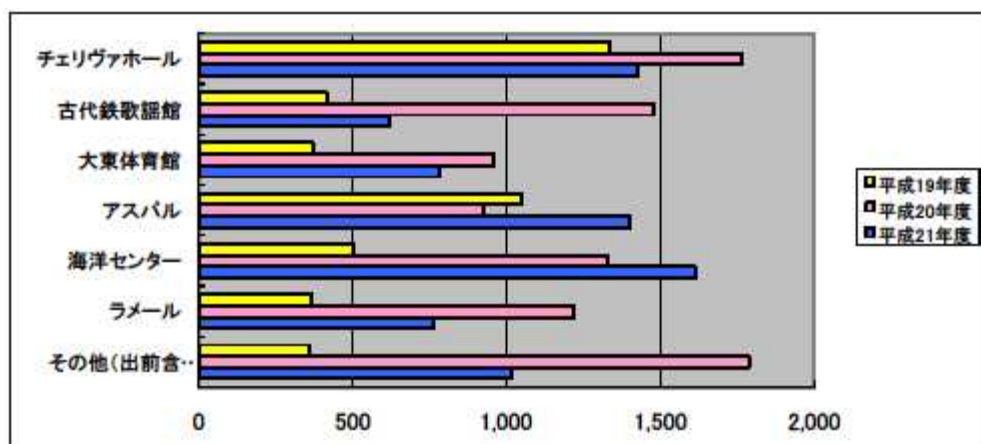
各施設別参加人数

(平成21年6月12日～平成22年3月20日)

| 施設名 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|-----------|-----|-------|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| チェリヴァホール | 78 | 331 | 17 | 351 | 224 | 26 | 289 | 58 | 30 | 21 | 1,425 |
| 古代鉄歌謡館 | 105 | 86 | 33 | 30 | 32 | 10 | 188 | 42 | 28 | 67 | 621 |
| 大東体育館 | 113 | 157 | 65 | 70 | 52 | 72 | 64 | 61 | 63 | 63 | 780 |
| アスバル | 185 | 201 | 76 | 108 | 153 | 69 | 48 | 138 | 366 | 59 | 1,403 |
| 海洋センター | 73 | 423 | 827 | 6 | 49 | 40 | 15 | 42 | 49 | 89 | 1,613 |
| ラメール | 50 | 82 | 62 | 46 | 40 | 27 | 94 | 26 | 148 | 190 | 765 |
| その他(出前含む) | 0 | 0 | 302 | 128 | 96 | 191 | 105 | 6 | 0 | 187 | 1,015 |
| 合計 | 604 | 1,280 | 1,382 | 739 | 646 | 435 | 803 | 373 | 684 | 676 | 7,622 |

施設別参加人数比較

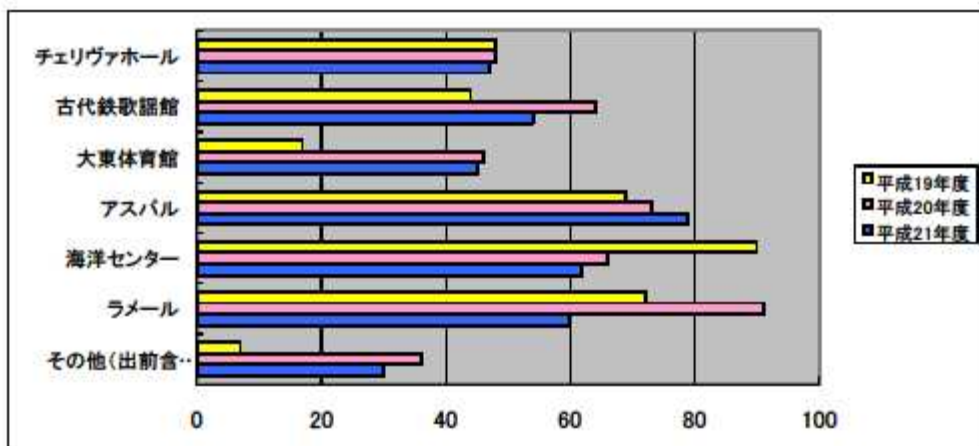
| 施設名 | 平成21年度 | 平成20年度 | 平成19年度 |
|-----------|--------|--------|--------|
| チェリヴァホール | 1,425 | 1,764 | 1,334 |
| 古代鉄歌謡館 | 621 | 1,476 | 417 |
| 大東体育館 | 780 | 959 | 369 |
| アスバル | 1,403 | 927 | 1,048 |
| 海洋センター | 1,613 | 1,330 | 503 |
| ラメール | 765 | 1,221 | 367 |
| その他(出前含む) | 1,015 | 1,788 | 362 |
| 合計 | 7,622 | 9,465 | 4,400 |



※新型インフルエンザの関係で豊南市内の小中学校が学校、学級閉鎖となり、参加人数、スタッフ参加人数の減少の大きな原因となった

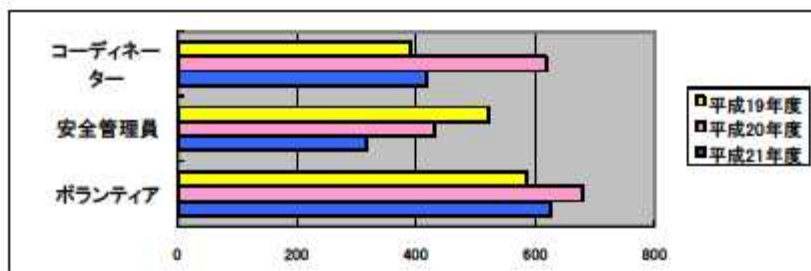
施設別教室数比較

| 施設名 | 平成21年度 | 平成20年度 | 平成19年度 |
|-----------|--------|--------|--------|
| チェリヴァホール | 47 | 48 | 48 |
| 古代鉄歌謡館 | 54 | 64 | 44 |
| 大東体育館 | 45 | 46 | 17 |
| アスバル | 80 | 73 | 69 |
| 海洋センター | 62 | 66 | 90 |
| ラメール | 60 | 91 | 72 |
| その他（出前含む） | 30 | 36 | 7 |
| 合計 | 378 | 424 | 347 |



スタッフ参加人数比較

| 施設名 | 平成21年度 | 平成20年度 | 平成19年度 |
|----------|--------|--------|--------|
| コーディネーター | 417 | 618 | 391 |
| 安全管理員 | 317 | 432 | 521 |
| ボランティア | 627 | 680 | 585 |
| 合計 | 1,361 | 1,730 | 1,497 |



■ 6. 事業の成果・効果の検証

6-1 児童・保護者・教職員へのアンケート

- ① アンケート内容
- ② アンケート結果

6-2 モニター

- ① モニターに対するアンケート

6-3 総合的な放課後子どもプラン推進シンポジウム

- ① 開催要項
- ② 案内文書、配布資料
- ③ 講義 「放課後子ども教室の現状と課題」
文部科学省生涯学習政策局 生涯学習推進課専門官 竹田 和彦氏
(※巻末CD掲載)
- ④ 基調講演 「子どもの変化に対応した放課後改革はどうすればよいか」
千葉大学教育学部 明石 要一 氏
(※巻末CD掲載)
- ⑤ 事例発表1 「地域の特色を生かした放課後子ども教室」
日登りっ子のびのび教室 代表 細木令子 氏
(※巻末CD掲載)
- ⑥ 事例発表2 「文化体育施設における放課後子ども教室の展望」
株式会社キラキラ雲南 事務局長 毛利智史 氏
- ⑦ パネルディスカッション要旨
(※巻末CD掲載)

6-1 アンケート

①アンケート内容

このアンケートは、「うんなん元気っ子わくわく教室」をもっと楽しいものにするために、みなさんのようすや気持ちを聞くものです。テストではありませんから、分からないときは、大人の人に聞いて全員が書いてください。

☆ 1・2・3年生は、おうちの人といっしょにアンケートをしてください。

1月8日(金)までに担任の先生に出してください。

雲南市文化体育施設利用放課後子ども教室

うんなん元気っ子わくわく教室 アンケート

小学校 年(男・女)

問1 あなたは、「うんなん元気っ子わくわく教室」にこれまで何回参加しましたか？

- ア 1回～5回
- イ 6回以上
- ウ 10回以上
- エ 0回

問2 問2でア～ウを選んだ人は参加した教室を選んだ理由を下の甲から選んで○をつけて下さい。オを選んだ人は参加できない理由を教えてください。

※2つ以上えらんでもいいです。

- | | |
|----------------|-------------------|
| ア 内容が楽しそうだったから | オ 親子で参加できるから |
| イ 会場が家から近いから | カ 勉強になりそうな内容だから |
| ウ 友達にさそわれたから | キ 雲南市のいろんな所にいけるから |
| エ 新しい友達ができるから | ク その他() |

問3 「うんなん元気っ子わくわく教室」でやった特別教室に参加したことがありますか？

- ア ある
- イ ない

問4 問3で【ある】をえらんだひとは、これからも参加したいと思いませんか？

【はい】をえらんだひとは、どのような教室だったら参加したいと思いませんか？

- ア はい
- イ いいえ

【うらがわもあります】

問5 会場にはどのようにして行きましたか？

(2つ以上えらんでもいいです。)

- | | | | |
|---|----------|---|-------------------|
| ア | 歩いて | オ | 市営(しえい)バスで |
| イ | 自転車で | カ | 夏休みにキョロバスを使い市営バスで |
| ウ | 家族の自動車で | キ | そのほか() |
| エ | 友達の家族の車で | | |

問6 あなたにとって「うんなん元気っ子わくわく教室」は、どのような教室であってほしいですか？

(2つ以上えらんでもいいです。)

- | | |
|---|----------------------------|
| ア | 友だちと一緒に楽しく遊べる教室 |
| イ | 学校ではできない、いろいろなことが体験できる教室 |
| ウ | 自分の好きなことや得意なことを、上達させるための教室 |
| エ | はじめての発見や、いろんなことを教えてくれる教室 |
| オ | ちがう学校の友だちや大人の人と一緒に活動できる教室 |
| カ | 休みの日に友だちや家族の人たちと一緒に活動できる教室 |
| キ | そのほか() |

問7 「うんなん元気っ子わくわく教室」でどんなことをしてみたいですか？

(2つ以上えらんでもいいです。)

- | | |
|---|--------------------------------|
| ア | いろいろなスポーツをやってみたい |
| イ | いろいろな楽器を演奏(えんそう)してみたい |
| ウ | 工作や実験をしてみたい |
| エ | 雲南市のいろんなところに行ってみたい |
| オ | いろいろな映画(えいが)や人形劇(にんぎょうげき)をみたい |
| カ | 料理やおかし作りをしてみたい |
| キ | 太鼓(たいこ)や神楽(かぐら)をしてみたい |
| ク | 文化ホールのステージで歌ったり、おどったりしてみたい |
| ケ | そのほか、やってみたいことや感想があれば自由にかいてください |

問8 「うんなん元気っ子わくわく教室」のほかに、平日に学校や公民館こうみんかんで開かれている放課後子ども教室や児童クラブじどうくわぶに参加していますか？

- | | |
|---|---------|
| ア | 参加している |
| イ | 参加していない |

ありがとうございました。これからも「うんなん元気っ子わくわく教室」に参加して下さい。

(お問合せ先)

雲南市文化体育施設利用放課後子ども教室実行委員会〔雲南市加茂文化ホール内〕
TEL: 0854-49-8500 FAX: 0854-49-6200 E-mail: houkago_lamer@yahoo.co.jp

保護者の皆さまへ

このアンケートは、今後のよりよい放課後子ども教室の実施に向けて、皆様の意見を反映させるものです。お手数をおかけしますが、**必ずご記入いただき、児童用のアンケートと一緒に1月8日（金）までに児童さんを通じて学校へ届けてくださいますようご協力をお願いします。**

**雲南市文化体育施設利用放課後子ども教室
うんなん元気っ子わくわく教室 アンケート 【保護者用】**

学校名

問1 「うんなん元気っ子わくわく教室」に参加したことはありますか？

- ア 子どもが参加した
- イ 親子で参加した
- ウ 参加したことがない

問2 「うんなん元気っ子わくわく教室」は、子どもたちの健全な育成を支援していく上でどのようなところが有効だと思いますか？（複数回答可）

- ア 設備の整った本格的な施設で遊んだり、学んだりできる
- イ 子どもたちが異年齢の友だちと遊んだり、学んだりできる
- ウ 子どもたちが地域の大人との関わりを持ちながら活動できる
- エ 専門的な指導者による質の高いプログラムが提供できる
- オ 地域の大人同士が関わりを持てる
- カ 有効だとは思わない
- キ その他

問3 「うんなん元気っ子わくわく教室」の開設により、子どもたちにどのような変化を感じましたか？（複数回答可）

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| ア 市内の文化・体育施設に通う機会が増えた | キ 相手を思いやるやさしい気持ちを持てた |
| イ 屋外で遊ぶ子どもが増えた | ク 礼儀正しくなり、よくあいさつできる |
| ウ 市内の他の小学校に友達ができた | ケ 異年齢の交流が盛んになった |
| エ 市内の施設や歴史に興味をもった | コ 自分からきちんと後片付けをする |
| オ 発想が豊かになった | サ 特に変わっていない |
| カ 集中力がついた、我慢強くなった | シ その他（具体的に） |

【裏面もあります】

問4 これからの「うんなん元気っ子わくわく教室」に期待することとは何ですか？
(複数回答可)

- ア 平日の放課後子ども教室や児童クラブとの連携を深め地域で子どもを育てる体制づくり
- イ 学校や地域コーディネーターと連携・協力しながら内容の充実した教室の開催
- ウ 体験活動から地域の魅力を再発見できる、「生きる力」を育てる教室の開催
- エ スポ少や部活動で週末忙しい子どもたちも参加できる内容や時間帯の教室
- オ 掛合地区、吉田地区を始めとした市内全域への出前教室の展開
- カ 特にない
- キ その他 (具体的に)

問5 「うんなん元気っ子わくわく教室」を通して、子ども達に経験させてやりたい事がありましたらご記入ください。

問6 「うんなん元気っ子わくわく教室」に関して、意見や要望がありましたらお書きください。

ご協力ありがとうございました。

(お問合せ先)
雲南市文化体育施設利用放課後子ども教室実行委員会
(雲南市加茂文化ホール内)
TEL : 0854-49-8500 FAX : 0854-49-6200
E-mail : houkago_lamer@yahoo.co.jp

問5 これからの「うんなん元気っ子わくわく教室」に期待することとは何ですか？
(複数回答可)

- ア 平日の放課後子ども教室や児童クラブとの連携を深め地域で子どもを育てる体制づくり
- イ 学校や地域コーディネーターと連携・協力しながら内容の充実した教室の開催
- ウ 体験活動から地域の魅力を再発見できる、「生きる力」を育てる教室の開催
- エ スポ少や塾で週末忙しいの子どもたちも参加できる内容や時間帯の教室
- オ 掛合地区、吉田地区を始めとした市内全域への出前教室の展開
- カ 特にない
- キ その他 (具体的に)

問6 「うんなん元気っ子わくわく教室」に関して、意見や要望がありましたらお書きください。
(実施を希望する活動や教室についてもご記入ください)

ご協力ありがとうございました。

(お問合せ先)
雲南市文化体育施設利用放課後子ども教室実行委員会
(雲南市加茂文化ホール内)
TEL : 0854-49-8500 FAX : 0854-49-6200
E-mail : houkago_lamer@yahoo.co.jp

②アンケート結果

調査の目的

平成19年度から平成21年度に向けて3年間で実施した「放課後対策推進のための調査研究事業」の取り組みを検証するため、事業評価の一環として市内小学校・保護者・教職員・市内中学校教職員を対象にアンケート調査を実施した。このアンケート調査は、参加者の実態、ニーズ、期待などの具体的な意識やデータを収集することを目的としている。

調査の方法

アンケート調査の実施にあたっては、雲南市内各中学校に配置された雲南市教育局教育支援コーディネーターに協力を依頼した。教育支援コーディネーターが各小・中学校へ訪問し、アンケート調査の説明及びアンケート用紙の配布・回収を行った。

調査内容

児童へのアンケート

- ①休日の過ごし方
- ②参加状況
- ③教室を選んだ理由
- ④教室への要望
- ⑤教室への希望

保護者へのアンケート

- ①教室参加の有無
- ②教室の有効性
- ③子どもたちの変化
- ④教室への期待
- ⑤教室への要望

教職員へのアンケート

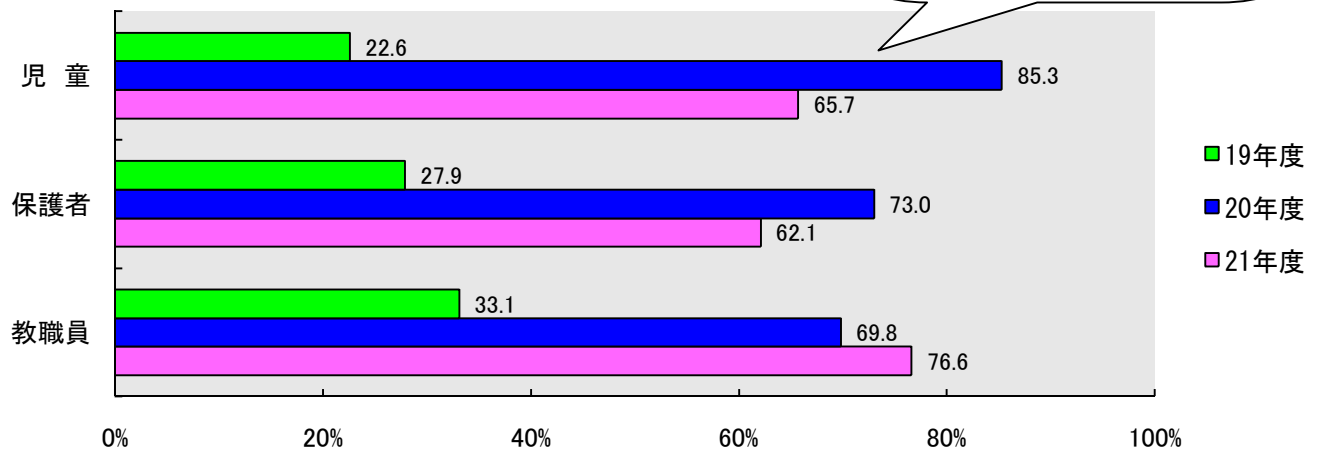
- ①教室の有効性
- ②周知方法
- ③教室の認知手段
- ④教室への期待
- ⑤教室への要望

調査結果

<回収率>

【21年度アンケート配布数】

児童 2,241枚
保護者 2,241枚
教職員 257枚

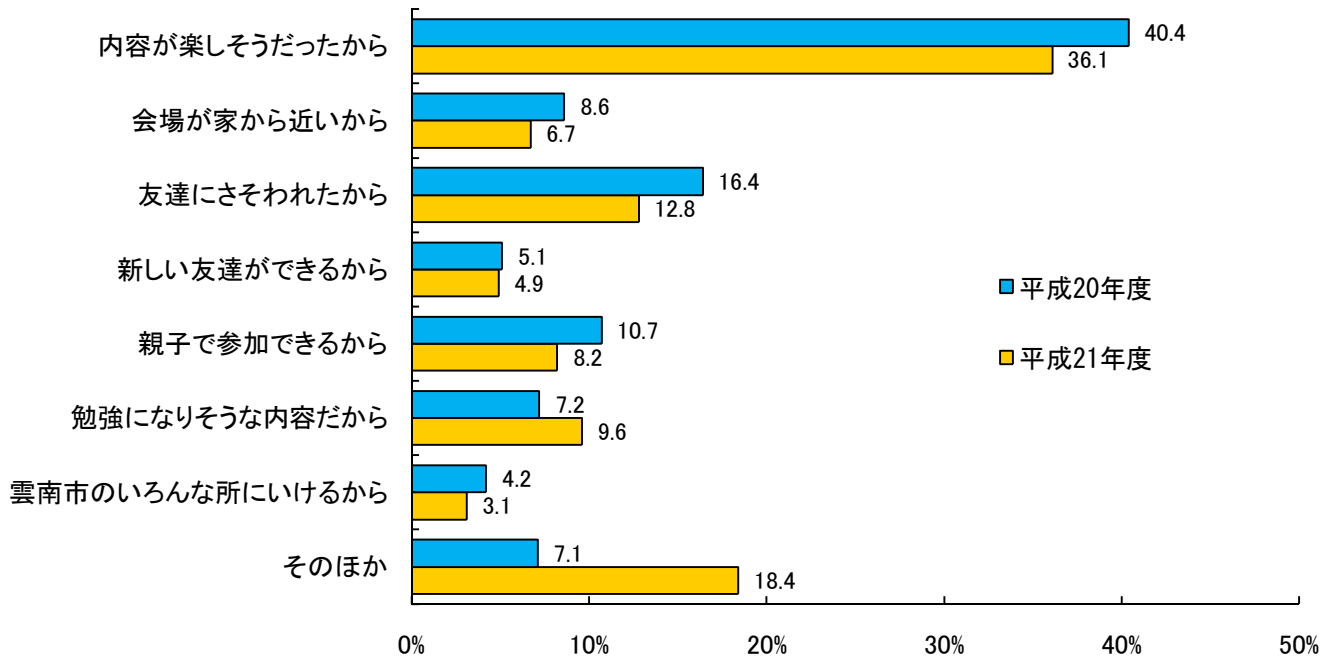


※アンケート回収率3カ年比較（19年度から21年度まで）

| 回収率 | | (19年度) | → | (20年度) | → | (21年度) |
|-----|-------|--------|---|--------|---|--------|
| 児童 | 22.6% | 22.6% | → | 85.3% | → | 65.7% |
| 保護者 | 27.9% | 27.9% | → | 73.0% | → | 62.1% |
| 教職員 | 33.1% | 33.1% | → | 69.8% | → | 76.6% |

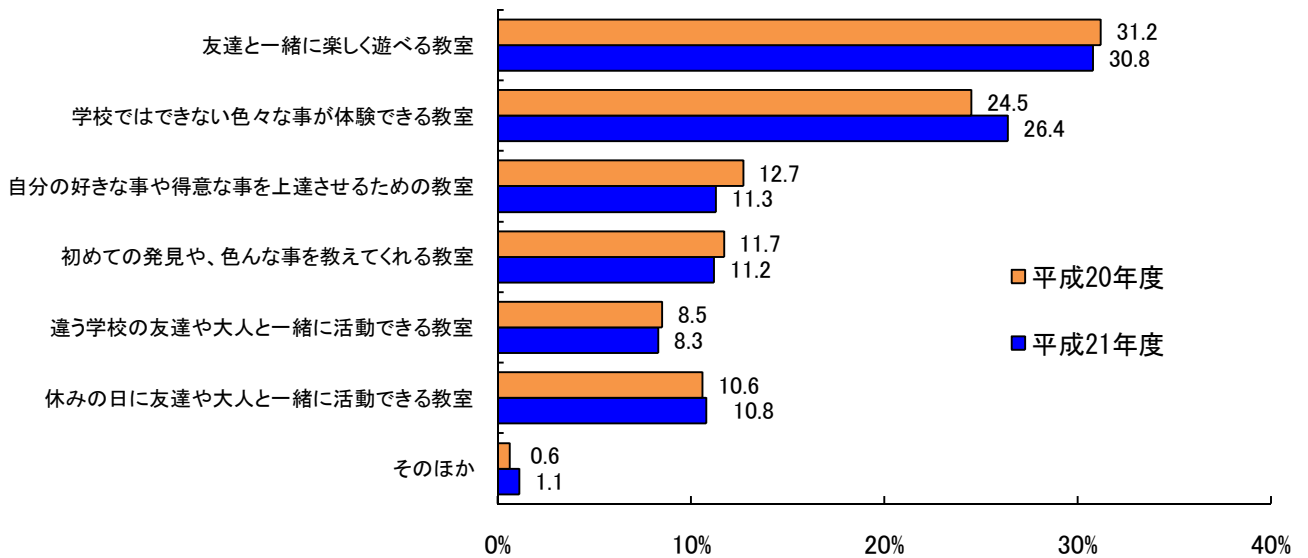
回収率を比較すると高い回収率を保っていることが分かる。これは配布プログラムなど、関係者への周知・広報に力を入れて取り組んできて、結果が認知度の上昇となり高い回収率につながっているということが分かる。

①児童アンケート 参加した教室を選んだ理由は何ですか?(複数回答可)



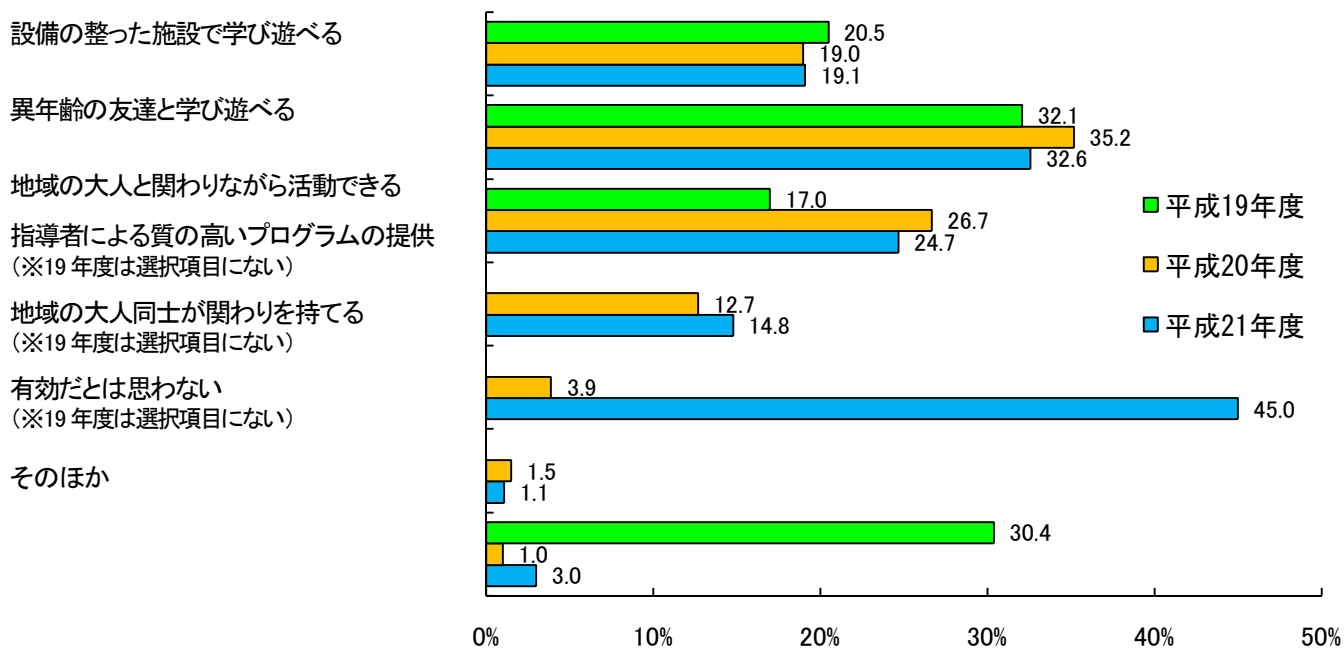
毎月のプログラム内容を見たり、参加したことのある友達から誘われて興味を持ち参加をしていることが分かる。また、「自然の中でキャンプや食事作りなどやりたかったので、野外体験教室に参加した。」といった、興味のあることに意欲的に挑戦しようという子どもたちが増えてきたことが分かる。今後も更なる質の高いプログラム内容の提供をしていかなければならない。

②児童アンケート あなたにとってどのような教室であってほしいですか?(複数回答可)



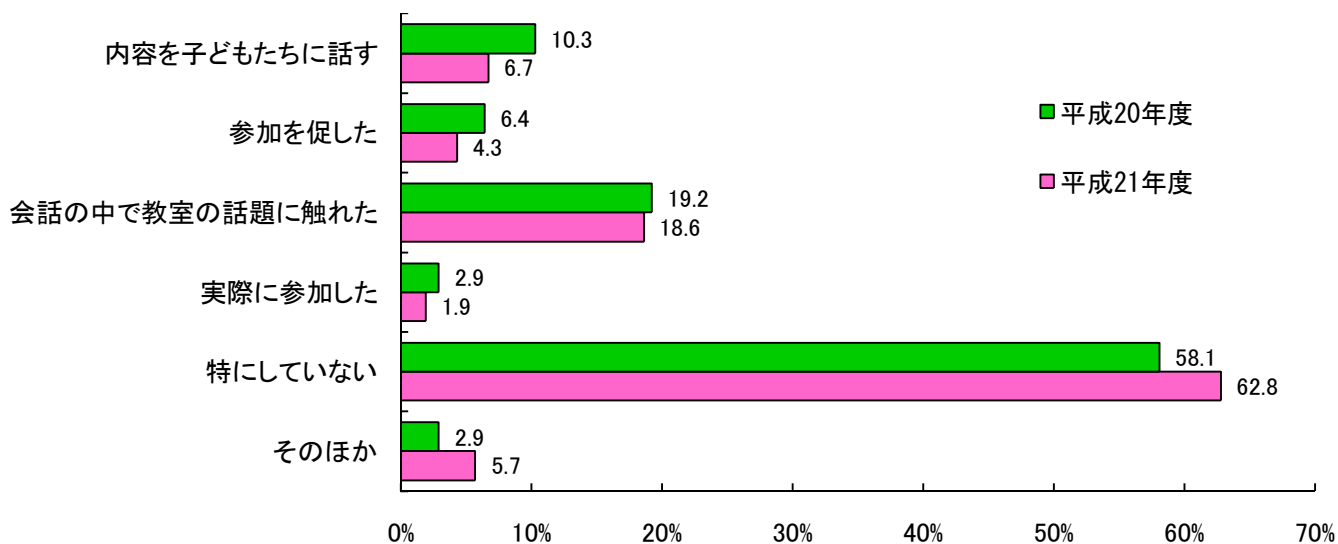
1人で遊ぶよりも友達や家族と一緒に活動したい子どもが多いことが分かる。また、「親子お料理教室」や「アスリート本物体験教室」をはじめとした、より専門的に学べる教室など、学校や家庭では体験できない活動を希望している子どもが増えていることが分かる。

③保護者アンケート(3カ年比較) 子どもたちの健全な育成を支援していく上で、どのようなところが有効だと思いますか?(複数回答可)



今年度は過半数の方が事業に対する有効性を感じていることが分かる。また異年齢の友達や地域の大人の人と教室を通して関わることによって、子どもだけでなく保護者の方にとっても、交流の場としての役割を果たすことが期待されている。

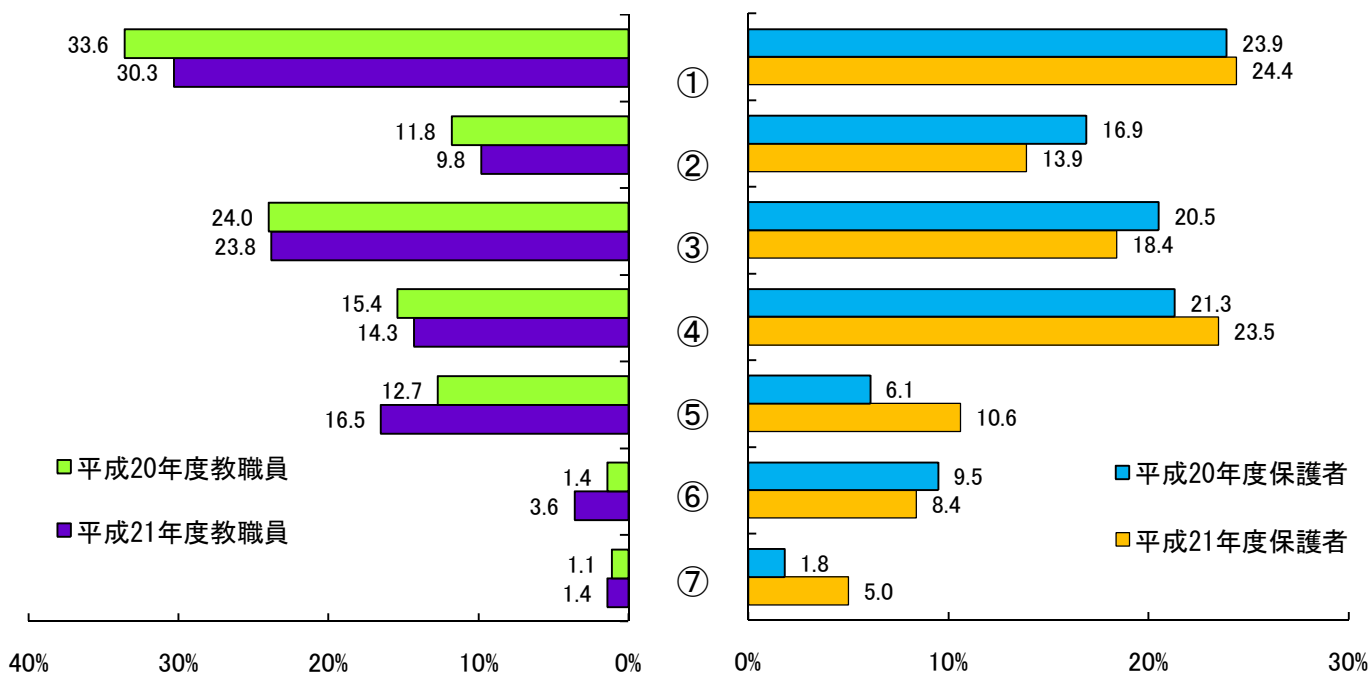
④教職員アンケート「うんなん元気っ子わくわく教室」について、子どもたちとどのようなコミュニケーションをしていますか?(複数回答可)



昨年度と同様に、教室に対する認知度は年々高まってきてはいるが、学校の行事や地域の活動が多いために、「わくわく教室」の話題だけを取り上げるのは難しいという意見がある。来年度は学校・教職員との連携を深めるほか、各報道機関と協力し雲南市全域へ向けて事業のPRをしていく必要がある。

⑤保護者・教職員アンケート「うんなん元気っ子わくわく教室」に期待することは何ですか?(複数回答可)

- ①平日の放課後子ども教室や児童クラブとの連携を深め地域で子どもを育てる体制作り
- ②学校や地域コーディネーターと連携・協力しながら内容の充実した教室の開催
- ③体験活動から地域の魅力を再発見できる「生きる力」を育てる教室の開催
- ④スポ少や塾・部活動で週末忙しい子どもたちも 参加できる内容や時間帯の教室の開催
- ⑤掛合地区、吉田地区を始めとした市内全域への出前教室の展開
- ⑥特にない
- ⑦その他



～保護者～

- 他の学校や学年と交流できる教室や親子で参加できる教室を行ってほしい。
- 学校や地域行事と連携してほしい。(参観日、下校が遅い日、代休校日など。)
- 出前教室や出張教室、特に掛合地区・吉田地区への教室を増やしてほしい。
- 参加しやすい環境づくり。(会場までの送迎方法等)

～小学校教職員～

- 学校の活動との連携を図る。(教室の紹介や広報に関わる協力、わくわく教室のスタッフが生活科総合等の学習の時間に指導する。)
- 学校での学習内容についてさらに興味を持った子が、それを追求できるような体験の提示。
- スポ少や学校体育の種目を一流のコーチに指導してもらおうと思う。

⑥「うんなん元気っ子わくわく教室」への意見や要望について～記述式～

～小学校保護者～

- 教室の活動状況や様子、教室後の感想を知りたい。
- 障害をもっている子ども達の参加、交流ができる教室を行ってほしい。
- 子どもたちのためにも地域の方をはじめとした、たくさんのボランティアスタッフを確保してほしい。
- 人気のプログラム等、人数制限のあるものの回数を増やす等してほしい。
- 参加したくても参加できない子もいるので、日程や時間の変更時や対応を考えてほしい。
- 夏休みだけでなく、土日のわくわく教室にも使えるキョロパスを作してほしい。
- 生きる力、我慢する力、協力する力を身につけることができ、最後までやりぬいた達成感を感じることができる教室を開催してほしい。
- 雲南市内の子どもたちに参加手帳を渡して、色々な教室に参加するたびにスタンプを押して何か特典がある仕組みを作ってみたら面白いと思う。

～小学校教職員～

- 英会話教室、親子でダイエット体操、科学教室、山登り、料理教室の開催を増やしてほしい。
- 社会教育の主体的発展を考えて実施してほしい。
- スポ少など、団体でも参加できる活動を行ってほしい。
- 地域の素材・特色を生かした教室や、古くから伝わる伝統文化を子どもたちに教えるような、地域の方と子どもたちが密着して活動できる教室を開催してほしい。
- アンケート時期が、他アンケートと時期が重なったため、調査時期について再考が必要。
(特に教委間との連携を強化してほしい。)
- 児童・生徒数の減少、担当者の負担軽減のため、小学校部活動・スポ少・中学校部活動を統合吸収することを視野に入れる事。

6-2 モニター

①モニターに対するアンケート

調査の目的

チェリヴァホール、アスパル、ラメール、大東体育館、古代鉄歌謡館、海洋センターの6つの文化体育施設の中から、わくわく教室に積極的に参加している子どもの保護者、または地域支援コーディネーターの中からモニターを選び、日頃の教室運営についての意見を提言して頂くと合わせて、アンケート調査を行なった。

このアンケート調査は、講師やボランティアスタッフとは違う参加者側からの意見を取り入れ、プログラムに生かすことを目的としている。

調査結果

モニター数 6名
回答数 6名
アンケート実施回数 1回

①プログラム数についてお尋ねします。(複数回答不可)

| ①多すぎる | ②やや多い | ③ちょうどよい | ④やや少ない | ⑤少なすぎる |
|-------|-------|---------|--------|--------|
| 0 | 1 | 4 | 1 | 0 |

②子どもたちが前向きに取り組めるプログラムが展開されていると思いますか (複数回答不可)

| ①強く思う | ②思う | ③あまり思わない | ④全く思わない |
|-------|-----|----------|---------|
| 1 | 5 | 0 | 0 |

③モニターの視点から魅力のあるプログラムが展開されていると思いますか(複数回答不可)

| ①強く思う | ②思う | ③あまり思わない | ④全く思わない |
|-------|-----|----------|---------|
| 1 | 5 | 0 | 0 |

④今後どのような内容のプログラムを期待しますか？(複数回答可)

| | |
|-----------------------|---|
| ①学校では習わない専門性の高いプログラム | 4 |
| ②郷土愛を深めるプログラム | 1 |
| ③異年齢の子どもたちと交流できるプログラム | 3 |
| ④達成感を味わえるプログラム | 6 |
| ⑤その他 | 0 |

⑤今後取り組んでももらいたい「具体的なプログラム」があれば教えてください(記述式)

- ・ 農家合宿体験
- ・ 環境活動サークル
- ・ 実験をする教室、サイエンスショー
- ・ 地域の食材を使った料理教室（豆腐作り、そば打ち、うどん打ち）
- ・ 竹林で遊ぶ（たけのこ堀、竹筒炊飯、プランター作り、いかだ作り、ろうそく立て、門松作り）
- ・ カヌー教室
- ・ 七夕祭り用ちょうちん作り（大東老人会と協力）
- ・ アナウンサー体験
- ・ 座禅体験
- ・ 護身術
- ・ 自分で収穫したものを食べられるプログラム
- ・ 対人関係に関するスキルアップ講座

⑥この子ども教室による効果・成果について、感じられたことをお聞かせください
(記述式)

- ・ 何事にも積極的になった
- ・ 地域の方や大人との触れ合いにより、「自己中心的な考え」ではだめであることを自覚してきた
- ・ 相手を思いやる心が育った
- ・ モノ作りに興味を持つようになった
- ・ 何にでも挑戦するようになった
- ・ 自信を持てるようになった

⑦具体的にどのような効果・成果があったか、具体例があれば教えてください(記述式)

- ・ 人前での発表ができるようになった
- ・ 「お菓子作り」に参加したことにより、家でも料理の手伝いをするようになった
- ・ 「車椅子バスケット」に参加したことにより、体が不自由な人のテレビ番組を真剣に観るようになった
- ・ バスを利用するなど行動力がついた
- ・ 化石発掘ツアーに参加して、化石について興味を持つようになった
- ・ 自分で材料を用意し、工夫してオリジナルのおもちゃを作るようになった
- ・ 異年齢、他校に友達ができた
- ・ 演劇や音楽にも興味を示すようになった
- ・ テレビやゲームをしなくなった

⑧今後子ども教室をより良い事業にするために、どんなことに取り組めば良いと思いますか？（記述式）

- ・ スポ少との連携
- ・ 地域のボランティアスタッフの確保
- ・ より理解を深めてもらえるような宣伝等の声かけ
- ・ 参加した子どもたちに、その都度簡単なアンケートを書いてもらい、改善していく
- ・ 弁当を持参させる6時間程度の長時間の教室の実施（充実感や達成感を感じてもらうため）
- ・ 中高学年が参加しやすい17時以降の教室の実施（平日の放課後の教室の場合）
- ・ あいさつをきちんとできるような指導

調査結果による分析・考察

設問の②や③から、今年度は、子どもたちが前向きに取り組むことができ、魅力のあるプログラムが展開できたということが分かる。また、今後の展開として、学校では習わない専門性の高いプログラムや達成感を味わえるプログラムが期待されている。具体的には、農家合宿体験やアナウンサー体験などの日常では味わえない体験、目的や充実感、やりがいを持てる教室が求められていることが分かる。

子ども教室を通して、参加した子ども達が、いろいろなことに興味を持ち、積極的になり自信がついたなどのプラスになる成果があったことが分かる。

今後の課題として、スポ少との連携や地域ボランティアスタッフの確保などがある。これらを踏まえながら、すべての子ども達が参加できる「雲南モデル」を目指して今後、プログラムを展開していきたい。

6-3 総合的な放課後子どもプラン推進シンポジウム

※③～⑤は巻末CDに入っています

①開催要項

総合的な放課後子どもプラン推進シンポジウム開催要項

テーマ 「～“雲南モデル”放課後子ども教室の実現と発展～」

1. 概要・目的

子どもを取巻く急速な環境変化の中で、特に家庭や地域の教育力の低下が指摘されています。一方、子どもたちが安全で安心して過ごせる放課後の活動場所の確保が課題とされ、地域の教育力の再生を求める声が高まっています。

これを踏まえて、文部科学省と厚生労働省が連携の下、地方公共団体が事業主体となって、総合的な放課後対策として「放課後子どもプラン推進事業」をスタートさせ、全国一斉に展開することとなりました。

当雲南市においては、行政を主体に「雲南市放課後子どもプラン」を開設し、子どもたちが健やかに育つ環境づくりを家庭・学校・地域が一体となって進めています。

また、平成19年度から文部科学省の調査・研究モデル事業としてスタートした「雲南市文化体育施設利用放課後子ども教室“うんなん元気っ子わくわく教室”」は、休日を利用した放課後子ども教室として活動しています。

こうした中で、〔平日型〕放課後子ども教室と〔休日型〕放課後子ども教室の取り組んできた事業の事例を検証しながら、成果と課題について考え、今後の放課後子ども教室の展望と方向性を探ってみる目的で、シンポジウムを開催するものです。

2. 内容

(1) 講義・・・30分

演題 「放課後子ども教室の現状と課題」

講師 竹田和彦氏（文部科学省生涯学習政策局 生涯学習推進課 専門官）

(2) 基調講演・・・90分

演題 「子どもの変化に対応した放課後改革はどうすればよいか」

講師 明石要一氏（千葉大学教育学部教授）

講師プロフィール

明石 要一 氏（千葉大学教育学部教授）

1948年大分県生まれ。奈良教育大学教育学部、東京教育大学大学院教育学研究科博士課程。千葉大学教育学部助手、助教授、教授、教育学部長などを経て、現在千葉大学教育学部教授、千葉大学副理事。公職：文部科学省中央教育審議会生涯学習分科会臨時委員、文部科学省中央教育審議会スポーツ青少年分科会臨時委員、NHK関東甲信越番組審議会委員、千葉県社会教育委員会副委員長、千葉市学校教育計画推進懇話会会長など。著書：『子どもウォッチングの技術』（明治図書）、『教師発：保護者・親への禁句集』明治図書、『新地域社会学校論』（ぎょうせい）他多数。

(3) 事例発表・・・60分

事例①「地域の特色を生かした放課後子ども教室」

発表者 日登っ子のびのび教室 代表 細木令子氏

事例②「文化体育施設における放課後子ども教室の取組」

発表者 雲南市文化体育施設利用放課後子ども教室実行委員会 毛利智史氏

(4) パネルディスカッション・・・90分

テーマ 「(仮)“雲南モデル”の放課後子ども教室の展望」

パネラー 竹田和彦 氏 (文部科学省生涯学習政策局 生涯学習推進課 専門官)

井上孝弘 氏 (鳥根県教育庁生涯学習課 社会教育主事)

広中郁美 氏 (鳥根県教育庁益田教育事務所 社会教育スタッフリーダー)

アドバイザー 明石要一 氏 (千葉大学教育学部 教授)

コーディネーター 土江博昭 氏 (雲南市教育委員会 教育長)

3. 開催期日・会場

日時 : 平成22年1月24日(日)

午前9:00～受付 午前9:30～開会

【日程】

9:00 9:30 9:45 10:15 10:20 11:50 13:10 14:10 14:20 15:50 16:00

| | | | | | | | | | |
|----|----------|----|----|------|----------|------|----|-------------|----------|
| 受付 | 開会 行事 | 講義 | 休憩 | 基調講演 | 昼食 休憩 | 事例発表 | 休憩 | パネルディスカッション | 閉会 行事 |
|----|----------|----|----|------|----------|------|----|-------------|----------|

会場 : 木次経済文化会館チェリヴァホール 大会議室

4. 対象

各団体の運営関係者(放課後子ども教室・うんなん元気っ子わくわく教室、放課後児童クラブ)

雲南市内小・中学校教職員等・地域コーディネーター(学校支援地域本部)

安全管理員(見守りスタッフ)、PTA関係者、公民館等職員

※その他、一般の皆様のご参加もお待ちしております。

5. 入場

無料 ※申し込みが必要です。

6. 主催等

主催 雲南市教育委員会 雲南市文化施設利用放課後子ども教室実行委員会

後援 鳥根県教育委員会 雲南市校長協議会 雲南市PTA連合会

雲南市スポーツ少年団連絡協議会 ※後援については、現在申請中です。

7. お問い合わせ

〒699-1392 雲南市木次町木次 1031-1
雲南市教育委員会社会教育課(担当:板持)
TEL0854-40-1073 FAX0854-40-1029
〒699-1105 雲南市加茂町宇治 303
雲南市加茂文化ホールラメール(担当:広野)
TEL0854-49-8500 FAX0854-49-6200

②案内文書、配布資料

総合的な放課後子どもプラン推進シンポジウム

テーマ

～“雲南モデル”放課後子ども教室の実現と発展～

期日・会場

平成 22 年 1 月 24 日 (日)
9:30～16:00 <AM9:00 受付>
木次経済文化会館チェリヴァホール
(大会議室) ◇JR木次駅前

1月19日(火)から1月24日(日)まで、チェリヴァホール1階ロビーにて、うんなん元気っ子わくわく教室の活動写真や教室で制作した作品などの展示を行います。ぜひご覧になってください。お楽しみに!!!

対象

各団体の運営関係者(放課後子ども教室・うんなん元気っ子わくわく教室、放課後児童クラブ)
雲南市内小・中学校教職員等・地域コーディネーター(学校支援地域本部)
安全管理員(見守りスタッフ)、PTA関係者、公民館等職員
※その他、一般の皆様も参加お待ちしております。



申込について

◆参加は無料です。

裏面の申込欄に必要事項をご記入のうえ1月18日(月)までにお申し込みください。

目的

子どもを取巻く急速な環境変化の中で、特に家庭や地域の教育力の低下が指摘されています。一方、子どもたちが安全で安心して過ごせる放課後の活動場所の確保が課題とされ、地域の教育力の再生を求める声が高まっています。

これを踏まえて、文部科学省と厚生労働省が連携の下、地方公共団体が事業主体となって、総合的な放課後対策として「放課後子どもプラン推進事業」をスタートさせ、全国一斉に展開することとなりました。

当雲南市においては、行政を主体に「雲南市放課後子どもプラン」を開発し、子どもたちが健やかに育つ環境づくりを家庭・学校・地域が一体となって進めています。

また、平成19年度から文部科学省の調査・研究モデル事業としてスタートした「雲南市文化体育施設利用放課後子ども教室“うんなん元気っ子わくわく教室”」は、休日を利用した放課後子ども教室として活動しています。

こうした中で、(平日型)放課後子ども教室と(休日型)放課後子ども教室の取り組んできた事業の事例を検証しながら、成果と課題について考え、今後の放課後子ども教室の展開と方向性を探ってみる目的でシンポジウムを開催するものです。

講師

明石 要一 氏(千葉大学教育学部教授)

1948年大分県生まれ。奈良教育大学教育学部、東京教育大学大学院教育学研究科博士課程、千葉大学教育学部助手、助教授、教授、教育学部長などを経て、現在千葉大学教育学部教授、千葉大学副理事。公職：文部科学省中央教育審議会生涯学習分科会臨時委員、文部科学省中央教育審議会スポーツ青少年分科会臨時委員、NHK関東甲信越番組審議会委員、千葉県社会教育委員会議長、千葉市学校教育計画推進懇話会会長など。

著書：『子どもウォッチングの技術』(明治図書)、『教師発：保護者・親への禁句集』明治図書、『新地域社会学校論』(ぎょうせい)他多数。

■主催/雲南市教育委員会、雲南市文化体育施設利用放課後子ども教室実行委員会

■後援/島根県教育委員会、雲南市校長協議会、雲南市PTA連合会、雲南市スポーツ少年団連絡協議会

※後援については、現在申請中です。

日程及び内容

9:00 9:30 9:45 10:15 10:20 11:50 13:10 14:10 14:20 15:50 16:00

| | | | | | | | | | |
|----|----------|-------------|----|---------------|----------|---------------|----|--------------------------|----------|
| 受付 | 開会 行事 | 講義 (30分) | 休憩 | 基調講演 (90分) | 昼食 休憩 | 事例発表 (60分) | 休憩 | パネルディ スカッション (90分) | 閉会 行事 |
|----|----------|-------------|----|---------------|----------|---------------|----|--------------------------|----------|

- (1) 講義 講師：竹田和彦氏（文部科学省生涯学習政策局 放課後子どもプラン連携推進室 専門官）
演題：「(仮) 未来の日本をつくる 心豊かでたくましい子どもたちのために」
- (2) 基調講演 講師：明石要一氏（千葉大学教育学部教授）
演題：「(仮) 未来の大人たちのために、今できること」
- (3) 事例発表 事例① 「地域の特色を生かした放課後子ども教室」
発表者 日登っ子のびのび教室 代表 細木令子氏
事例② 「文化体育施設における放課後子ども教室の取組」
発表者 雲南市文化体育施設利用放課後子ども教室実行委員会 毛利智史氏
- (4) パネルディスカッション
テーマ 「(仮)“雲南モデル”の放課後子ども教室の展望」
パネラー 竹田和彦氏（文部科学省生涯学習政策局 放課後子どもプラン連携推進室 専門官）
井上孝弘氏（鳥根県教育庁生涯学習課 社会教育主事）
広中郁美氏（鳥根県教育庁益田教育事務所 社会教育主事）
アドバイザー 明石要一氏（千葉大学教育学部 教授）
コーディネーター 土江博昭氏（雲南市教育委員会 教育長）

FAX申込欄

総合的な放課後子どもプラン推進シンポジウム 出席申込書

〈申込締切は1月18日（月）です。必要事項をご記入のうえ雲南市教育委員会までFAX、郵送あるいは同様の内容をお電話にてお申し込みください。なお、弁当を希望される方は○印をつけてください。〉

【お問合せ・申込先】

雲南市教育委員会社会教育課（住所：〒699-1392 雲南市木次町木次 1013-1）

（FAX：0854-40-1029 TEL：0854-40-1073）

| | | | |
|---------|----|----|-------------|
| 所属名 | | | |
| 申し込み担当者 | 氏名 | 電話 | FAX |
| 参加者 | 氏名 | 役職 | 弁当（1個 500円） |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

⑥事例報告要旨

雲南市文化体育施設利用放課後子ども教室実行委員会 毛利智史氏

総合的な放課後子どもプラン推進シンポジウム テーマ「“雲南モデル”放課後子ども教室の実現と発展」

事例2

「文化・体育施設における放課後子ども教室の取組」



雲南市文化体育施設利用放課後子ども教室実行委員会

毛利智史

雲南市文化体育施設利用放課後子ども教室 『うんなん元気っ子わくわく教室』

◆文部科学省の「総合的な放課後対策推進のための調査研究」として平成19年度からスタートした。雲南市内の文化・体育施設を開放・利用し、土日祝日や夏休みなどの「休日型」放課後子ども教室を開設するものである。



平成19年度・20年度のテーマと成果

平成19年度

<テーマ> 『感育』『歩育』『健育』『徳育』による放課後子ども教室

<成果> ○既存の「平日型」に対する「休日型」の放課後子ども教室を実施

- 1,500人のボランティアスタッフによる運営で4,400人が参加
- 専門的指導者によるプログラム体験を推進
- 学校校区を超えた新しい交流の誕生

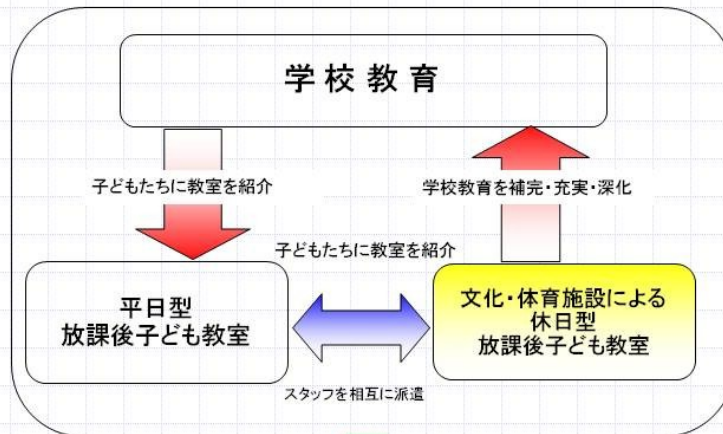
平成20年度

<テーマ> 『夢・自信』をもたせる放課後子ども教室

<成果> ○1,730人のボランティアスタッフによる運営で9,465人が参加

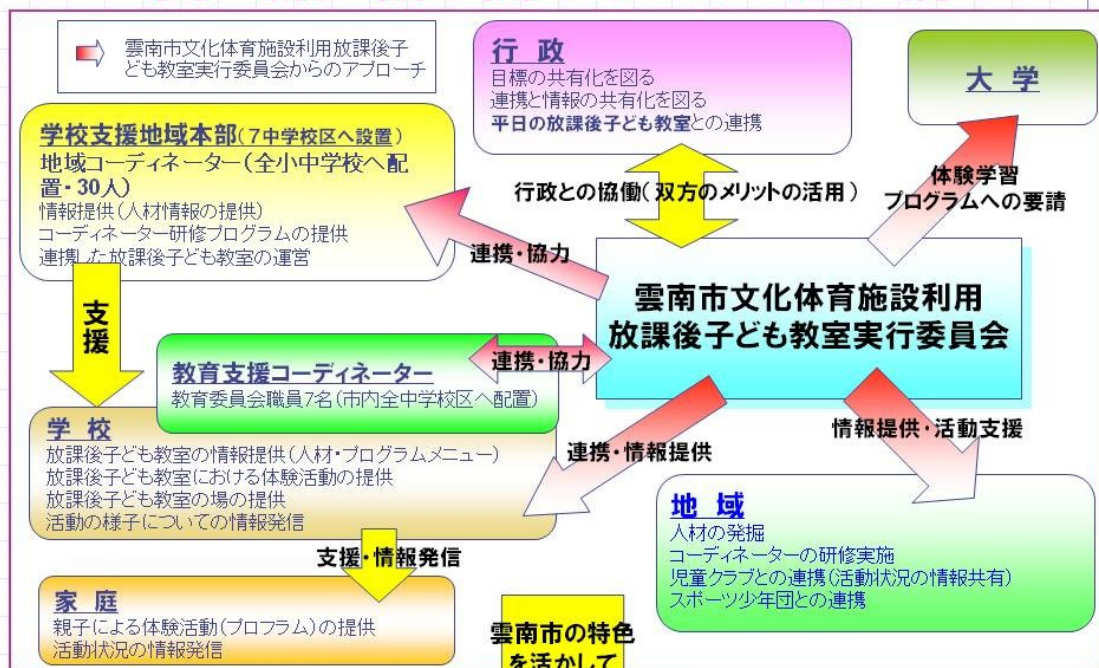
- 雲南市キャリア教育推進プログラムとプログラムメニューを共有
- 学社融合プログラムに取り組み、教室への理解と関心が高まる

平成21年度事業のテーマ
みんなで探そう 自分の未来プログラム
 ～“雲南モデル”放課後子ども教室の実現と発展～



雲南市内の全ての子ども達に参加できるようにすることで
 “雲南モデル”の確立を目指す

関係機関との連携



放課後子ども教室は雲南市内の
 「地域における総合的な学習の時間」として位置づける

平成21年度 重点プログラム

(1) 学社融合プログラム

- ・中学3年生を対象とするリーダー育成プログラムの提供
- ・中学3年生を対象とする交流型文化、スポーツ学習支援プログラム
- ・中学生を対象とする学習支援プログラム
- ・学校と連携したプログラムメニューの導入
- ・教職員の希望するプログラムの導入
- ・スポーツ少年団、部活動との協調による小学校高学年及び中学生が参加しやすいプログラムの提供

プログラム
メニューの
共有化と
情報連携

(2) 中学・高校生が企画するプログラムへの取組

- ・中学生、高校生が低学年を指導するプログラム
- ・社会貢献をテーマとするボランティアプログラムの企画

(3) 特別に支援を要する子どもたちに対するプログラム

- ・多様な体験を通じて自信を持たせるプログラム
- ・演劇、音楽劇、ジュニアジャズバンドへの参加
- ・学習支援プログラム

(4) 楽しく学ぶ<体験><実験>学習支援プログラム

- ・島根大学及び松江高等専門学校との協力、連携
- ・自然や地域資源を活かした体験プログラム
- ・親子体験プログラム
- ・アーティスト、アスリートなど本物体験プログラム

プログラム
メニューの
共有化と
情報連携

雲南市の学校教育・社会教育が融合した取組

『夢発見プログラム』

総合的な学習の時間を活用してのキャリア教育推進プログラム「ふるさと雲南」の地域資源「人・もの・こと」や伝統文化にふれ、暖かい人々との交流を通じ、将来への夢や希望、勤労観、職業観を発達段階に応じて身に付ける学習プログラム。(平成20年度から)



主に学校施設を利用した平日型放課後子ども教室

実施箇所数・・・市内全小学校区(21小学校区)

- 実施日 平日(月～金)・・・学校によって実施日を決定
- 活動内容 昔の遊び、スポーツ、宿題、読書など

① 学 社 融 合 プ ロ グ ラ ム

平和と人権を学ぶ教室



◆LOVE & PEACE
永井隆博士の平和メッセージ

◆たたら歴史

スポーツ少年団・部活動交流教室



◆わくわく三瓶へGO!!

◆島根三洋ソフトボール教室

② 中学・高校生が企画プログラムの取組

異学年交流教室



◆中学3年生によるサッカー教室

◆中学生のお兄さんにバスケットを教わろう!!

社会貢献活動プログラム



◆雲南を愛する心を感じるツアー

③ 特別に支援を要する子どもたちに対するプログラム

支援を要する子どもに対する教室



◆車椅子バスケットに挑戦



◆音楽劇を学ぼう(ピリオネア大学)

④ 楽しく学ぶ〈体験〉〈実験〉学習支援プログラム

親子体験プログラム



◆うなんスイーツの杜プロジェクト

アスリート本物体験教室

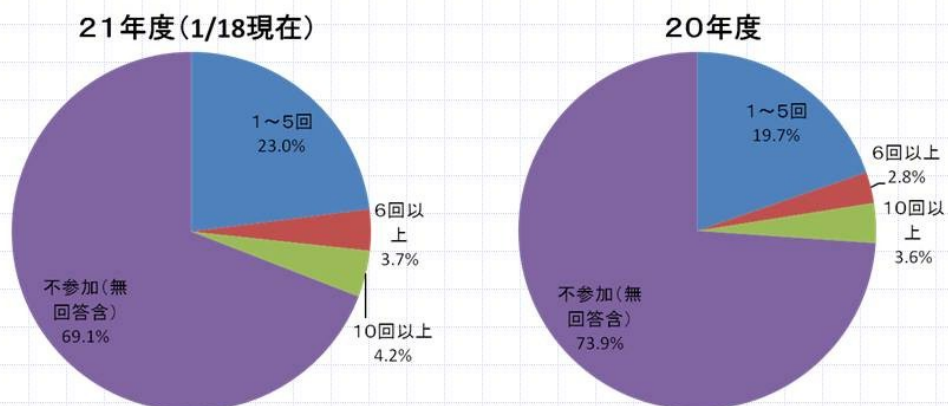


◆小村徳男氏によるサッカー教室

◆永田睦子氏によるバスケットボール教室

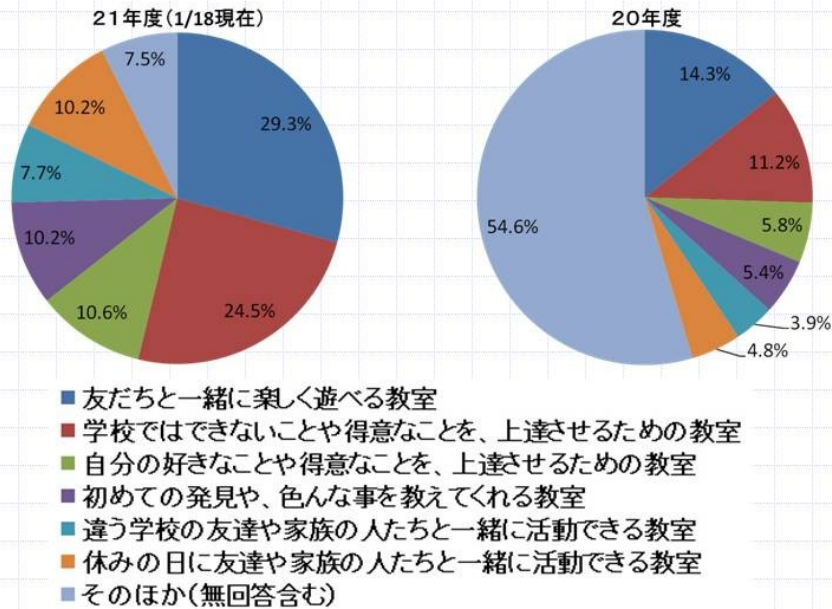
アンケート結果（雲南市内小学生）

問. あなたは、「うなん元気っ子わくわく教室」にこれまでに何回参加しましたか？



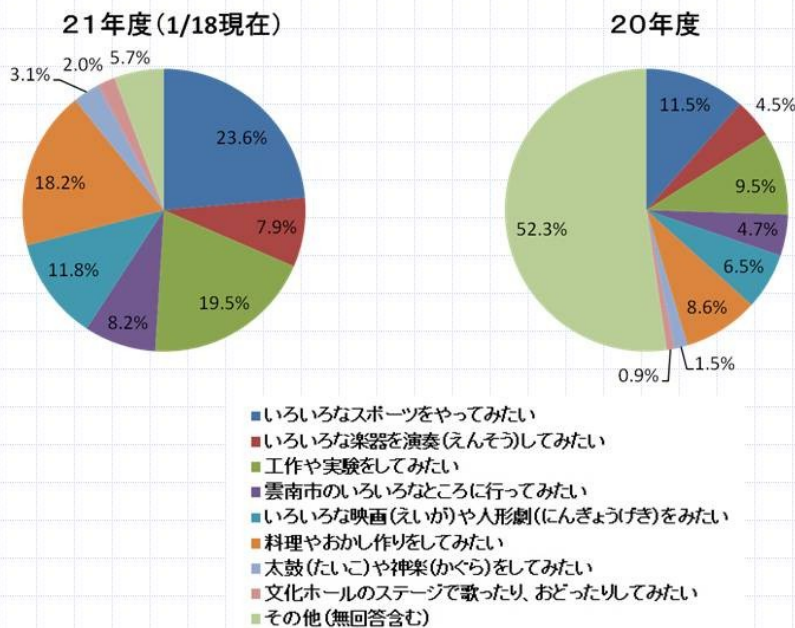
アンケート結果（雲南市内小学生）

問. あなたにとって「うんなん元気っ子わくわく教室」は、どのような教室であってほしいですか？（複数回答可）



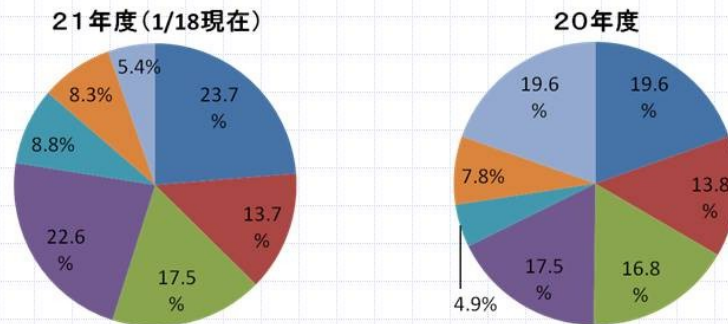
アンケート結果（雲南市内小学生）

問. 「うんなん元気っ子わくわく教室」でどんなことをしてみたいですか？（複数回答可）



アンケート結果（保護者）

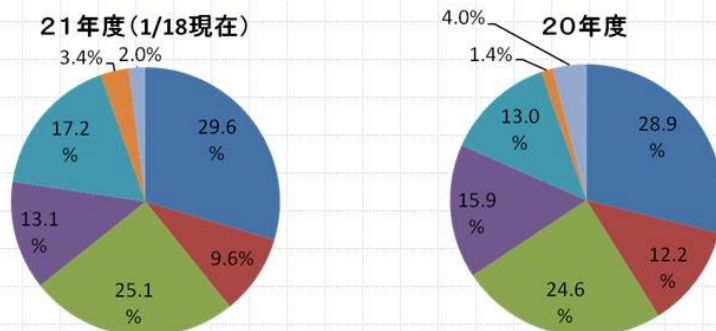
問. これからの「うなんん元気っ子わくわく教室」に期待することは何ですか？(複数回答可)



- 平日の放課後子ども教室や児童クラブとの連携を深め地域で子どもを育てる体制づくり
- 学校や地域コーディネーターと連携・協力しながら内容の充実した教室の開催
- 体験活動から地域の魅力を再発見できる、「生きる力」を育てる教室の開催
- スポ少や塾で週末忙しいの子どもたちも参加できる内容や時間帯の教室
- 掛合地区、吉田地区を始めとした市内全域への出前教室の展開
- 特になし
- その他(具体的に)※無回答含む

アンケート結果（小学校教職員）

問. これからの「うなんん元気っ子わくわく教室」に期待することは何ですか？(複数回答可)



- 平日の放課後子ども教室や児童クラブとの連携を深め地域で子どもを育てる体制づくり
- 学校や地域コーディネーターと連携・協力しながら内容の充実した教室の開催
- 体験活動から地域の魅力を再発見できる、「生きる力」を育てる教室の開催
- スポ少や塾で週末忙しいの子どもたちも参加できる内容や時間帯の教室
- 掛合地区、吉田地区を始めとした市内全域への出前教室の展開
- 特になし
- その他(具体的に)※無回答含む

まとめ「平成21年度(中途)活動成果」

- ① 高校生、中学生を含めた幅広いボランティアスタッフの協力が生まれた
- ② キャリア教育がめざすさまざまな体験活動により、子どもたちに雲南市の魅力を伝えることができた
- ③ スポ少・部活動との連携により、いつでも参加しやすいプログラムを継続して実施できるようになった
- ④ 子どもたちが人に何かを教えて、伝えることの難しさや楽しさを子どもたちが感じるようになった
- ⑤ 子どもと一緒に保護者の参加が増え、スタッフとの理解や協力がみられるようになった
- ⑥ 特別に支援を要する子どもたちが参加できるプログラムが増えた
- ⑦ 地域、学校の認知度が更に高まってきた

まとめ「今後の課題」

1. 平日型の放課後子ども教室との一体的な連携
2. 学校教育と社会教育の更なる連携強化(定期的な情報交換)
3. 学校や地域と連携した魅力あるプログラムの企画と実施
4. ボランティアスタッフの更なる確保と資質向上
5. 教室継続のための行政からの支援(制度面と財政面)
6. すべての子どもたちが参加できる“雲南モデル”の一層の進化を目指した市内全域でのプログラムの展開



■ 7. 総括

- 1) 事業テーマの推移について
- 2) 重点的に取り組むプログラムについて
 - (1) 学社融合プログラム
 - (2) 中学・高校生が企画するプログラムへの取り組み
 - (3) 特別に支援を要する子どもたちに対するプログラム
 - (4) 楽しく学ぶ<体験><実験>学習支援プログラム
- 3) 課題への取り組み
 - (1) 昨年度からの課題への取り組み
 - (2) 子ども教室への次年度以降への課題
- 4) 3年間の調査研究事業を終えて
 - (1) 子どもたちの望ましい将来像の支援体制を築く
 - (2) 施設を利用した学校外における事業の継続

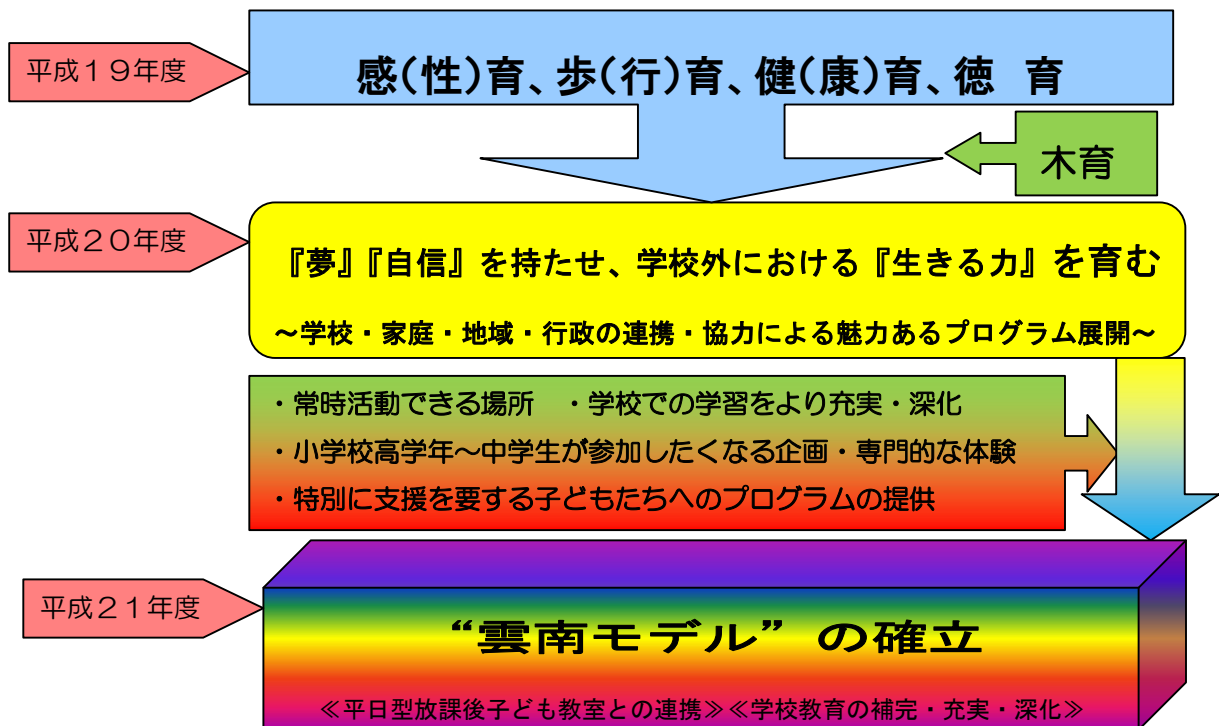
1) 事業テーマの推移について

島根県雲南市では、安全・安心して活動できる子どもの活動拠点（居場所）づくりとして「雲南市子どもの居場所づくり」を国の支援のもとで取り組まれ、月曜日から金曜日に学校施設等を利用し、異学年や地域の人たちの交流の場として、居場所づくりを展開してきた。

現在は19年度から創設された「放課後子どもプラン」に移行させ、毎週月曜日から金曜日に事業を継続実施しているが、「雲南市文化体育施設利用放課後子ども教室実行委員会」では、更に学校以外の社会教育施設を開放、活用し、特に土・日曜日、祝日と長期の夏冬休み中の居場所としてスポーツに親しむ機会や文化芸術活動を始め、多種多様なプログラムを地域の教育力として提供してきた。

19年度は「感（性）育、歩（行）育、健（康）育、徳育」、20年度には更に「木育」を加え、学校・家庭・地域・行政の連携・協力による魅力あるプログラムを展開し、子どもたちの「思考力」「判断力」「表現力」を一層深めさせながら、子どもたちの学校外における「生きる力」を育てるプログラムを提供してきた。

今年度は、雲南市の全ての子どもたちが参加できる『雲南モデル』の確立と定着をめざし、新設された学校支援地域本部との協力によって平日型の放課後子ども教室との連携を強めながら、特に学校教育で実施するキャリア教育推進プログラムを補完するプログラム、中学・高校生が企画するプログラム、特別に支援を要する子どもたちに対するプログラムに重点を置き、より魅力あるプログラム内容をすすめながら、学校・家庭・地域・行政が一体となった社会教育の一層の充実を目ざすこととしたい。



2) 重点的に取り組むプログラムについて

【活動計画書（1）～（4）の取り組み】

(1) 学社融合プログラム

新しく雲南市内の全ての小中学校で取り組むキャリア教育推進プログラム「夢発見プログラム」を補充・深化する、学校教育と一体となったプログラムを展開する。

夢発見プログラムとは？ <雲南市の目指すキャリア教育の方向性>

雲南市教育目標「ふるさとを愛し 心豊かでたくましく 未来を切り拓く 雲南市の人づくり」を目指し、雲南市の子ども達が「ふるさと雲南」の地域資源（人・モノ・コト）や伝統文化にふれ、温かい人々との交流を通じて、将来への夢や希望、勤労観、職業観を発達段階に応じて身に付け「ふるさとで生きていこう」という気持ちを持てる学習プログラムを展開するもの。

【キャリア教育】

地元食材を使ったスイーツ作りは、雲南市産業振興センター及び「うなんスイーツの杜」プロジェクトとの連携プログラムとして、地元のパティシエ職人を講師に、地元の食材を使ったバケツプリンとプリンクレープを作った。食材についての説明も行い、雲南市の持つ素晴らしい素材・技・魅力などを要所に詰め込んだ教室となった。

その他、たたら歴史を学んだり、職場体験として実際に釘を作るなど、雲南市ならではの職種にも触れ、その技術を学ぶことができた。



職人からスイーツ作りを学ぶ

職人に教わりながら釘を作ってみる

【スポーツ少年団、部活動との連携、中学生を対象とするプログラム】

【異学年との交流プログラム】

中学校のバスケット部、サッカー部に協力を得て、小学生の指導を行った。ここでは、小学生は中学生の技術の高さを体感し、中学生は指導の難しさを勉強する。また異世代交流として、更には中学3年生が受験勉強態勢へ向かう移行期間に、気軽に楽しめる場として提供することができた。

この連携による教室は、多人数で構成されている部活動との練習により、団体行動などの協調・規律なども覚えるため、子どもたちにはとても有意義な経験となっている。



サッカー部の先輩方に教わる子どもたち

(2) 中学生・高校生が企画・運営するプログラム

【社会貢献をテーマとするボランティアプログラムの企画】

雲南市を舞台に製作された映画「うん、何?」。映画の放映から1年以上経過した今でも、たくさんの観光客がロケ地を訪れ、中には雲南市で結婚・定住している方もいるほど、田舎暮らしの温かさや人間模様を映し出している。

そこで、雲南市に訪れるたくさんの観光客の皆さんが、映画のイメージを崩さぬよう、ゴミ拾いや草取りなどの清掃作業を行った。

その後は、雲南市の食材のみを使用した「たまごかけごはん」を食し、米の甘みや卵の美味しさ、醤油の旨味を味わった。そして最後に、映画「うん、何?」を見ることで、改めて雲南市の良さを感じさせている。



奉仕作業に一生懸命取り組む

雲南市の食材を味わう

(3) 特別に支援を要する子どもたち(不登校、障がいのある)に対するプログラム

不登校、障がいのある子どもへのアプローチ～「人、もの、こと」との出会い～

【不登校の子どもへの参加プログラム】

雲南市の不登校児童生徒の割合は、全国平均を上回っている。そうした中で大きな成果を挙げているのが、文化施設で取り組んでいる「市民歌劇団“ビリオネア大学”」と「中高生ジャズバンド“ラメールジャズオーケストラ”」の活動である。

“ビリオネア大学”では、幼児から大人までの幅広い年代の人々が集まり、お芝居、ダンス、歌唱を専門講師から学び、年1回の公演を行っている。異世代交流をしながら、練習の過程で演技や歌に自信が持てるようになり、学校へ復帰できた子どもがたくさんいる。

また、“ラメールジャズオーケストラ”も、学校外で楽器の楽しさを味わえる居場所となっており、ジャズを通して“個性”と“協調”することを学んだ。またメンバーの約2割を占める不登校生徒が通っている。

このように、社会教育施設が行う事業との連携により、効果は非常に大きくなり、学校教育との連携ならではのプログラムになっている。



ラメールジャズオーケストラの活動の様子

ビリオネア大学の活動の様子

(4) 楽しく学ぶ＜体験＞＜実験＞学習支援プログラム

【自然や地域資源を活かした体験プログラム[自然塾]】

昔のTVやゲーム機器がなかった時代、子どもたちは一体何を楽しみに毎日遊んでいたのだろう…時々想像してみる。今年度は昔にやったであろう遊びや自然学習にたくさん取り組んできた。

水辺の教室、木工教室、昔のおもちゃ作り、地域資源を使った桜染め…また、宿泊体験では自然の竹などを使っての炊飯など、昔を知れば知るほど今の便利な世の中を感じることができるし、体力も使う。

このようなプログラムはモニターアンケートでも「取り組んでもらいたい」という声がたくさん挙がっている。今の便利さに慣れた子どもたちには大変面倒くさい作業などもあったが、コーディネーターの皆さんの魅力ある指導と、集団での行動によって、子どもたちは楽しそうに取り組むことができた。



自然の生物にふれる



竹細工を作る

【親子体験プログラム】

一昔前の高度経済成長期では、両親とも働きに出て祖父母が孫を育てる時代で、いわゆる“おばあちゃんの知恵”という言葉も流行った。現在では核家族が増えたせいも、親子で体験できる機会が求められているようだ。その中で特に人気が高い教室が「親子お料理教室」。毎回季節ごとのテーマを決めたり、子どもたちに野菜をもっと食べてもらえるように「野菜ソムリエ」の講師を招くなど、子どもたちだけでなく保護者の皆さんにも楽しく学べる内容として提供している。



みんな熱心に料理を学ぶ(親子お料理教室)

【アーティスト、アスリート等本物体験プログラム】

社会教育施設ならではの、トップアーティスト、トップアスリートによる本物体験特別教室を今年度もたくさん行った。

中でも、ワールドサッカー選手の小村徳男氏によるサッカー教室は、子どもの参加人数だけで約100名が集まるほどの人気ぶりだった。その蹴られたボールのスピード感、ドリブルやパスの速さ・正確さなど、子どもたちだけではなく、参加したたくさんの保護者も大喜びだった。トップアスリートから改めて知らされた「基本の大事さ」を確認しながら練習に励む子どもたちの姿が印象的だった。

また、国際的に活躍される外園祥一郎氏によるユーフォニアムの演奏はとても素晴らしく、「楽器だ

けではなく、ホール(建物)が共鳴して鳴っている」感覚がつかめたと思う。

参加者は、小村選手とは対照的に、吹奏楽部に所属している中学生が多く、子どもたちにとって「器楽演奏はより高度な分野」という位置付けにあることもわかった。



子どもたちを惹きつける小村選手



美しくそしてパワフルな演奏

【島根大学及び松江高等専門学校との協力・協働】

この休日型子ども教室も3年目となり、次第に見えてきたのが「より専門的なことを学びたい」という子どもたちの思いだった。

アンケートの数字でも、その結果は明らかになってきたが、特に松江高等専門学校の先生による「かがくの広場」は毎回安定した参加率を得ている。学校では教えてもらえない専門性やその実験の面白さに、申し込みは毎回定員をオーバーしている。

しかし、この人気度は最初の年からあった訳ではなく、継続してやってきたからこそその結果だと考えている。



楽しそうに動くおもちゃを作る



どんな変化が起こるか不安そうな子どもたち

(5)モニター結果を活かした教室

モニターアンケートを活かすために行ったのが、地元の素材を使ったそば打ち体験とスポーツ少年団との連携による三瓶合同研修。

特にスポ少との連携による合宿は、教職員も希望しているプログラムでもあり、知らない子どもたちと一緒に合宿することで、協調や生活習慣などを身につけるなど、素晴らしい教室となっている。



みんなで一緒にオリエンテーリング

地元の食材を使ってそば打ち体験

3) 課題への取り組みについて

(1) 昨年度からの課題への取り組み

- ◆継続的な教室開催への行政からの支援
 - ⇒研究事業として文部科学省から3年目の助成を得られ、課題に取り組むことができ、教室の充実が図られた。
- ◆参加する子どもの固定化と新しい参加者の確保
 - ⇒部活動やスポーツ少年団等との連携により、新しいたくさん参加者を得ることができた。
- ◆ボランティアスタッフの確保と更なる資質向上
 - ⇒新たにスタッフの協力を得ることができ、モニターやシンポジウムスタッフとして参加し、大きな力となった。
- ◆全市内の立地条件への対応(交通手段の確保)
 - ⇒積極的な出前教室の開催やキョロパスを使用した教室の開催等に対応している。
- ◆特別に支援を要する子どもたちに対する教室の充実
 - ⇒重点プログラム(3)で述べたとおり、積極的な取り組みを行っている。
- ◆子どもの健全育成に果たすべき役割(ノーテレビ、ノーゲームのきっかけづくり)
 - ⇒モニターの声にあったとおり、教室への参加が増え興味が湧いた結果、テレビを見る時間が少なくなった。

(2) 子ども教室の次年度以降への課題

- ・ 財源確保
- ・ 人材の確保
- ・ 地域との連携

4) 3年間の研究事業を終えて

(1) 子どもたちの望ましい将来像の支援体制を築く

子どもたちに関わるようになって改めて感じたことは、大人が思っている以上に子どもたちはたくさんのことを見て学び、吸収し、そして驚くほど様々な能力を向上させているということである。特に興味を持ったことには、想像を絶する程の集中力を発揮し、自ら無心に学ぼうとしている。そのような伸びしろの多い時期にこそ、テレビゲームではなく、本物の体験ができる子ども教室の充実したプログラムを定期的に企画、提供することが大切だと感じた。そしてこれは、健全育成面や非行防止にも役立つ。

近年、出雲市から里見香奈さんという中学生でのプロ棋士が誕生した。聞くところによると6歳から将棋を始めたという。このような子どもが現れるのも、様々な体験が出来る環境あってこそその結果だと思っている。

しかし、特に中山間地域では、近くに川や山、木があっても遊び方を知らない、少子化になって一緒に遊んでくれる子も近くにいない…そのような時代になりつつある。これでは、子どもたちにとってTVゲームしか相手がなくなってしまう、そして郷土への深い愛着も生まれないうまま、人間関係の作り方も分からないまま大人になっていく。このままでは10～20年後、必ず子どもたちの成長に差が生まれ、そして人口の減にもつながり、将来大きな負の変化が表れてくると思う。だからこそ、今学校を始め、行政と地域、保護者の理解・連携を得てみんなで子どもを守っていかねばならない！というミッションが必要だと改めて感じた。

(2) 施設を利用した学校外における事業の継続

この事業を始めようとした時、まずは学校外における子どもたちの「適切な場所」「指導者」「多様な活動プログラム」が必要となる。子どもたちが「いつでも・どこでも」「安全・安心に」活動できる環境が必要である。

そこで私たちの役割は、社会教育施設を利用するという観点からスタートした。目の前には、正にその安全な施設があるだけでなく、そこにはたくさんのノウハウがあり、文化や体育のプロフェッショナルがいる。そして関係のある人脈もたくさん持っている。こうしたたくさんの人や財産を活かしていくことが私たちの役割だと思っている。

しかし定期的にたくさんのプログラムを提供し、サポートしてもらえる人も維持してい

くには、国を始め行政からの財政支援が必要となる。幸い、この3年間国からのモデル事業採択による「調査研究事業」として支援を頂くことができ、そしてまた、それなりの基盤を作ることができた。また、モニター結果でも分かるように、この3年間でかなりの成果が表れている。心の成長や物事への関心、TVゲームをしなくなったという例や、より専門的なプログラムも求めてきている。

少子化による廃校、過疎化が進むこの地域にあって、今後この事業を継続・発展させ、「雲南モデル」を全国のモデルとして定着させるには、平日型子ども教室と更に連携を深め、ボランティアスタッフの人材確保とスキルアップを図る。この2点の大きな課題に早急に取り組み、一人でも多くの子どもたちに、この教室に通わせる（出向く）ことにあると考えている。

■ 8. 関係者からの提言

- 雲南市における休日型放課後子ども教室の活動に学ぶもの
田中 照夫（島根県放課後子ども教室推進委員会委員長・島根大学教授）
- 地域が子どもを育てる
伊藤 俊夫（財日本生涯学習総合研究所理事）
- 「雲南市放課後子ども教室の取り組み」について
小久保 茂昭（中央教育審議会教育課程部会専門委員・前中央青少年団体連絡協議会理事）
- 子どもの可能性を伸ばす放課後教室の実践に学ぼう
荒井 みゆき（放課後子ども支援アドバイザー、放課後教室実行委員）
- 雲南市と島根大学教育学部との連携したプログラムの開発
青山 巧（島根大学教育学部附属教育支援センター・准教授）
- 島根県における放課後子どもプランについて～意識調査からみた成果と課題～
井上 孝弘（雲南市文化体育施設利用放課後子ども教室運営委員・社会教育主事）
- PTAと放課後子ども教室
高田 幸夫（雲南市PTA連合会会長）
- マジック教室を通して「自信を持って表現する力」を！
小林 和彦（雲南市学校支援地域本部統括コーディネーター・教室指導者）
- 子どもたちの熱心な取組に支えられて
久我 俊子（雲南市文化体育施設利用放課後子ども教室・教室指導者）

雲南市における休日型放課後子ども教室の活動に学ぶもの

田中 昭夫

再び「子どもに豊かな放課後を」

昨年、冒頭に以下のようなことを書いている。「放課後の子どもたちの安心・安全を確保し、生活を豊かにするために、島根県においては、放課後子どもプランが作成されている（島根県・島根県教育委員会「子どもたちの心安らぐ放課後や休日のために 島根の放課後子どもプランについて」）、その活動が2年目の最終段階にある。島根県は、以前から共働きの家庭が多く、放課後の子どもの安心安全と豊かな放課後の保障が急務となっていた。」

昨今の状況を考慮すれば、上記のことは今日も変化がないだけではなく、むしろ、豊かな放課後を確保することは、益々必要度を増しているように思われる。景気の低迷と雇用の不安定化のため就労する母親が増加し、保育所の待機児童数が都市部を中心として増加していると聞く。子どもの教育や保育の問題を考えると家庭の経済状態や雇用の状況、貧困・格差の問題を無視することは決してできない。

一般に、就学前は、保育所や幼稚園での昼間の保育と預かり保育や延長保育、ファミリーサポートセンターなどに頼りながら両親が仕事を続けていける。しかし、就学後は、こうした放課後子どもプランによる放課後の生活の保障に頼らざるをえない。

周知のように、放課後子ども教室は、放課後や週末に子どもが体験や交流を行う場として開設される「子どもの居場所」であり、他方、放課後児童クラブは、放課後児童健全育成事業に基づき、保護者が労働等により昼間家庭にいない小学3年生未満の児童に対して生活の場を提供するものである。

雲南市の放課後子どもプランの実施状況

島根県の生涯学習課及び青少年家庭課が作成した資料によれば、雲南市は、平成21年度において、放課後子ども教室が26教室と県内でも最大であり、22年度は、31まで増加の見込みであるという。また、放課後児童クラブが9カ所開設されている。放課後子ども教室は、（地域により多少異なるが）開設日数が比較的長く、土日の開催日数が100日を超えるところも見受けられる。島根県全体として平成19年、20年、21年の開設日数を比較すると、89日、99日、103日と全般に増加が見られる。特に、雲南市では、小学校校内、公民館と小学校が連携して実施している点が目立っている。

休日型放課後子ども教室の実施

雲南市は、一般的な平日型放課後子ども教室に加え、文化体育施設利用放課後子ども教室実行委員会（以下、実行委員会と略す。）のもとで、学校教育との連携を保ちつつ、休日型放課後子ども教室の活動が盛んに行われているが大きな特色と言える。

平成21年度も、6カ所の文化・体育施設を中心として、主に土日や長期休業中といった休日に、エアロビクス教室、健康体操、各種の新スポーツ、バスケット、卓球等のスポーツを中心に、お料理教室、音楽、映画、絵画教室、神楽教室、制作活動等多様な活動が行われている。特に、親子ともに参加できるプログラムが組まれている点は、貴重である。一方、市民への告知や広報は、ホーム・ページを通じて活発に行われている。

文部科学省は、20年5月を締め切りとして「総合的な放課後対策推進のための調査研究」を公募しているが、放課後の効果的な活動プログラムを実施する調査研究モデル事業に申請した本実行委員会は、36.8という際だって高い最上位の評価を得ており、全国的に見ても注目すべき取り組みと評価され、採択に至り、3年間続けられてきたと言えよう。理由は、以下に示す。

第1に、質の高いプログラムメニューを提供すること（自然体験プログラム、親子体験プログラム、アーティスト等本物体験プログラム、特別に支援を要する子どもたちに対するプログラム、古民家宿泊体験、楽しく学ぶ学習支援）独自の事業が評価された。

第2に、体験を支える人々（講師・コーディネーター・安全管理員）の研修による質的向上を計ることであった。この点は、島根県としても積極的に支援しており、研修会を積極的に開催している。

第3に、多様な場所を活用したメニューの実施とボランティア体制の充実（出前によるプログラムの実施、島根大学学生への1000時間体験学修プログラムへの協力要請）であった。

第4に、参加者が固定化する等の前年の反省を踏まえ、参加者への周知の工夫がなされた。ホーム・ページの作成等の工夫がなされている。

この4点に加え、学校教育・社会教育が融合した夢発見プログラム（総合的学習の時間を活用したキャリア教育推進プログラム）とプログラムメニューを共有化した学社融合プログラムが実施された。中身は、学校と連携したプログラムメニューの提供（平和と人権、世の中の仕組みと勤労、歴史と文化、生活リズム

ムと「食」)と教職員の希望するプログラムの導入であった。

著者は、小学校児童における平日の放課後で大切なこととして、安全と安心、運動や遊び・文化活動、学習(宿題、読書)、適量のおやつ、夕食、睡眠と朝食の摂取、メディア接触の適正化を実現したいと思う。また、このことが実現するよう各学校や家庭でご指導いただくことを望む。一方、休日型の放課後子ども教室の活動については、休日という安息日に実施するという点も考慮しつつ、こどもにとって無理のない子どもの地域活動として展開されたものである。

一般に、昨年は、放課後子どもプランの認知度が低いという課題があった。放課後子どもプランとして発足して3年目という期間が影響している可能性がある。しかし、現在、今般の経済不況の影響から両親とも就業することによる共働き家庭が増加し、就学前では、松江市などで保育所の待機児童の増加がある。児童が小学生になると子どもの平日や休日における活動や居場所へのニーズが高まっている。したがって、様々な媒体を用いて地域の方々へ放課後子どもプランの具体的内容についてお知らせしていく努力が求められていくと思われる。特に、紙媒体での広報だけでなく、ホーム・ページやテレビ放送などは、有効な媒体といえる。

子どもの豊かな放課後を保障するために

①外遊びまたは身体を動かす遊びの奨励を

休日は、平日の学習や労働という活動に備える日であるので、過度の競技的運動は避け、遊びを中心として実施されることを望む。一般に幼児・児童・生徒の平日や休日の遊びについての調査を見ると活動場所が室内で、内容も受け身的な遊びをしている場合が少なくない。特に、冬期の本県の中山間地域は、雪の影響があり、遊びが静的な、室内化したものになる可能性が高い。テレビ視聴の長時間化、ゲームへの耽溺という状況はやや緩和されていると思われるが、携帯電話の普及、テレビの多チャンネル化・デジタル化、インターネットの普及に伴って、映像媒体への接触が高まっている。したがって、映像媒体への接触を適度に統制するという意味からも、休日にふさわしい運動遊び、外遊び、伝承遊びのプログラムを実施していただきたい。

地域の身近な場所に歩いて行って、魚釣り、植物、昆虫や小動物の採集を行ったり、適度な長さを散歩したりするなど、季節感を感じるプログラムも考えられる。

②関わることの重要性

私たちの暮らしは、受け身的になっているのではないかと反省させられる。乳幼児期の子どもの発達心理学を専門とする著者は、幼稚園教育要領や保育所保育指針に述べられているように、乳幼児が周囲の環境と関わって遊ぶことが幼児の学びとして重要であると考えている。

脳科学によれば、前頭前野の機能の重要性が指摘されている。東北大の川島隆太教授によれば、前頭前野の活動は、文章を音読したり、考えたり、簡単な計算をしたりという文字や数字に「関わる」ことによって活性化されるという。また、高齢者の脳機能の低下の改善に寄与するという。その意味で、遊びを通じて物や自然、人(親、兄弟、仲間や高齢者)に「関わる」遊びが乳幼児・児童・生徒の学びに重要であるといえる。

実施されているスポーツ教室、科学の教室の工作活動、木工教室、親子料理教室、親子ふれあいキャンプ、水辺の生き物調べ、農業体験教室、販売体験教室といった活動は、地域において、具体的に工夫しながら「関わる」ものであり、広い意味での「物作り」として重要だといえる。本学部では、木工の先生方を中心に幼稚園での木工の実践を行っている。森林面積が全国3位である県産材の利用促進や地球環境の保全などの目的もあるが、幼児期における「木育」という教育的ねらいもある。具体的には、木でパーツが作られた「ロボ木ーくん」を組み立て、自分好みのロボ木ーくに仕上げるという活動である。4歳や・5歳の幼児が長時間熱中して取り組み、製作の中に様々な個性を表し、自分で製作したものに愛着を示している。今後、楽しみながら「関わる」活動を幼・小・中のプログラムの中に組み込んでいくと面白い。

(島根県放課後子ども教室推進委員会委員長・島根大学教授)

地域が子どもを育てる

伊藤 俊夫

計画策定の心くばり

雲南市が放課後、休日、長期休暇に実施した子どもを対象とする学校外活動（“雲南モデル”）の成果をまとめたこの報告書は、事業が有意義で、成果が大きいことから全国各地の人達に読まれ、活動が広く、かつ力強く波及していくに違いありません。

そこで、この資料は多様な方々が読まれると想定し、市民でない立場で“雲南モデル”から学んだ幾つかを取り上げ、参考に供したいと考えます。

先ず、事業の計画です。“雲南モデル”には、次のような心くばりがあるのではないかと思います。

- (1) 事業には、将来を見据え、雲南の地域や子どもはかくあって欲しいという、しっかりした理念がある。
- (2) 事業には、雲南市の子ども達のために解決しなければならない課題や、子ども達がやりたい要望をきっちりとつかみ、その課題の解決や要望の実現を図るための確かな目標がある。
- (3) この事業には、温故知新の精神や先見の明を備えた仕掛け人と、ボランティア精神に満ちた雲南市民との協働がある。
- (4) 事業には、関係者、関係機関・団体等の知恵を集めるための委員会を設けるとともに、「地域ぐるみ」で事業を実施する仕組みがある。

これらの心くばりは、放課後子ども教室だけでなく、他の事業や活動を計画するときにも手本となるものです。参考にしてください。

“雲南モデル”の源流

温故知新といいますが、このとき、“雲南モデル”には俳聖・芭蕉が説く「古人の跡を求めず、古人が求めたところを求めよ」の心構えがあると思われまふ。ちなみに、“雲南モデル”には、昔の人や他人の真似をするのではなく、その人達がねらった不易の事実を極め、それを想像的に構成し、実行していると受取りました。

ところで、子どもが社会人になるための教育に「しつけ」があります。排泄、食事、健康などの生理的しつけ、敬老、組織人、礼儀作法など、秩序のしつけ、それに多くは世襲だった頃の職業のしつけを含めて、これらは主として家庭が受け持っていました。

これらのしつけを基礎にして、社会人として必要な知識、技能、態度（注・社会性）を身につけさせる社会的しつけは地域が主に担当しました。このための具体的手法には名付け親などの社会的親、講、子供組、若衆宿などといった、地域の教育力としても有力な存在の社会化装置が準備されていました。

社会化装置の一つが昔の子供組です。地域の子どもは数え7歳にあると氏子になり、子供組に加入して社会の構成員（注・氏子）になるための勉強が始まります。かような役割を持った子供組には、次のような特色がありました。

- (1) 地域の次代を背負う構成員を育成するという目標があった。
- (2) 地域の子ども全員が入会して異年齢集団をつくり、年長者が頭（かしら）になって、頭と子ども達が主役で活動した。
- (3) 活動プログラムは祭、年中行事、伝承文化、地域奉仕などが主で、子どもの三種の神器である好奇心、競争心、冒険心を発動させる中身を持っていた。
- (4) 地域の大人達は、子どもの主体性を尊重して不必要な干渉はしない。ただし、教えるべきことは教え、叱るべきときは叱り、美点は速やかに見つけてほめ、子どもの手に負えない場面や作業は若者や大人が支えた。

子供組の特色を“雲南モデル”に当てはめてみてください。両者はまったく同じ構造であることに気づかれるでしょう。

“雲南モデル”は、昔の子供組がねらった不易としての「古人が求めたもの」（注・社会性の訓練）を今様に整えて、創りあげたものと合点できます。換言すれば、“雲南モデル”は、現代版の社会化装置ですから、これは大切にしなければならないものです。

“雲南モデル”に学ぶ

最近では社会化装置を支える地域連帯が崩れつつあります。このため、社会性の取得・練磨ができない子どもが増えて、これでは世の中が無法状態になってしまいそうです。それを防ぐためにも“雲南モデル”に学ぶわけですので、これを学ぶときの視点の幾つかを挙げておきましょう。

(1) 仕掛け人が大切

仕掛け人とは、中心になって事業を進める人で、夢づくり（目標策定）、仲間づくり（組織構成）、仕事づくり（事業の企画と実施）、ファンづくり（支援組織の構築）、金づくり（会計事務）、それにやる気づくりを差配する重要な役目を担っています。なお、適切な仕掛け人を得られるか否かが組織や事業を左右してしまうようです。

もちろん、事業のスタッフやボランティアは重要な役目を背負ってますので、これら協力陣の拡充・強化の手を抜いてはいけません。

(2) 子どもが主役

子どもをお客さんにしない。子どもは主役です。つまり、子供組と同じで、子どもは主役になる、つまり認めてやると責任感が高まり、主体的に行動するので教育効果が上昇するようです。

(3) 活動に工夫を

小学校低学年であると仲間との遊びに重心があり、小学校高学年であると仲間を媒介にして自然体験や勤労体験などの外向きの活動に興味・関心が広がり、中学生・高校生・大学生になると社会とのかかわりに関心が向くのでボランティア活動などを準備するとよろしい。プログラム作成の段階から、このような特色を理解し、配慮するのが肝要のようです。

なお、“雲南モデル”の平成21年度事業では、中学生・高校生・大学生のボランティアの活動が活発であって、これによる彼ら自身の人間的成長のめざましさが特記事項になったようです。

(4) 大人も楽しむ

スタッフやボランティアなどとして事業にかかわる大人は、無理をしないことが前提で、自分が得意とするものを前面に出して子ども達と活動するのがコツなのでしょう。おな、大人自らも大いに楽しむと同時に、活動をとおして社会が自分を必要としている満足感、つまり、承認欲求が満たされる充足感を味合うのが楽しいようです。なお、面倒臭い、おっくう、わずらわしい、は禁句です。

(5) 地域ぐるみが本命

民俗学者の柳田国男がいう、誰もがごく普通に、ムレ（群れ）による社会性の練磨を行う平凡教育は、地域の連帯心が支えています。でも、これが崩壊しつつある現状から、その再生のために“雲南モデル”を創出したとみることもできるでしょう。他方、この事業が地域ぐるみで行われることによって、地域の連帯が活力を取り戻すようです。

(6) 押し付けは駄目、教えは必要

自分の欲望を抑制するのは知識が醸した決断力であるように、知識は人間の行動を支配する大切なものです。ですから知識軽視の風潮を返上して、子ども達に知識・技能や生活の知恵などを伝えるように留意したいものです。このとき、「馬を水辺に連れていくことはできるが、馬に水を飲ますことはできない」との教えに、つまり子どものやる気を育てる意味に思いを巡らせるとよろしいようです。なお、子ども達と活動するときには、山本五十六が説いたといわれる「やってみせ／言って聞かせ／させてみて／ほめてやらねば人は動かぬ」という考え方が参考になるかも知れません。

いずれにしても学校制度が導入されるまでは子どもは家庭が育て、地域が育ててきました。これは歴史の流れが教えてくれます。しかし、家庭や地域は教育から手を引きつつあり、その教育が学校へ持ち込まれています。これでは学校はパンクです。“雲南モデル”はこれを阻止して、家庭、地域、学校がそれぞれの役割を果たし、かつ三者が協働してより良い教育を確立しようと挑戦しています。それだけに、今こそ“雲南モデル”を核にして日本の教育を飛躍させるときがきた、といえるのではないのでしょうか。

（（財）日本生涯学習総合研究所理事）

「雲南市放課後子ども教室の取り組み」について

小久保 茂昭

今日的課題をも盛り込んだ活動実践を目指して

雲南市文化体育施設利用放課後子ども教室実行委員会は、文部科学省からの委託を受けて平成19年度から「総合的な放課後対策推進のための調査研究」事業を実施して来ており、その20年度の取り組みについて青少年団体・社会教育団体に関係する者としての立場から、感想を述べさせて頂きました。その際の自己の感想を振り返りながら、21年度の取り組みについて再び意見を述べさせて頂きます。

平成19年度は『感育』『歩育』『健育』『徳育』を〈テーマ〉に実施し、・「休日型」の事業実施・多数のボランティアスタッフと参加者の確保・専門的指導者でのプログラム推進・異地域間交流の誕生等を〈成果〉として挙げました。そして平成20年度の〈テーマ〉は『夢・自信』をもたせる放課後子ども教室とし、成果に・ボランティアスタッフと参加者の更なる増加・キャリア教育推進プログラムの導入・学社融合プログラム導入と理解・関心の高まり等を挙げました。

これまでの実績・成果を基に市内の小学校児童・保護者・教職員・中学校教職員を対象とするアンケート調査を実施し、高い評価と前向き姿勢の課題を提示されました。これらの実績と課題の上に検討を重ねて21年度事業のテーマを「みんなで探そう 自分の未来プログラム ～“雲南モデル”放課後子ども教室の実現と発展～」とし、(1)学校外における「生きる力」を育む学習プログラムの展開(学校、家庭、地域の三者が一体となって取り組める学習プログラムの展開)(2)市内全中学校区に設置する「学校支援地域本部」との連携・協力(学校、家庭、地域、行政が一体となった社会教育の実現)(3)「平日型放課後子ども教室」と「休日型放課後子ども教室」の果たす役割の明確化と連携・協力等の目的を掲げました。

テーマ、目的の達成へ向けて(1)学社融合プログラム(2)中学・高校生が企画するプログラムへの取り組み(3)特別に支援を要する子どもたちに対するプログラム(4)楽しく学ぶ〈体験〉〈実験〉学習支援プログラムの四つに実施する重点プログラムを分けて、トータル15のプログラムを実施して来ました。

21年度の実施成果と今後の課題

(1) まとめ1(活動成果)

社会教育施設(文化体育施設)を核とする放課後子ども教室推進事業を19・20年度と実施して来た成果の充実に務めながら、21年度を実践して更に次の事項を今年度の成果として挙げる事が出来たと報告しています。①高校生、中学生を含めた幅広いボランティアスタッフの協力が生まれた ②キャリア教育が目指すさまざまな体験活動により、子どもたちに雲南市の魅力を伝えることができた ③スポ少・部活動との連携により、いつでも参加しやすいプログラムを継続して実施できるようになった ④子どもたちが人に何かを教えて、伝えることの難しさや楽しさを子どもたちが感じるようになった ⑤子どもと一緒に保護者の参加が増え、スタッフとの理解や協力がみられるようになった ⑥特別に支援を要する子どもたちが参加できるプログラムが増えた ⑦地域、学校の認知度が更にたかまって来た

(2) まとめ2(今後の課題)

そして、これまでの実施して来たプログラムが全国各地で展開される「放課後子ども教室」事業の参考に資するためには、下記の項目が今後の課題として挙げられました。①平日型の放課後子ども教室との一体的な連携 ②学校教育と社会教育の更なる連携強化(定期的な情報交換) ③学校や地域と連携した魅力あるプログラムの企画と実施 ④ボランティアスタッフの更なる確保と資質向上 ⑤教室継続のための行政からの支援(制度面と財政面) ⑥すべての子どもたちが参加出来る“雲南モデル”の一層の進化を目指した市内全域でのプログラム展開

放課後子ども教室事業と青少年団体活動

放課後子ども教室事業の「平日型」と「休日型」を私共の青少年団体ないし社会教育団体的立場から見ると、「平日型」は学校教育におけるかつてのクラブ活動か今日の部活動であり、土・日・祝日に活動する「休日型」は少年団体活動と言えます。そして前者にしる後者にしる大事なことは、本来、教科学習を中心とする学校での活動から子どもたちは解放され、自らの強い興味・関心に基づく遊びや活動を選び出し、自由闊達に活動する時間なのであると言うことです。学校での教科学習を中心とする活動の中では学業成績の良い子が常に“良い子”となり、その存在は偏りがちです。しかし、放課後の時間帯の活動では、学業成績の良い子とは異なる新たな子どもがヒーローになることが少なく

ありませんし、ヒーローに成り切れなくても満足感を味わっている子どもは多く、このことが子どもたちの自立感、活動性、自発性等の人格的発達課題を達成することに繋がるのです。

このことの重要性に鑑み、昨年の報告書で“少し気になること”の第三として、「重点的に取り組むプログラムの欄を(1)質の高いプログラム (2)講師、コーディネーター、学社融合プログラムと並んでおり、ある種の固さを感じさせます。この種の事業は“遊び”“楽しさ”に第一義の重要性があると思います。確かに(1)の⑥楽しく学ぶ〈体験〉〈実験〉学習プログラムがあり、パンフレットを拝見する限り楽しい遊びが展開されていると思いますが、時には高度な知識・技術の提供に走り過ぎたり、学校教育的指導となって第二の学校化しないか心配になります」と記述しました。しかし、今日の問題として“家庭の経済力による学習機会の格差”が指摘され、学ぶ意欲がある子どもたちに学習機会を提供することを求められており、これに応えようとして用意されるプログラムは、前述のこととは異なる次元の問題であることは言うまでもありません。

さらなる発展を目指して

前述の“成果”“課題”に関わる意見を三点ほど述べてみたいと思います。

第一は①高校生、中学生を含めた幅広いボランティアスタッフの協力。私共は中学生を対象とするかなり大掛りな催しの企画・立案・実施について、高校生による実行委員会を設置させて当たらせませし、小学生児童のプログラムにおいては中学生を配置して活動を実施しますが、参加児童・生徒にとって好ましい異年齢交流となるだけでなく、スタッフとして参加した中・高校生たちは“後輩のため”と言うことで取り組み姿勢が真剣なものになります。その結果、成果の④の“人に何かを教えて、伝えることの難しさや楽しさ”を体験したり・学び、やがてスタッフからジュニア・リーダーへ更にはアウト・リーダーへと成長して行くことが期待されますので、大いに取り込みを図るべきです。

第二は③スポ少・部活動との連携により、いつでも参加しやすいプログラムを継続して実施。活動目的を明確にしている目的的少年団体と部活動の有り様はまさに同一のもので、部活動の指導者はその分野の専門性を持った教師か専門家ですし、少年団体の指導者はその団体が目標として掲げていることを十分に理解しているだけでなく、自らも活動の実践者もしくは経験者です。全国的な組織を持つ少年団体の傾向として若い指導者たちの中には、教育学や福祉学等を大学で学んだ人も多く、かつ指導者養成の研修等を受講して来ており、学校の教師に近い感覚と指導技術を持つ人が多く、安心して指導を委ねられますので、おのずから活動内容は活性化しますし、継続性が確保される訳です。奨励されるべき事項と言えます。

第三は⑤子どもと一緒に保護者の参加が増え、スタッフとの理解や協力。保護者が子どもを放課後子ども教室へ“預けて”安心してしまふ、「サービス享受」に止まらせては活動の拡充に繋がりませし、本人と地域社会にとってマイナスです。当初は困難であっても余裕時間を見出して、子どもの活動状況を参観しに来るように常に呼び掛けるべきです。多くの少年団体はこの種の働き掛けを行っていますが、参観に来た保護者は子どもの活動当たる指導者を見詰め、指導者がボランティアであることを知ることにより、自らもボランティアとしての参画に目覚める人も少なくなく、ボランティア実践によって自己成長が図られますし、地域社会にとっては新たな教育資源の増加になると言えます。更に今後の課題の④「ボランティアスタッフの更なる確保と資質向上」への一助ともなります。

最後にこの活動が各地で展開されて徐々に充実して行くのを見詰めながら、今日の問題として気になることが二点ほどあります。第一は中央教育審議会でも指摘されている通り、日本人児童・生徒に対する国際理解教育はかなり改善され整って来たが、少数の外国人子弟に対する教育が非常に遅れており、外国人児童の中には言葉が出来ないために自信を無くして無口になりがちの子もいる。こうした子どもたちが放課後子ども教室事業の恩恵を受けることが出来ているのだろうか、ということ。第二は近年教員養成の開放制により幅広い学部から教員が誕生できるようになり、さらに資質の向上を目指して教員養成6年生構想も出て来ているが、学部での4年間では実習時間が十分に確保されていないとの指摘もある。こうした教員を目指す学生の放課後子ども教室へのボランティアとしての参加が、島根大学との協力・連携の在り方を参考にして、大学での公式授業の一環として認められるような方式を採用し、学生の積極的な参加を得られよう出来ないものか、ということです。

(中央教育審議会教育課程部会専門委員・前中央青少年団体連絡協議会理事)

子どもの可能性を伸ばす放課後教室の実践に学ぼう

荒井 みゆき

今日的な問題である“少子化社会”にあって、実に有効な子育て支援活動を地域挙げて実践展開されている島根県雲南市の年間通しての「休日放課後子ども教室」が関係者の注目を集めている。

このところ中央政府はもとより地方あげて声高に叫ばれている“子育て支援対策”には、期待する一方で不安視する声も囁かれておりやや心配である。とくに最近の子育て支援対策では、待機児童の解消など幼児や保育施設の充実整備から新しく「子ども手当」の支給範囲を全児童生徒に拡大する制度化など話題に事欠かないが、ようやく子育て問題が最重要施策として動き出してきたと受止められ、ハード面から見れば一歩前進といえよう。

一方、最近の子どもたちの態度や表情に良い変化が見られるでしょうか。夢中になって集中して取り組む行事や無心に遊ぶ子どもの様子など、明るさや逞しく感じる子どもたちの姿を目にすることがあるでしょうか。急な変化を望まなくても、親として願う子ども像に少しでも近づいたと感じる光景や出来事に出会ったといった話題がないのは実に淋しい。おそらく子育て支援のソフト面での有効な動きや関心が高まってこない証左といえるのではないだろうか。

とはいっても各地で「子育て応援団」の誕生やその活動が報じられていることは歓迎すべき点であり、まさにソフト面での新しい胎動として待望される点であろう。

今の子どもたちには、三つの“間”が足りなくなってきたといわれている。すなわち塾や習い事に追われて“時間”がない。安心して遊べる“空間”がない。少子化が進んだ影響で“仲間”がいない。という嘆かわしい実態を指している。言われてみるとそこそこ当たっていると感ずる人は多いと想像できるが、一方で誰もがこれでいいのかと嘆いているに違いない。

現場で子ども支援に関わる者としては、人一倍居た堪れない気持ちですが、日頃から学校以外の場所で開かれる放課後子ども教室の存在と活動が非常に有効であると訴えている一人です。

“子育て”は、“家庭”での育児と“学校”での授業に任せておけば良いと論ずる識者はなく、むしろ地域における社会的な体験や活動が大きな成果に繋がるという論法が主流となってきた。そのためにも“家庭・学校”と“地域”の連携こそ不可欠な要素であることは今や常識となってきた。すなわち子育ては、この三者が運命共同体として手を繋いで創る素晴らしい贈り物だといわれている。要は“家庭・学校・地域”がそれぞれの立場で主体者となって子育て責任を果たすことと、同時に必要に応じ支援し合うことが大切になってくる。その意味でも「子育て応援団」としての存在が大きな鍵といえよう。

学校の授業は「答えが一つ」というところへ導かなければならず、100点にどこまで迫るかで評価され、そこで出来る子と出来ない子の順位が付けられる。しかし放課後子ども教室には順位も特に目標もない。「やった。面白かった」でよいのです。そこには学校の授業と違った子どもたちの可能性を伸ばす場に成り得るのです。また

答えが二つも三つもあってもいい—そんな楽しさや面白さが引き出されるのが放課後子ども教室活動ではないでしょうか。また「答えを出さなくても良ければ、私にでも出来る」そんな普通の人たちが放課後教室のスタッフになるケースが多いと聞いたことがある。先ごろ東京大学の学生たちの集いで“子どもの幸せをカタチにする”プレゼンテーションで「放課後子どもたちの居場所は、人生の放課後を過ごす大人たちの居場所でもある」との提案があったようだが、こうした発想こそが多様な「子育て応援団」へと育ってくると期待できよう。

そういう中で、雲南市の「うんなん元気く子わくわく教室」と銘うった「文化体育施設利用放課後子ども教室」は、実に先進的な「子育て応援団」といえる取組みであろう。

中でも、私が感心したプログラムの一つが「歩育」をテーマとしたウオーキング教室です。子どもたちが歩かなくなったといわれる中で、自然豊かな山野を歩く光景を目に浮かべただけでも健康志向の時代を子どもたちに実感させることは素晴らしいことです。私自身「ヤマタノオロチ退治」の神話が息づく斐伊川の源流から日本海に注ぐ下流までの88キロを何度かウオーキングした経験から、あの雄大な山河の恵みと悠久の歴史を秘めた魅力一杯のコースを子どもたちが一緒に歩く、夢のような子ども教室を定期的実施されていることだけでも、「歩育」の実践として高い評価ができる。さらに歩くコースマップを子どもと作ったり、ごみ拾いなどの環境活動を取り入れる。また欧州で盛んなノ

ルデックウォーキングを取り込むなど、「歩くことは楽しいこと」を子どものときから肌で感じさせる体験教室に見習うことが多い。

また「特別に支援を要する子どもたちのプログラム」にも注目している。不登校の児童生徒の割合が比較的が高いという状況の中で学校外でその子どもたちを受け入れていこうというアプローチがなされている。障がいのある子どもに対しても参加しやすい教室プログラムを用意され、文化施設だからできる「市民歌劇団」に仲間入りできる養成・練習教室を取り入れて、演技や歌唱指導を個別に行ったり、子どもだけの「ジュニアジャズオーケストラ」の練習に参加して、楽器指導等を通じて音楽に親しみ、個性・特性を伸ばしていく教室が注目されている。

単に参加人数を競うのではなく、一人ひとりに合ったきめ細かい遊びや学びを通して、誰もが何かを身に付けていこうという点を主眼とされている点が特に注目と支持を受けていると思う。

さて、大人たちが理想とする子ども像はどのような姿だろうか。

私なら「強く逞しい、そして明るく、優しい子」と言うでしょう。もう少し具体的に言うと、

- (1) 「強く逞しい子」とは、生活習慣がきちんと躰けられ、心も体も逞しい子
- (2) 「明るい子」とは、明るい表情で自己表現ができ、人を受け入れる人間関係を作れる子
- (3) 「優しい子」とは、自分を大切にし、他人を同じように大切に出来る子——を連想したい。

それを、育てる場所と可能性を伸ばす場所が「放課後子ども教室」ではないでしょうか。そして、その最適なお手本が、「雲南市文化体育施設利用放課後子ども教室」であり、この「雲南モデル」放課後子ども教室が全国各地へ普及されることを望んでやまない。

(放課後子ども支援アドバイザー、放課後教室実行委員)

雲南市と島根大学教育学部との連携したプログラムの開発

青山 巧

◆いまどきの学生の姿

私は、この3年間で島根大学教育学部の学生と、学外での体験活動に関する事前・事後指導を通して、延べ人数にして3000人以上、回数にして1000回以上にわたり、話し合いの場面をもってきた。その中で、特に気になる傾向として、

(1) 異年齢集団で活動した経験が少ない。

(2) 高校卒業段階までに多様な体験をしてきている学生が少ない。

の2点がある。

(1) については、特に、地域の大人の方や、異校種世代との交流は、学校教育以外ではほとんど経験がない。従って、自分よりも年上の人と一緒に活動することに苦手意識を感じ、そういった活動を積極的に選択しない学生が、年を追うごとに増えてきている。自分に近い年齢層の者との集団の中に居心地の良さを感じる反面、指示をされることが多い年上の者との活動に少なからず抵抗感をもっているのだ。

(2) については、部活動やスポーツクラブ、習い事などは一生懸命頑張ってきたが、野山をかけ廻ったり、水辺で遊んだりといった自然体験活動や、もちつき、門松作りなどの伝統的な生活体験は驚くほど少ない。活動の支援者という立場と役割を与えられながら、学生自身が貴重な体験をさせていただいている現状がある。

教員として必要な資質は、教科指導力のみならず、人と関わる力、協同して物事を創り上げる力、公共心などが求められる。それを、大学4年間の体験学修だけでは埋めることができない実態がある。逆に言えば、それだけの力を幼少期から体験を通して積み上げていけば、社会に出た時に大きなアドバンテージを持つことになる。

◆連携することでの期待される効果

これまでの6年間の体験学修の実践から、学生にとって、一定期間地域に滞在して、地域の学校支援活動や行事支援活動に参加することは、教育的効果が高いことが分かった。地域に積極的に溶け込もうとすることで、子どもと関わるだけでなく、様々な年代の方とふれあい、話をさせていただく機会をもち、地域の方の学校に対する思いや、子どもたちに対する情熱を知ることで、教員という仕事へのやりがいを高め、夢の実現のために大学の授業や教員採用試験勉強、あるいは学校を中心とした体験活動に熱心に取り組む学生の姿を多く見てきた。また、学生を受け入れた地域にとっても、活動の幅の広がり、若い感性の活用などの効果が検証できた。

雲南市においては、学校支援やラメールでの音楽活動支援などで学生を受け入れていただいているが、新たに学生の長期休業（夏・春）を活用したプログラムを学校・家庭・地域・大学で共同開発し、それぞれの立場における相乗的な効果をねらうことはできないだろうか。

具体的な活動内容とそれぞれにおける期待される効果（案）

| 活動内容 | 期待される効果 | |
|---------------------------|--------------------|----------------------|
| | 雲南市側 | 学生側 |
| 既存の放課後子ども教室への参画 | ダイナミックな活動ときめ細やかな支援 | 子ども理解の向上 指導力の向上 |
| 大学生による雲南市を素材としたプログラム開発と運営 | 新たな地域文化の醸成 | 企画力の向上 協働学習の理解 |
| 放課後学習支援 | 基礎学力の定着 学校の負担軽減 | 教科指導力の向上 教材開発力の向上 |
| 地域のスポーツ活動や文化活動への参加 | 活動の活性化 | 人間関係力の向上 地域文化への寄与 |
| 一人暮らしの高齢者宅の訪問 | 生きがい | 高齢者理解、尊敬 |

放課後子ども教室がさらに発展していくためには、この活動に携わる人の拡大と地域力の向上が不可欠であり、それにつながるのが地域の活性化による人々のパワーアップである。そこで、大学生が子どもだけとの関わりをもつのではなく、地域のあらゆる年齢層の方との交流を通して、地域の方が元気になるような働きかけをしたい。

このことは、地域にとっても大きなメリットであるが、学生にとっても貴重な体験となり、子ども理解、人間関係力、社会の一員としての自覚などを高めていくことにつながる。

交流によってお互いの視野が広がり、新たな視点が生まれ、これからの活動がより豊かになることも期待できるだろう。

◆終わりに

雲南市文化体育施設利用放課後子ども教室実行委員会のこれまでの取組は、ホームページに掲載されるブログや広報紙で活動の様子を拝見しているが、子どもたちのいきいきとした表情、一緒に活動する地域の大人たちの楽しそうな表情、施設や地域の特性を活かした充実した活動プログラム、ブログに綴られるスタッフの方の熱い思いなどを常に感じている。

先日、某テレビ番組で出雲地方特有の「〇〇していただく」と喜びます。」という言語表現が取り上げられており、その取材先は奇しくも雲南市であった。自分たちの所では当たり前のように使っている言葉が、外から見た時に好意的に評価とされた時、私は何かこそばゆくなるような嬉しさを感じた。

このことは、雲南市文化体育施設利用放課後子ども教室実行委員会が活動のテーマとしている「『夢』と『自信』をもたせる放課後子ども教室」への視点にもなるのではないだろうか。子どもにとって魅力ある体験プログラムとは、必ずしも目新しさやイベント型の楽しく派手なものだけではなく、雲南という地域に根差した、雲南でしかできない、雲南だからこそできるプログラムであってほしい。子どもたちが日常的に当たり前に行っていること、感じていることが、外から見れば、非日常的などとも豊かなこと、恵まれていること、素晴らしいことであることに気づき、「雲南ってすごい！」と子どもが誇りに思うような仕掛けを今後も期待したい。

学校・地域・家庭が知恵を絞り、汗をかき、協力して、物質的な豊かさではなく、精神的な豊かさに価値を見出すような活動プログラムを開発・実践することで、子どもたちがふるさと雲南のよさに気づき、雲南を愛し、慈しむ心情を育てていくことを心より願う。

(島根大学教育学部附属教育支援センター・准教授)

島根県における放課後子どもプランについて～意識調査からみた成果と課題～

井上 孝弘

1 はじめに

平成19年度から放課後子どもプランの推進がスタートし、3年目を終えようとしています。各市町村においては地域の実情に応じながら、留守家庭の児童に対し生活の場を提供する「放課後児童クラブ（以後、児童クラブ）」（今年度175クラブ：19年度比11%増）に加え、地域の大人たちが異年齢の子どもたちに交流・体験の場を提供する「子ども教室（以後、子ども教室）」（今年度134教室：19年度比7%増）の開設も進んでいます。

開設小学校区数で見ると、子ども教室は129校区（19年度比21%増）、児童クラブは138校区（19年度比4%増）となっており、全県の小学校区数（19年度：257校区 20・21年度：252校区）対比でも、子ども教室は、41.6%（19年度）から51.2%（21年度）、児童クラブは、51.8%（19年度）から54.8%（21年度）と大きく増加しています。

また、両事業の未実施校区については、校区対比でも26.5%（19年度）から21.8%（21年度）と減少しており、22年度（見込み）については19.5%と20%を切る予定です。

このように県内で子ども教室も児童クラブも着実に拡がりつつあり、地域の放課後子どもプランの推進に大きな役割を果たしています。

そこで、島根県における放課後子どもプランの基本理念をふまえながら、この3年間の推進による成果と今後の課題について、意識調査をもとに考えてみたいと思います。

2 意識調査からみえる成果

「子どもたちの心安らぐ放課後や休日のために～島根の放課後子どもプランについて～」で述べられている島根県における放課後子どもプランのねらいの一節に

「放課後子どもプラン」は、地域の宝である子どもを地域全体で育むという基本理念に基づき、群れて遊ぶことが少なくゲームやテレビで過ごしがちな子どもに、地域の大人たちの力を結集して放課後や休日を健やかに過ごすことができる環境を保障し、地域での子どもの育ちを支えようとするものです。

この取り組みは、地域の教育力を再構築していく具体的なきっかけとなるものであり、できるだけ多くの地域住民が参画し、広く情報を共有することで、大きな推進力にしていくことが望まれます。

また、学校と地域社会との連携協力や信頼関係の構築に向けて、この取り組みを十分に活かしていく必要もあります。

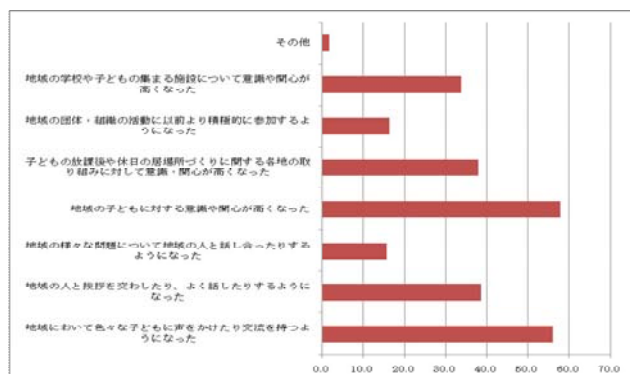
さらに、保護者を便利なサービスの利用者の側に留めておくのではなく、例えば地域の様々な行事や活動とつながるきっかけを提供するなど、「放課後子どもプラン」を家庭の教育力の向上に結びつけていくという理念を持つことが重要です。（抜粋）

という記述があります。

放課後子どもプランとは、地域の子どものたちにとってよりよい放課後や休日の環境を整えることだけではなく、地域の大人たちの力を結集し地域の子どもの育ちを支えていくことで、「地域の教育力の再構築」及び「学校と地域社会との連携協力や信頼関係の構築」、そして「家庭の教育力の向上」に結びつけていくことも大切であるということです。

このように考えると、放課後子どもプランの成果とは、その地域に「子ども教室」や「児童クラブ」が増えていくことだけではなく、この取り組みを通して、その地域の大人たちの意識や行動がよりよく変容していくことでもあります。

このような変容を明らかにするため、今年度、県主催で行った多くの研修会の中で意識調査を行ってきました。下記グラフは「放課後や休日に子どもと関わる活動を通じての自身の変化について」問うたものです。（島根県放課後子どもプラン指導員ボランティア



ア研修～第1研修～【県内13会場】アンケートより 回答数：337)

結果をみると、放課後や休日に子どもと関わる活動を通じて、50%以上の大人たちが「地域の子どもに対する意識や関心が高くなった」「地域において色々な子どもに声をかけたり交流を持つようになった」と自身の変化を感じており、放課後子どもプラン推進の成果が見られます。また、「関心が高くなった」といった意識の変容だけでなく、「～するようになった」と行動の変容も多くの大人たちにみられており、地域の子どもを地域全体で育むという基本理念実現に向けた取組が県内の多くの地域で実践されていることがうかがえます。

3 意識調査からみえる今後の課題

次のグラフは、「今後、放課後子どもプランを推進していく上で必要なことについて」たずねたものです。（島根県放課後子どもプラン指導員・ボランティア研修【h20 県内2会場 h21 県内13会場】アンケートより 回答数 h20：81 h21：337)

高い必要性を示しているのが、「学校との連携強化」と「保護者等の理解・協力」であり、ともに21年度になり、より高まっています。

前述したように「学校と地域社会との連携協力や信頼関係の構築」と「家庭の教育力の向上」についても放課後子どもプラン推進のねらいである

ので、「学校」と「保護者」をこの取組にいかにか巻き込んでいくかについて、考えられていることは望ましい傾向であると思えます。また、年度を追うごとにその連携意識は高まっており、より多くの地域で連携を意識した取組が拡大していると考えられます。

しかし、逆に考えれば保護者を含めた関係機関等が連携を強めることで、よりよい推進が期待できるのに、現時点ではその連携をうまく進めることができない実態の現れでもあるとも考えられます。

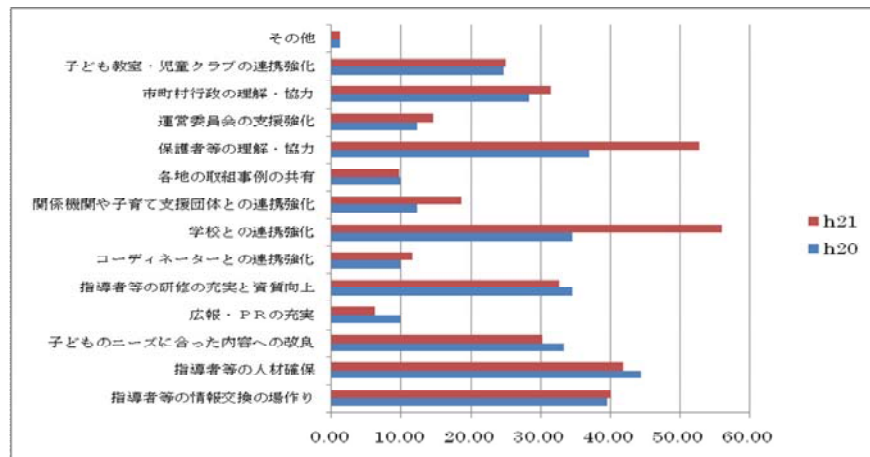
つまり、今後放課後子どもプランを推進していく上で、地域の実態に応じて地域の大人たちが相互により連携協力しながら総合的・体系的に推進されることは必要なことであり、大きな課題でもあります。

特に、児童クラブについては、場所や人間関係に限られた環境であることが多く、子どもの育ちにとって大切な体験や交流の場を提供できにくい面が指摘されています。こうした実態を改善するためにも連携は必要であります。県内の地域によっては、子ども教室で提供している体験と交流の場へ近隣の児童クラブの子どもも積極的に参加させるような連携の取組が見られます。また、近隣の公民館等が、児童クラブへ体験や交流活動を提供している例もあります。さらに、子ども教室と児童クラブ、公民館、そして、学校支援地域本部事業が連携し、「地域ぐるみの子育て体制」を構築することで、児童クラブへ体験や交流の場の提供はもちろん、普段の活動に対して地域の方の積極的なボランティアもみられるようになった地域もあります。

このように「子ども教室と児童クラブの連携強化」「公民館等との連携」「学校支援地域本部事業との連携」は、地域の実態に応じて地域の大人たちが相互により連携協力しながら総合的・体系的に推進していく上でのカギになると考えています。

4 おわりに

地域の子どもを地域全体で育むためには、地域の大人たちの意識や行動の変容とともに、地域の実情に応じた地域の大人たち相互の連携協力は不可欠であります。そのベースになるのが「検討の場」です。「検討の場」とは、地域の子どもの放課後や休日の過ごし方が検討され、地域の子ども育ちについて関係者の共通理解やネットワーク化を図る場であり、全ての小学校区ごとの設置が望ましいと考えています。



県内では、市町村レベルの設置は進んでいますが、小学校区レベルでは年々増加はしているものの、全校区の30%程度にとどまっています。今後、市町村と協力しながらその設置を呼び掛け、地域全体で地域の子どもを育む地域がさらに拡大していくことを期待しています。

(雲南市文化体育施設利用放課後子ども教室運営委員・社会教育主事)

P T A と放課後子ども教室

高田 幸夫

◆経緯とその理解について

公式資料によれば、子どもが犠牲となる犯罪・凶悪事件が相次いで発生し社会問題化したことや、子どもを取り巻く家庭や地域の教育力の低下が指摘される中（H16～18年ころのことと推定します）で、文科省と厚労省が「放課後子どもプラン」を創設した、とあります。

当時はゆとり教育の問題点が指摘され始めたころと記憶しておりますが、P T A会員の中では主に前者（防犯上の理由）の観点から、事業の開始を歓迎する声が多かったように思います。

◆居場所事業からの脱皮と進化

この間の活動については、ボランティアによる本の読み聞かせ活動に代表されるような事業初期のものから、運営スタッフも参加者も枠を広げた多彩なものへと進化してきていると思います。まさに雲南市の目指す、地域全体で子どもたちを育むという方向へ着実に踏み出しているわけです。

これはひとえに多久委員長をはじめとした運営される方々の努力の賜物であり、深く敬意を表するものであります。

◆P T A会員の意識とかかわり

雲南市という地域性の中では、活動に参加する子どもたちは、どうしても保護者に会場まで連れてきてもらう、という一種の地理的な障害があります。保護者にとっては、仕事の都合などで、いつでも子どもたちを連れて行くことができるわけではありませんし、スポーツ少年団であったり部活動やクラブ活動に参加する子どもたちを持つなかで、なかなか積極的に参加できない事情を持っている場合もあります。

そういったなかで、この事業をどちらかといえば運営側に任せる（預ける）というようなスタンスで受け取ってしまう、というケースが多いのではないかと思います。

◆事業の発展にむけて

いまP T Aの活動は、P（保護者）T（教職員）のA（会）のみではなく、C（地域）を加えた活動とするP T C A構想が提唱されています。これはどちらかといえば、放課後ではなく学校の中で行動する時間帯（授業も含む）の活動であります。実際に教育支援コーディネーターや地域コーディネーターの活動としても、先進事例が数多く発表されてもいます。

こういった活動と、放課後子ども教室活動とがうまく連携され、それこそ雲南市民が手塩にかけて子どもたちを育てていくことが実現できれば素晴らしいと思います。

◆おわりに

事業の発足からさまざまな課題を克服して、今日の業績を築かれたことに対しては、改めて感嘆する事しきりであります。今後P T Aにおきましても、この事業が今以上地域に根を張り、子どもたちの健全な成長に寄与し続けていきますよう応援してまいります。

（雲南市P T A連合会会長）

マジック教室を通して「自信を持って表現する力」を！

小林 和彦

1 はじめに

今年度の「総合的な放課後子どもプラン推進シンポジウム」の会場で5名の子どもたちのマジックショーに会場が沸きました。わずか15分間の発表でしたが、会場の雰囲気を感じ取った子どもたちの表情は明るく自信に溢れていました。

昨年度の「夢と自信を持たせる放課後子ども教室」のシンポジウムから一年、子ども達が、自信を持って自分で演技を発表できるようになったと実感できたひとときでした。

19年度から実施されている「休日型の体育文化施設を活用した放課後子ども教室」の周知徹底や雲南全域の子どもたちが参加できる環境の構築については、アンケートの結果からもわかるように「わくわく教室」の広報活動、多様な出前教室の開設活動、多様な出前教室の開設、現場の教職員や地域保護者の認識の変化などから、成果をあげていることがわかります。また、子どもたちが休日の子ども教室に参加するのをとても楽しみにしていることもわかってきました。

一方、地域や家庭で過ごす子どもたちの生活には、やはり大きな課題を抱えている現状があります。テレビやゲーム、ネットにどっぷりと漬かった生活環境や不規則な生活からくる生活リズムの変化、家族のふれ合いや地域との係わりの希薄化など、依然として子どもの成長に大きく左右する課題が山積しています。

そんな中で、「総合的な放課後子どもプラン」は、雲南市が全域で取り組んでいる「家庭の日」や「弁当の日」の取組みと連携しながら、子どもたちの生活環境を地域の大人や家庭ぐるみで一緒になって変えていこうとする取組みです。

2 三年目となる「マジック教室」の活動を通して

本事業のスタートから関わってきた「ミラクルマジック教室」も三年になりました。一昨年に教育現場を退職しましたが、私が趣味の「マジック」を地域の方々の前で披露する機会がどんどん増えてきました。そんな状況の中で毎月一回の子どもたちとの「マジック教室」は、元来子ども好きで教師になった私には、気分的にもゆとりを持って過ごせる時間となっていました。

昨年のように、初めての児童の参加が減り、継続して参加する児童が増える状況の中で練習するマジックも多様化し、またより難しいマジックへの挑戦ができるようになってきました。

その一方で「次ぎのマジック教室では、どんなマジックに挑戦させようか！」というのが私の悩みとなってきました。材料の調達やネタの仕込みなど「子どもにもできるマジック」という制約の中で苦労してきました。身近な材料を生かしたマジック、子ども達の実情に応じた技術を引き出すマジック。悩みはつきません。

しかし、子どもたちの多くは「マジック教室」で習得したマジックを家庭だけでなく、学校や地域の集会などで積極的に発表していることがわかり、指導している私の大きな喜びとなってきました。

これこそ「自信を持って表現する力」に繋がる取組みであると考え「外に飛び出すマジック教室」を実践していきたいと考えました。この教室をはじめた当初は「人前でマジックを披露することで意欲的に挑戦する子ども、マジックを通して多くの友だちを作る子どもになって欲し。そして将来は、教室の子どもと、市内の高齢者施設を訪問し披露できたら。」との思いを強く持っていましたから。

今年度は、4月の「雲南さくら祭り」の事業に参加することができ、木次町内の空きスペースを借りて「マジックショー」を開催しました。満開の木次の桜の花の中で、子どもたちの家族はもちろん大勢の見物者の中で自信をもって得意なマジックを披露することができました。また、夏休みには「木次デーサービスセンター」を訪問し、多くのお年寄りのみなさんの前で披露し、喜んでいただきました。私自身は「木次デーサービスセンター」に何回も訪問しマジックを披露していますが、子どもたちと共に参加するとお年寄りの顔もいつもと違って温かで穏やかに感じました。

11月には、三刀屋のアスパルを会場に開催された「子どもまつり」にも参加しました。そのころは、雲南市でインフルエンザによる学校閉鎖が相次ぎ、参加予定の児童が参加できなくなるなどハプニングもありましたが、「アンパンマンショー」のあとの興奮の中でみごとにやりとげました。

そして、1月の「総合的な放課後子どもプラン推進シンポジウム」会場での発表です。講演講師の明石要一先生をはじめ土江教育長さんなど参加の皆さんからお褒めのことばをいただきました。

今年度の「マジック教室」を飛び出した活動には、家族のみなさんの支援があります。毎月の「マジック教室」の送り迎えは家族の方をお願いしていますが、今回取り組んだ活動には、家族ぐるみで応援に来て頂き、励ましの声を掛けて頂いたり、ビデオや写真にとって家族の団らんのタネにもして

頂きました。子どもたちにとっては、家族から励まし応援してもらうことこそ心強いものはありません。

マジックは、せっかく覚えても人前で披露し、評価してもらわなければ少しも楽しくありません。私は「マジックは一に練習、二に練習、三・四が無くて五に練習！」と言われて挑戦してきました。人前で披露することによって、失敗をしたりタネを見破られたりします。そのことが次ぎの工夫や挑戦に繋がります。そして「こんどこそ！」と練習を重ねていきます。まさにマジックは「表現力の固まり」です。

私の「ミラクルマジック教室」では、マジックを体験しながら楽しい時間を過ごすことからステップアップして、マジックをみんなの前で実演するために、おしゃべり、手つきや顔の表現、こころのゆとりなど自分を表現する力を育てる場として役立っていかれたらと思っています。

子どもたちは、学校や学年を超えて互いに親しい関係を築くことは十分できるようになってきました。次はお互いが同じマジシャンとして、切磋琢磨できる関係を築いてくれればと願っていますが、大き過ぎる課題かもしれません。

3 おわりに

今後、「ミラクルマジック教室」を継続していく上では、課題が山積しています。教室運営の経費や子どもにできるマジックのネタ探しも大きな悩みです。また、参加児童が限定されてくれば、マジックの質を高めより高度なマジックに挑戦できる環境をつくることができます。そして、それを発表できる機会も増え多様になってきます。一方、まだ参加したことのない地域や学校の子どもたちにも参加してもらい、マジックの楽しさを体感してほしいとの願いもあります。

今回のシンポジウムの中で「社会の変化の中で子どもたちの放課後が消えた！」との提言がありました。子どもの居場所や家庭の日など、さまざまな活動が展開されていますが、一向に子どもたちの過ごし方には、変化がみられません。この「土日対応の総合的な放課後子ども教室」への参加も、延べ人数としては増加していますが、参加する子どもたちは限られています。

今後、より一層多様なニーズを持つ市内の子どもたちに魅力あるプログラムを提供し、だれでも気軽に参加できる体制をつくる必要があると思います。

(雲南市学校支援地域本部統括コーディネーター・教室指導者)

子どもたちの熱心な取組に支えられて

久我 俊子

この地域の子どもたちが心豊かで健やかに育ってくれることを願って「放課後子ども教室」と称されるものが実施されてから数年、いろいろな取り組みがなされてそれぞれそのせいかをあげられています。私も何かお手伝いができればと思っていましたが、今年度はペン習字を、とのことで始めてみました。しかしスポーツ教室のように身体を使って楽しく活発に動き回る内容と違って継続するかどうか心配しながらのスタートでした。集まった子どもたちは1年生から6年生までの男女10人前後。1年生の男の子は6月ごろまでは落ち着きがなく、机の下にもぐり込んで私の足をくすぐったり、肩に手をかけに来たり、椅子の上に寝ころんだり、その対応に困りましたが、1回も休まず出席し、少しずつ落ち着いてきたことは何よりもうれしいことでした。

1年生から6年生までの子どもを1時間に1人で指導することの難しさを痛感した1年でした。

低学年にはエンピツの選び方や持ち方、姿勢など基本的なことが必要ですが、高学年には必要ないなど、こちらも考えなければならないこともありました。

5・6年の女の子で、学校から硬筆コンクールに出してもらって特撰や金賞になったことをうれしそうに報告したことは他のみんなの目標になりました。この教室の作品も会場のどこかに展示して一般の人に見ていただくことも子どもたちの励みになるのではないかと考えていますが今年度は実現しませんでした。

3学期になってから入ってきて、「僕はどこにも習いに行っていないからここでやるんだ。」と言った2年生の男の子の言葉に責任を感じながら、月に1回ではその期待に応じられるかどうかと今心を痛めています。

また机と椅子な関係など考慮、改善することはたくさんありますので今後の課題と思っています。土曜の僅か1時間のペン習字教室を実施してきましたが、その成果は、というと反省することばかりです。

(雲南市文化体育施設利用放課後子ども教室・教室指導者)

おわりに

文部科学省の「総合的な放課後対策推進のための調査研究事業」として取組んだ「雲南市文化体育施設利用放課後子ども教室“うんなん元気っ子わくわく教室”」も3年間のモデル事業として継続実施し、ここに終えることとなった。 あっという間にこの日を迎えた感が強い。

学校の教育活動が休みとなる土・日曜日や夏・冬休みなどに、子どもたちを地域挙げて安心・安全に見守っていかうとの思いから企画した放課後子ども教室でした。その居場所として選んだのが市内に整備されている社会教育施設の文化ホールと体育館である。

これらの施設が最も利用される日は、土・日曜日や祝日です。その日には、多くの文化活動や体育活動の指導者、リーダーがこの施設に出入りされている。そのときに合わせて子ども居場所の教室を開いてはどうかというのが、休日の「文化・体育施設利用放課後子ども教室」の発想でした。子どもたちが（1）本物の施設が利用できる。（2）優れた本物の指導者から教えていただける。（3）本物、専門的なプログラムを提供できる。まさに、学校の平日放課後子ども教室では体験できない本物の総合学習の意味合いを持つもので、効果も期待されることです。まさしく子どもたちにとって普段できない貴重な実体験となり、ひいては「生きる力」を育む一助となるものです。

あとは、ボランティアとして教室のコーディネーターやスタッフの確保と協力が得られるかが心配された。しかし、心配無用でした。「私で出来ることなら・・・」「こんな教室作りをされてはどうですか・・・」次々と参加の申入れや提言が寄せられ、実に地域の総合力と地域の教育力が高いことには驚きを感じ、その後の運営に多大なご支援とご協力をいただくこととなった。まさしく「子どもたちは、地域の宝だ」という格言がそのまま普段から実践されている社会なのです。

教室は年々増え、常に子どもはもとより学校や保護者、教育関係者や地域住民の要望意見を踏まえながら、新しいプログラムを提供することには力点を置いてきた。そこにはいつも子どもの目線を中心におき、楽しくそして面白く参加してくれるような工夫を心がけた。そして学校の放課後教室とは違う運営に配慮し、常に一人ひとりの子どもの「自由」を認め、「画一」をあまり求めず、伸び伸びとした雰囲気作りを目指してきた。そうした中であって「徳育」を掲げて、実体に合った規範意識を教えることも徹底してきた。

こうして三年目を迎え、その総括を行い詳しくは本報告書に掲載したところですが、特筆すべき新しい動きとして（1）他市町からの子どもたちの参加が増えてきた。（2）市外に出かけるアウトリーチ教室の要望が増え、子どもたちの行動範囲を広げたいとする傾向が見えてきた。（3）高学年や中学・高校生が進んで教室の企画など提供する動きが生まれ、異年齢交流のきっかけが自然と出来つつある。

（4）好きなスポーツ教室に精勤した児童が中学校へ進学してから部活がなく、悩んだ末にそれに代わる「ユースクラブ」を誕生させた。（5）土日以外でもスポーツに参加した子どもが増え、保護者が立ち上がって「総合型地域スポーツクラブ」を発足させた。いずれも、休日型放課後子ども教室がきっかけとなって胎動した動きであり、予想しなかった活気のある地域社会作りに少々なりとも貢献できたことは望外の喜びです。

さて、三年間を振り返っての所感を綴ってきましたが、皆さんからの高い評価をいただく割には、事業を終えたという達成感が湧かないというのが実感です。

もちろん与えられた調査研究テーマは、全て実行できたという自負はある。しかしこの矛盾する気持ちをどう理解すればいいのか。

しかし、今いえることは、わが国の放課後子ども教室の全体像はどう描かれているのか。その中で生じてくる例えば「体験格差」など多くの課題は何か？そしてどう解決すればよいか問われているとい

うことではないのか。

その上に新しい「子育て支援策」の有効な制度として放課後子ども教室をどう考えていくのか、見直しを含め問われているだろう。まさに正念場に差し掛かっているのです。

こうした中で実践として一つの方向付けを出した「雲南モデル」が解決につながる教本となり、実例として全国各地でバイブルとして参考にしていただければ幸いです。

雲南市文化体育施設利用放課後子ども教室実行委員会
事務局長 陰 山 義 広

○資 料

- ・「総合的な放課後対策推進のための調査研究」実施委託要綱
- ・委託契約書
- ・実行委員会設置要綱
- ・実行委員会名簿
- ・運営員会設置要綱（※巻末 CD 掲載）
- ・運営委員会名簿（※巻末 CD 掲載）
- ・安全管理マニュアル（※巻末 CD 掲載）

○「総合的な放課後対策推進のための調査研究」実施委託要綱

「総合的な放課後対策推進のための調査研究」実施委託要綱

平成19年7月3日
生涯学習政策局長決定
(平成21年3月19日一部改正)

1 趣 旨

平成19年度から文部科学省と厚生労働省が連携の下、総合的な放課後対策として実施する「放課後子どもプラン」の充実を図るために必要な調査研究を行い、その成果を全国に普及することにより、子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。

2 委託事業の内容

放課後子どもプランの充実を目的に行われる下記のいずれかの事業とする。

(1) 総合的な放課後対策推進に関する調査研究

放課後子どもプランの充実に資するため、全国的な規模で実施する必要がある課題に関する調査研究を実施する。

(2) 放課後活動支援モデル事業

地方公共団体と連携の上、放課後子どもプランの取組のモデルとなるような、先進的・効果的な取組（モデルプラン）を実践するモデル事業を実施する。

(3) 民間団体と連携した放課後対策モデル事業

都道府県が望む放課後の在り方について、賛同する市町村や対応可能な民間団体とが連携し、都道府県が意図する放課後対策のモデル事業を実施する。

3 委託先

次のいずれかの団体等に対して委託を行う。

(1) 放課後対策に関する調査研究について

調査研究を遂行するための適切な能力を有する株式会社、社団法人、財団法人等

(2) 放課後活動支援モデル事業について

- ① 本事業を実施するための民間教育関係団体や関係機関等から構成する実行委員会
- ② その他、モデル事業を遂行するための適切な能力を有する団体

(3) 民間団体と連携した放課後対策モデル事業

都道府県、市町村、民間団体を中心として構成された実行委員会

4 委託期間

事業の委託期間は、委託を受けた日から同年度の3月20日までとする。

5 委託手続

- (1) 団体等が委託を受けようとする場合は、事業計画書（様式1）及び経費内訳の他、別紙に定める様式のうち実施する事業に係る様式（以下、「事業計画書等」という。）を添付し、文部科学省に提出すること。

- (2) 文部科学省は、上記(1)により提出された事業計画書等の内容について審査し、本事業の趣旨を踏まえた適切な計画であると認めた場合、当該団体等に対し事業を委託する。

6 委託経費等

- (1) 文部科学省は、予算の範囲内で事業に要する経費〔人件費(賃金)、事業費(諸謝金、旅費、消耗品費、印刷製本費、通信運搬費、会議費、借損料、保険料、雑役務費、消費税相当額)、再委託費、一般管理費〕を委託費として支出する。
- (2) 文部科学省は、委託先が委託要綱に違反したとき、委託事業の実施に当たり不正又は不当な行為をしたとき、又は事業の遂行が困難であると認めるときは、委託の解除や経費の全部又は一部について返還を命じることができる。
- (3) 委託先が、事業計画書等に記載された委託事業内容又は経費の費目(人件費、事業費、再委託費)の流用をする場合は、事業計画変更申請書(様式2)を、あらかじめ文部科学省に提出の上、その承認を受けること。
ただし、委託した額及び上記2(1)、(2)及び(3)の各事業の内容に影響を及ぼさない範囲で、費目ごとに配分された経費の20%、又は5万円のいずれか高い額を超えない場合は、その必要がない。
- (4) 代表者及び団体等の所在地等の変更を必要とする場合及び事業の継続が不可能になった場合等は、速やかに文部科学省へ連絡し、指示を受けること。

7 事業成果報告書等の提出

委託先は、事業が終了した日(契約を解除した時を含む。)から10日を経過した日又は当該事業年度の3月25日までのいずれか早い日までに事業成果報告書(様式3)及び収支精算書(様式4)を文部科学省に提出するものとする。

8 委託費の額の確定

- (1) 文部科学省は、上記7により提出された事業成果報告書及び収支精算書について、検査及び必要に応じて現地調査を行い、その内容が適正であると認めるときは、委託費の額を確定し、委託先に対して通知するものとする。
- (2) 上記(1)の確定額は、事業に要した実支出額と委託契約額のいずれか低い額とする。

9 委託費の支出等

- (1) 委託費は、上記8(1)による額の確定通知後、委託先の請求に基づき支出する。
- (2) 委託事業の実施に当たり、文部科学省が事業完了前に必要があると認めるときは、上記(1)に関わらず委託金の全部又は一部を委託先の請求に基づき概算払いすることができる。
- (3) 預託金により生じた利息については、当該事業を遂行するために必要な経費に充当すること。
- (4) 委託費の管理に当たっては、委託費を預け入れる金融機関の経営破綻等に備え、決済用預金口座を活用するなど適切な対応を図ること。
- (5) 委託先は、適切な監査を行い委託費の適正な執行に努めること。

10 再委託

- (1) 事業のうち、その内容が第三者に委託することが適当であると認められる業務については、再委託することができる。ただし、事業の全部を再委託することはできない。
再委託する場合、再委託される業務は、上記2(1)、(2)及び(3)の各事業内容の範囲を超えることはできない。また、再委託する場合の事務手続き等については、委託の場合に準ずることとする。
- (2) 事業の一部を再委託しようとする場合は、事業計画書等とともに、再委託に関する事項(様式5)及び履行体制に関する事項(様式6)を文部科学省に提出し、承認を受けることとする。再委託の相手方の変更等を行おうとする場合も同様とする。(ただし、軽微な変更の場合を除く。)
また、委託先は再委託の承認後、再委託先の相手方に関する事項に変更が生じた場合は、履行体制に関する事項(様式6)を、再度文部科学省に提出するものとする。
- (3) 再委託先は、再委託を受けた事業を第三者に委託(再々委託)することはできない。
- (4) 委託先は、再委託した業務に対する当該第三者の行為について、全ての責任を負うものとする。

11 著作権等

- (1) 委託先は、事業により発生した著作権がある場合は、原則として事業完了後速やかに文部科学省に帰属させるものとする。
- (2) 事業の実施により受託者が作成したパンフレット、チラシ、資料、報告書等これらに類するものの著作権は、委託先に帰属させるものとする。
- (3) 上記(2)の規定に関わらず、文部科学省が必要と認めたときは、委託先は、無償にて文部科学省が使用することを許諾するものとする。

12 書類の保存

委託先は、委託金に係る収入及び支出を明らかにする帳簿を備え、文部科学省の請求があったときには提出できるよう、収入及び支出を明らかにした領収書その他の関係証拠書類とともに、事業を実施した翌年度から5年間整理保存しておくものとする。

13 その他

- (1) 文部科学省は、委託先における事業の実施が、当該趣旨に反すると認められるときは、必要な是正措置を講ずるよう求める。
- (2) 文部科学省は、事業の実施に当たり、委託先の求めに応じて指導、助言を行うとともに、その効果的な運営を図るために協力する。
- (3) 文部科学省は、必要に応じて委託事業の実施状況及び経理状況について実態調査を行うことができる。
- (4) 委託先は、委託事業の遂行によって知り得た事項については、その秘密を保持しなければならないとともに、善良なる管理者の注意をもって取り扱う責務を負うものとする。
- (5) この要綱に定めるもののほか、事業の実施に関し必要な事項は別に定める。

○委託契約書

委 託 契 約 書

支出負担行為担当官文部科学省生涯学習政策局長 清水潔（以下「甲」という。）と雲南市文化体育施設利用放課後子ども教室実行委員会 委員長 多久 博（以下「乙」という。）は、次のとおり委託契約を締結する。

（実施する委託業務名等）

第1条 甲は、乙に対し、次の委託業務の実施を委託するものとする。

- (1) 「総合的な放課後対策推進のための調査研究」
放課後活動支援モデル事業（小学校高学年(中学生)を対象とした効果的な取組又は小学校高学年(中高生)が関わる効果的な取組）
- (2) 委託業務の内容及び経費（別添）事業計画書のとおり。ただし、第9条によった業務計画変更承認申請書承認後は業務計画変更承認申請書のとおりとする。
- (3) 委託期間 平成21年6月8日から平成22年3月20日

（委託業務の実施）

第2条 乙は、法令及び本契約書に定めるもののほか、委託要綱及び事業計画書、放課後子どもプラン推進委員会より付された採択条件等に基づき、委託業務を実施しなければならない。当該計画が変更されたときも同様とする。

（委託費の額）

第3条 甲は、委託業務に要する費用（以下「委託費」という。）として、8,000,000円（うち消費税額及び地方消費税額380,952円）を超えない範囲内で乙に支払うものとする。

（注）「消費税及び地方消費税の額」は、消費税法（昭和63年法律第108号）第28条第1項及び第29条並びに地方税法（昭和25年法律第226号）第72条の82及び第72条の83の規定により算出したもので、委託費の限度額に105分の5を乗じて得た金額である。

2 乙は、委託費を別添の業務計画書に記載された費目の区分に従って使用しなければならない。当該計画が変更されたときも同様とする。

（実施体制の確保について）

第4条 乙が法人格を有していない団体（以下「任意団体」という。）の場合は、履行体制確保のため乙は、構成員、会計基準等の必要な事項（以下「任意団体に関する事項」という。）が記載された書面を提出し、甲の承認を受けなければならない。

2 前項の規定にかかわらず、乙からあらかじめ提出された業務計画書等に任意団体に関する事項の変更等が記載されている場合は、本契約の締結をもって前項に規定する甲の承認があったものとする。

3 乙は、任意団体に関する事項の変更を行おうとする場合は、改めて任意団体に関する事項が記載された書面を提出し、甲の承認を受けなければならない。ただし、任意団体の適正な履行確保に支障とならない軽微な変更を行おうとする場合は、任意団体に関する事項を記載した書面の届出をもって代えるものとする。

4 乙において、会計基準等について特段の定めがない場合は国の契約及び支払に関する規定の趣旨に従い、公正かつ最小の費用で最大の効果をあげ得るように経費の効果的使用に努めなければならない。

5 第1項により提出された書面において債務責任者となっている者は、委託業務に伴い発生した過払金の返還、賠償金、損害金又は違約金及び延滞金の支払について、甲に対し、債務を負うものとする。

6 乙は委託業務が完了した日の属する年度終了後、5年以内に第1項により提出した書面に変更がある場合は改めて書面による届出を行わなければならない。

（契約保証金）

第5条 会計法（昭和22年法律第35号）第29条の9第1項に規定する契約保証金の納付は、予算決算及び会計令（昭和22年勅令第165号）第100条の3第3号の規定により免除する。

(危険負担)

第6条 委託業務の実施に関して生じた損害は乙の負担とする。ただし、乙の責めに帰すべき事由によらない場合は、この限りでない。

(第三者損害補償)

第7条 乙は委託業務の実施にあたり故意又は過失によって第三者に損害を与えたときは、その賠償の責を負うものとする。

(再委託)

第8条 乙は委託業務の全部を再委託することはできない。

2 乙は、この委託業務の一部を第三者に委託（以下「再委託」という。）しようとする場合は、再委託先の住所、氏名、再委託を行う業務の範囲、再委託の必要性及び金額（以下「再委託に関する事項」という。）が記載された書面を提出し、甲の承認を受けなければならない。

3 前項の規定にかかわらず、乙からあらかじめ提出された業務計画書等に、再委託に関する事項が記載されている場合は、本契約の締結をもって前項に規定する甲の承認があったものとする。

4 乙は、再委託の相手方の変更等を行おうとする場合は、改めて第2項の規定により再委託に関する事項が記載された書面を提出し、甲の承認を受けなければならない。ただし、再委託の適正な履行確保に支障とならない軽微な変更を行おうとする場合は、再委託に関する事項を記載した書面の届出をもって代えるものとする。

5 乙は、再委託した業務に伴う再委託の相手方の行為について、甲に対し全ての責任を負うものとする。

6 乙は、甲が契約の適正な履行の確保のため再委託の履行体制の把握に必要な報告等を求めた場合にはこれに応じなければならない。

(業務の変更)

第9条 乙は、第20条に規定する場合を除き、別添の業務計画書に記載された委託業務の内容又は経費の内訳を変更しようとするときは、業務計画変更承認申請書を甲に提出し、その承認を受けるものとする。

ただし、経費の内訳の変更による費目間の流用で、その流用額が各費目のいずれも2割未満（ただし、2割を超える額であっても5万円以下の流用は除く。）及び費目内の種別間の流用の場合はこの限りではない。

2 甲は、前項の承認をするときは条件を附することができる。

(業務の廃止等)

第10条 乙は、委託業務を中止し又は廃止しようとするときは、その理由及びその後の措置を明らかにして甲に申請し、その承認を受けるものとする。

2 甲は、前項の承認をするときは条件を附することができる。

(委託業務完了（廃止）報告)

第11条 乙は、委託業務が完了又は前条第1項の規定に基づき委託業務の廃止の承認を受けたときは、委託業務完了（廃止）報告書を作成し、完了又は廃止の承認の日から10日以内又は平成21年3月30日のいずれか早い日までに、甲に提出しなければならない。

(検査)

第12条 甲は、前条の規定に基づく報告書の提出を受けたときは、業務の実施について検査するものとする。

(額の確定)

第13条 甲は、前条の検査終了後、委託業務に要した経費について調査を行い、委託費の額を確定するものとする。

2 前項の確定額は、委託業務に要した実支出額に充当した委託費の額と第3条第1項に規定する委託費の額のいずれか低い額とする。

3 甲は、第1項の額の確定後、乙に対して通知するものとする。



(実地調査)

第14条 第12条及び前条の検査又は調査の実施にあたっては、必要に応じ職員を派遣するものとする。

(委託費の支払及び経理)

第15条 甲は、第13条第1項の規定による額の確定後、乙に委託費を支払うものとする。
2 委託費の支払いは、乙の請求に基づき行うものとし、このため乙は請求書を甲に提出するものとする。
3 甲は、適法な請求書を受理した日から30日以内にその支払を行うものとする。
4 甲は、乙の請求により、必要があると認めるときは、第1項の規定にかかわらず、委託費の全部又は一部を概算払することができる。

(過払金の返還)

第16条 乙は、前条第4項によって既に支払を受けた委託費が、第13条第1項により確定した額を超えるときは、その超える金額について、甲の指示に従って返還するものとする。
2 乙は、前項の返還に際し、甲が定めた期限内に返還をしなかったときは、期限の翌日から返還をする日までの日数に応じ、年利5%の割合により計算した延滞金を払わなければならない。

(成果報告)

第17条 乙は、甲の定める様式に従い、委託業務成果報告書を作成して、甲の指定する日までに提出するものとする。

(成果の利用等)

第18条 乙は、委託業務によって得た研究上の成果を利用しようとするときは、成果利用承認申請書を甲に提出し、その承認を受けるものとする。ただし、甲が特に認めたものについては、この限りではない。

(著作権等)

第19条 本委託業務により発生した著作権がある場合には、原則として、委託事業完了後速やかに甲に帰属させるものとする。
2 本委託業務により乙が作成したパンフレット・チラシ・資料・報告書等これらに類するものの著作権は、乙に帰属させるものとする。
3 前項の規定に関わらず、甲が必要と認めるときは、乙は、無償にて甲が使用することを許諾するものとする。
4 肖像権は、著作権の取り扱いと同様（同条第1項から第3項を適用）とする。
5 商標登録を行う場合には、乙は甲と協議の上行うものとする。

(契約の解除等)

第20条 甲は、乙が次の各号の一に該当する場合には、本契約の全部又は一部を解除し、かつ既に支払った委託費の全部又は一部を返還させることができるものとする。
(1) 乙が、この契約書に記載された条件に違反したとき
(2) 乙が、この契約の締結にあたり不正の申立てをしたとき
(3) 乙が、委託業務の実施にあたり不正又は不当な行為をしたとき
(4) 乙が、委託業務を遂行することが困難であると甲が認めたとき

(違約金)

第21条 甲は、前条の規定により契約を解除するときは、乙に対して、違約金として契約金額の100分の10に相当する額を請求することができる。

(不正行為等に対する措置)

第22条 甲は、乙が、本契約の締結にあたり不正の申立てをした場合もしくは委託業務の実施にあたり不正又は不当な行為（以下、「不正等」という。）を行った疑いがあると思われる場合、乙に対して調査を求め、その結果を報告させることができる。また、甲が必要であると認めるときは、乙に対して実地調査を行うものとする。
2 甲は、前項の結果、この契約に関する不正等が明らかになったときは、本契約の全部又は一部



を解除し、かつ既に支払った委託費の全部又は一部を返還させることができるものとする。

(利息)

第23条 甲は、不正等に伴う返還金に利息を付すことができるものとする。利息については、返還金にかかる委託費を乙が受領した日の翌日から起算し、返還金を納付した日までの日数に応じ、年利5%の割合により計算した額とする。

(相手方に対する通知発行の時期)

第24条 文書による通知は、甲から乙に対するものにあつては発信の日から、乙から甲に対するものにあつては、受信の日からそれぞれの効力を生ずる。

(代表者変更等の届出)

第25条 乙は、その代表者氏名又は住所を変更したときは、その旨を文書により甲に遅滞なく通知するものとする。

(委託費支出明細書の提出等)

第26条 乙が民法第34条に基づき設立された公益法人である場合、乙は、公益法人に対する行政の関与の在り方の改革実施計画(平成14年3月29日閣議決定)に基づき、額の確定の通知後速やかに委託費支出明細書を作成し、乙の事務所に備え付け公開することとし、甲に提出しなければならない。また、乙の所管府省に対しても提出しなければならない。

(委託業務の調査)

第27条 甲は、必要があると認めたときは、委託業務の実施状況、委託費の使途、その他必要な事項について報告を求め、又は実地調査することができる。

(書類の保管等)

第28条 乙は、委託業務の経費に関する出納を明らかにする帳簿を備え、支出額を費目毎に区分して記載するとともに、甲の請求があつたときは、いつでも提出できるよう、その支出を証する書類を整理し、委託業務を実施した翌年度から5年間保管しておくものとする。

(秘密の保持等)

第29条 乙は、この委託業務に関して知り得た業務上の秘密をこの契約期間にかかわらず第三者に漏らしてはならない。

2 乙は、この委託業務に関する資料を転写し、又は第三者に閲覧若しくは貸出ししてはならない。

(疑義の解決等)

第30条 乙は、この契約に定める事項の他、甲が別に定める委託業務の実施に必要な事務手続き等に従わなければならない。

2 この契約に定めのない事項又はこの契約に定める事項について生じた疑義については、甲、乙協議して解決するものとする。

3 本契約に関する訴は、東京地方裁判所の所管に属する。

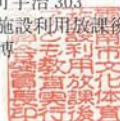
上記契約の証として、本契約書2通を作成し、双方記名押印の上各1通を保有するものとする。

平成21年6月8日

(甲) 東京都千代田区霞が関三丁目2番2号
支出負担行為担当官
文部科学省生涯学習政策局長 清水 潔



(乙) 島根県雲南市加茂町宇治303
雲南市文化体育施設利用放課後子ども教室実行委員会
委員長 多久 博



○実行委員会設置要綱

雲南市文化体育施設利用放課後子ども教室実行委員会設置要綱

(名称)

第1条 本会は、雲南市文化体育施設利用放課後子ども教室実行委員会（以下「実行委員会」という。）と称する。

(目的)

第2条 総合的な放課後対策として実施される「放課後子どもプラン」の充実と効果的な推進を図り、子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進するため、島根県をはじめ関係団体と幅広い関係機関と緊密な連携と参画の下に必要な調査研究を行う。

(事業)

第3条 実行委員会は、放課後子どもプランの取組のモデルとなるような、先進的・効果的な次に掲げる事業を行う。

- (1) 地域の伝統文化活動、スポーツ活動、自然体験活動多様なプロジェクト事業
- (2) 他の放課後子ども教室や放課後児童クラブ等の参加児童への活動機会の提供に資する事業
- (3) 通学環境等の地域特性を踏まえた活動機会の提供に関する事業
- (4) 地域の多様な活動主体が連携・協力した事業
- (5) その他放課後子どもプランの推進に効果がある事業

(構成)

第4条 実行委員会は、別表に掲げる委員をもって組織する。

(役員)

第5条 実行委員会の役員として、会長及び副会長を置く。

- 2 会長及び副会長は、委員の互選で選出する。
- 3 会長は、実行委員会を代表し、会務を総理する。
- 4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときはその職務を代行する。

(会議)

第6条 実行委員会の会議は、会長が招集し、会議の議長となる。

- 2 委員は、会長に対し、会議の招集を求めることができる。
- 3 会長は、必要があると認めるときは、事実に関係がある関係機関・団体の出席を求めることができる。

(その他)

第6条 この要綱に定めるもののほか、実行委員会の運営に関し必要な事項は別に定める。

附則

(施行期日)

- 1 この要綱は、平成20年7月11日から施行する。

○実行委員会名簿

雲南市文化体育施設利用放課後こども教室
実行委員会委員名簿

| 所 属 | 役 職 | 氏 名(敬称略) |
|--------------|---------------|----------|
| (株)キラキラ雲南 | 文化体育施設施設指定管理者 | 多久 博 |
| 島根県健康福祉部 | 青少年家庭課長 | 米井 順子 |
| 島根県教育庁 | 生涯学習課長 | 大矢 敬子 |
| 島根大学 | 教授 | 田中 昭夫 |
| (株)キラキラ雲南 | 文化体育施設施設指定管理者 | 藤原 克朗 |
| 雲南市文化協会 | 会長 | 景山 道隆 |
| 雲南市体育協会 | 会長 | 塩野 紀富 |
| 雲南市体育指導委員協議会 | 会長 | 加藤 勇 |
| 雲南市スポーツ少年団 | 副本部長 | 野々村一己 |
| 雲南市校長協議会 | 代表 | 古川 信行 |
| 雲南市教育委員会 | 教育長 | 土江 博昭 |
| 雲南市健康福祉部 | 部長 | 新 一幸 |
| 雲南市政策企画部 | 部長 | 松村 千弘 |

平成21年度総合的な放課後対策推進のための調査研究報告書

[編集・発行] 雲南市文化体育施設利用放課後子ども教室実行委員会
〒699-1105
島根県雲南市加茂町宇治 303 雲南市加茂文化ホール内
Tel:0854-(49)-8500 Fax:0854-(49)-6200
E-Mail:hokago_lamer@yahoo.co.jp